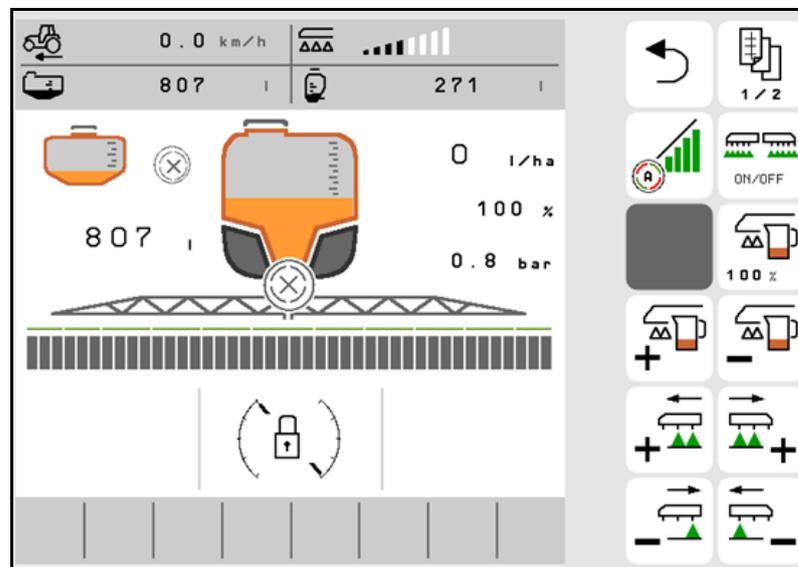


# 取扱説明書

## AMAZONE

### ソフトウェア ISOBUS

#### スプレーヤーUF 02 / UX01 / Pantera / FT-P



MG6171  
BAG0171.14 11.23  
Printed in Germany

SmartLearning



初期設定を行う前に、  
本取扱説明書をよくお読みくださ  
い。  
今後必要になる場合に備え、安全  
な場所に保管してください！

ja



# 本書をよくお読みください

取扱説明書を読み、その内容を遵守することは面倒で余計なことだと思われるかもしれませんが。しかし、この機械が優良であると人から見聞きし、機械を購入し、後はすべて独りでうまくいくと信じるだけでは不十分です。それでは自分自身に損害を与えるだけでなく、意に反した作動が起きた場合の原因を自分ではなく機械のせいにもしかねません。良い成果を得るには、使い方を良く理解し、機械の各設備が持つ使用目的について知り、操作方法に精通する必要があります。そうすることで初めて、機械にも自分自身にも満足することができるのです。それを果たすことが、本取扱説明書の目的です。

---

ライプツィヒ  
プラークヴィッツ、1872年



---

## メーカーの所在地

---

AMAZONEN-WERKE  
H. DREYER SE & Co. KG  
Postfach 51  
D-49202 Hasbergen / Germany  
電話 : + 49 (0) 5405 50 1-0  
E-mail: amazone@amazone.de

---

## 交換部品の注文

---

交換部品のリストは、[www.amazone.de](http://www.amazone.de) の交換部品ポータルで自由に閲覧可能です。

担当の AMAZONE 代理店にご注文ください。

---

## 本取扱説明書についてのデータ

---

文書番号 : MG6171

編集日 : 11.23

© Copyright AMAZONEN-WERKE H. DREYER SE & Co. KG, 2023

All rights reserved.

AMAZONEN-WERKE H. DREYER SE & Co. KG の許可なく本書の一部または全部を複製することを禁じます。

#### 顧客の皆様

このたびは、弊社 AMAZONEN-WERKE, H. DREYER SE & Co. KG の高品質で豊富な製品の中から当機をお選びいただき、ありがとうございます。そのご信頼に対し深く御礼申し上げます。

機械を受け取ったら、輸送中に損傷を受けていないか、また部品がすべて揃っているか確認してください。納品書と照らし合わせ、注文した特殊装備も含め、すべてが機械に備わっていることを確認してください。ただちに問題を指摘していただかないと、不具合を修正することができません。

初期設定を行う前に、本取扱説明書（特に安全に関する注意事項）をよく読み、十分に理解してください。注意深くお読みいただいて初めて、ご購入いただいた機械のすべての長所が活用可能になります。

初期設定を行う前に、機械を操作する人が全員、本取扱説明書を読んだことを確認してください。

不明点や疑問点がある場合は、本取扱説明書を参照するか、担当の弊社サービスパートナーまでお問い合わせください。

定期的にメンテナンスを実施し、磨耗部品や損傷部品を適宜交換することで、機械の寿命を伸ばすことができます。

#### ユーザーからの評価

---

#### 読者の皆様

弊社では定期的に取り扱説明書をアップデートしております。よりユーザー本位の取扱説明書に改良していくため、皆様からのご意見は大変参考になります。

AMAZONEN-WERKE

H. DREYER SE & Co. KG

Postfach 51

D-49202 Hasbergen / Germany

電話： + 49 (0) 5405 50 1-0

E-mail: amazone@amazone.de

<b>1</b>	<b>ユーザー向けの情報</b> .....	<b>8</b>
1.1	本書の目的 .....	8
1.2	本取扱説明書での位置の記載 .....	8
1.3	使用している記号 .....	8
<b>2</b>	<b>一般的な安全上の注意事項</b> .....	<b>9</b>
2.1	安全に関する記号の意味 .....	9
<b>3</b>	<b>製品の説明</b> .....	<b>11</b>
3.1	ソフトウェアバージョン .....	11
3.1	ソフトウェアバージョン1への改新 .....	11
3.2	ISOBUS ソフトウェアの階層 .....	12
3.3	圃場 / 設定メニュー .....	13
<b>4</b>	<b>圃場メニューと規定量入力</b> .....	<b>14</b>
4.1	作業メニュー .....	16
4.1.1	機能欄 .....	17
4.1.2	端末の表示 .....	19
4.1.3	使用時の手順 .....	20
4.1.4	マークされた規定状態からの逸脱 .....	21
4.1.5	セクションコントロールのミニビュー .....	21
4.2	作業メニューの機能 .....	22
4.2.1	散布を ON / OFF .....	22
4.2.2	スタート機能の設定 ON .....	23
4.2.3	セクションコントロール .....	24
4.2.4	作業灯 .....	26
4.3	 機能グループ・ 散布液 .....	26
4.3.1	散布量制御 .....	26
4.3.2	規定量の変更 .....	27
4.3.3	外側ブームセクションを OFF .....	28
4.3.4	限界ノズル、エンドノズルまたは追加ノズル .....	29
4.3.5	AmaSelect Row .....	29
4.3.6	AmaSelect .....	30
4.3.7	油圧ポンプ駆動 .....	32
4.3.8	洗浄水ポンプ .....	32
4.3.9	FlowControl 付きフロントタンク .....	33
4.4	 機能グループ・ ブーム動作 (Profi-folding / Flex-folding) .....	35
4.4.1	自動ブームガイド .....	35
4.4.2	手動ブームガイド .....	40
4.4.3	ブームの展開・折り畳み (Flex-folding) .....	43
4.4.4	ブームの折り畳み (Profi-folding) .....	45

4.5		機能グループ・ ブーム動作 ( 事前選択による折り畳み ) .....	49
4.6		機能グループ・ 車軸 .....	50
4.6.1		AutoTrail ステアリング車軸 .....	50
4.6.2		ハイドロニューマチック・ サスペンション .....	55
4.7		充填 / 補充メニュー .....	56
4.8		攪拌メニュー .....	58
4.9		清掃メニュー .....	59
4.9.1		集中清掃とクイック清掃 .....	59
4.9.2		ブームの洗浄 .....	60
4.9.3		希釈 .....	60
4.9.4		XtremeClean .....	61
4.10		ドキュメントメニュー .....	62
4.10.1		カウンタ値 .....	62
4.10.2		天候データ .....	63
<b>5</b>		<b>設定 .....</b>	<b>64</b>
5.1		機械 .....	65
5.1.1		速度 .....	66
5.1.2		散布液回路 .....	69
5.1.3		油圧系統 .....	74
5.1.4		FT1502 の機械プロフィールを選択 .....	77
5.2		プロフィール .....	82
5.2.1		マルチファンクション表示 .....	84
5.2.2		自由なキー割り当ての設定 .....	85
5.2.3		スタート機能の設定 .....	85
5.2.4		アラーム限界値の設定 .....	86
5.2.5		ポンプ駆動 .....	87
5.2.6		ブーム挙動 の設定 .....	88
5.2.7		量制御の設定 .....	90
5.2.8		ブームセクション切り替えの設定 .....	91
5.2.9		AmaSelect の設定 .....	93
5.2.10		充填プロフィールの作成 .....	103
5.2.11		ISOBUS の設定 .....	105
5.2.12		ステアリングの設定 .....	108
5.3		Info .....	110
5.4		セットアップ .....	110
<b>6</b>		<b>故障 .....</b>	<b>111</b>
6.1		アラーム / 警告および注記 .....	111
6.2		ISOBUS からの速度信号の欠落 .....	111



---

6.3	故障表 .....	112
7	マルチファンクションハンドル AUX-N.....	<b>138</b>
8	マルチファンクションハンドル AmaPilot+ .....	<b>139</b>
9	ブームセクション制御ボックス AMACLICK.....	<b>142</b>
9.1	機能 .....	142
9.2	オプション .....	143

## 1 ユーザー向けの情報

この「ユーザー向けの情報」の章では、本取扱説明書の使い方について説明します。

### 1.1 本書の目的

本取扱説明書について

- 本書には機械の操作方法・メンテナンスが記載されています。
- 本書には機械の安全で効率的な操作方法が記載されています。
- 本書は機械を構成する一部です。つねに機械または牽引車両と一緒に保管する必要があります。
- 今後必要になる場合に備え、安全な場所に保管してください。

### 1.2 本取扱説明書での位置の記載

本取扱説明書に書かれている方向は、すべて進行方向を基準としています。

### 1.3 使用している記号

#### 操作手順と操作結果

ユーザーが実施しなければならない操作手順には、番号が振られています。記載されている順序を必ず守ってください。操作結果は、矢印で示されています。

例：

1. 操作手順 1

→ 操作手順 1 に対する操作結果

2. 操作手順 2

#### リスト

順番が重要ではないリストは、黒丸で箇条書きになっています。

例：

- ポイント 1
- ポイント 2

#### 図中の番号

丸カッコに入った数字は、図中のアイテム番号を示しています。例：

( 1 ) 位置 1

## 2 一般的な安全上の注意事項

機械を安全に、かつ正常に操作するためには、基本的な安全上の注意事項と安全規則に関する知識が基本条件となります。



本取扱説明書は、

- 必ず機械を操作する場所に保管してください。
- つねにユーザーとメンテナンス補助者が容易に閲覧できるようにしてください。

### 2.1 安全に関する記号の意味

安全上の注意事項は、三角形の安全マークと目立つ警告文字によって表示されています。警告文字（危険、警告、注意）は、危険の度合いを表し、以下の意味があります。



危険

回避しなければ死亡または重傷（体の一部の損失または長期の傷害）を招くことになる、差し迫った高い危険を示します。

指示に従わなかった場合、ただちに死亡または重傷を負うことになります。



警告

回避しなければ死亡または（命にかかわる）重い怪我を招く可能性がある、中程度の危険を示します。

指示に従わなかった場合、死亡または命にかかわる重い怪我を負う可能性があります。



注意

回避しなければ軽傷または中程度の怪我や物的損害を招く恐れのある低い危険を示します。



**重要**

機械を正しく操作するために必要な行動や、義務付けられる特別な行為を示します。

これらの指示に従わないと、機械の不具合や環境への悪影響を招く恐れがあります。



**注記**

操作のヒントや特に役立つ情報を示します。

これらの指示は、お使いの機械のすべての機能を最大限に活用するのに役立ちます。

### 3 製品の説明

---

ISOBUS ソフトウェアと ISOBUS 端末により、AMAZONE 機械を容易に制御、操作および監視できます。

ISOBUS ソフトウェアは、次の AMAZONE 機械で稼働します：

- UX 4201, UX 5201, UX 6201, , UX7601, UX8601, UX11201
- UF 1002, UF 1302, UF 1602, UF 2002
- Pantera 4503, Pantera 4504
- FT-P

作業中

- 作業データがすべて作業メニューに表示されます。
- 機械は作業メニューで操作されます。
- ISOBUS ソフトウェアは、走行速度に応じて散布量を制御します。

#### 3.1 ソフトウェアバージョン

---

本取扱説明書は、以下のソフトウェアバージョン以降に対応しています。

ISOBUS ジョブコンピュータ

**NW242-I**

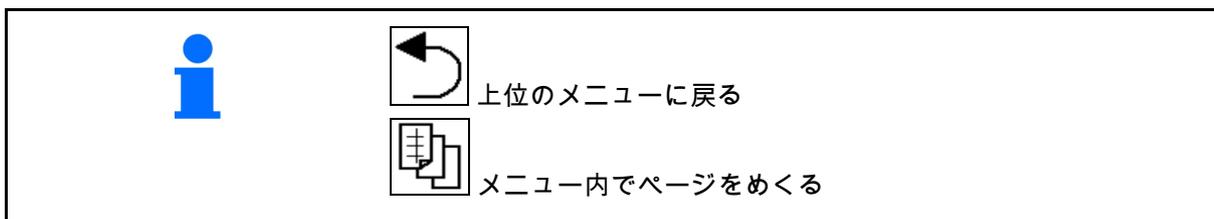
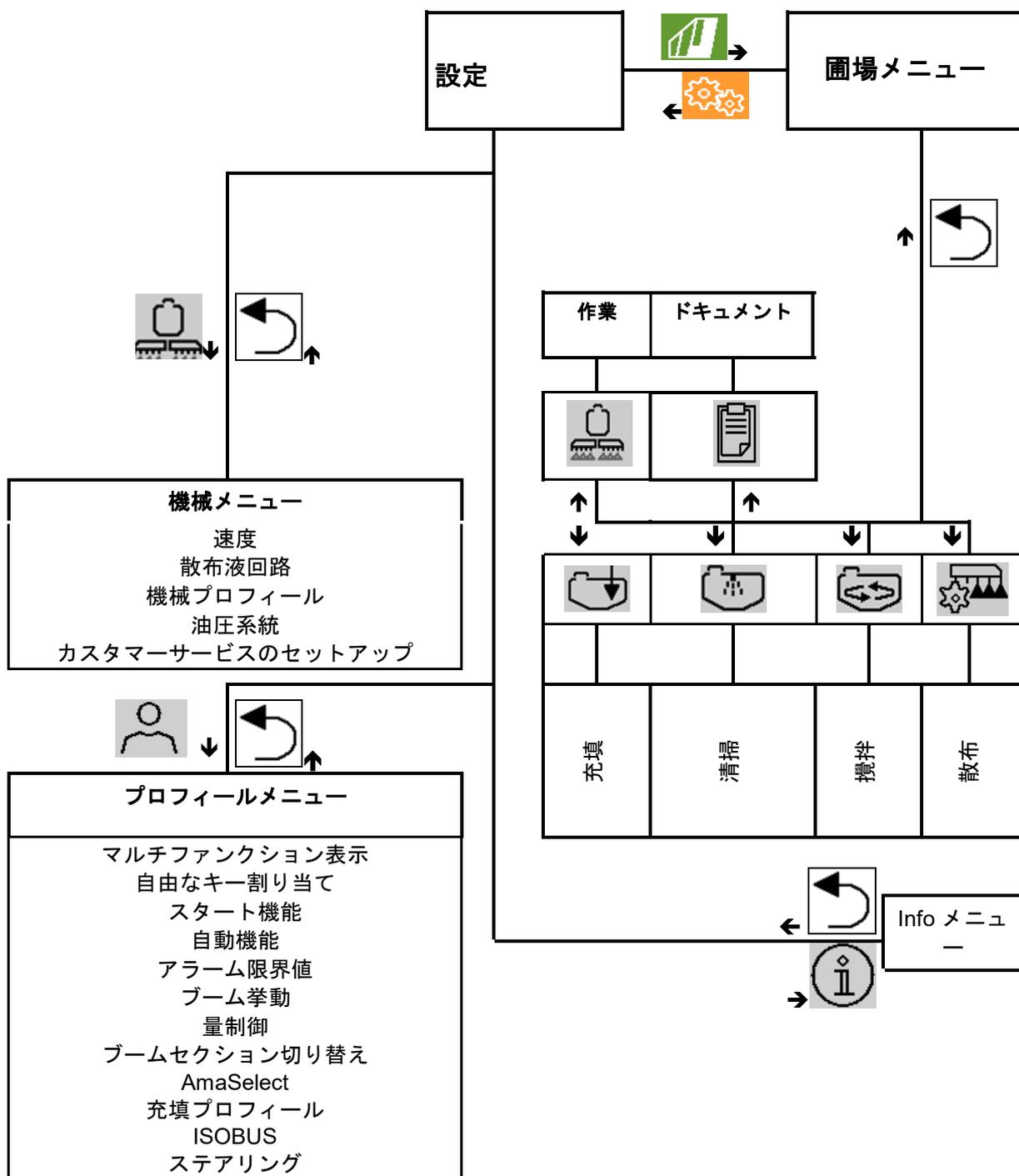
( AEL652 )

#### 3.1 ソフトウェアバージョン I への改新

---

- コンフォートパッケージおよびコンフォートプラスパッケージ  
：洗浄水タンクの充填レベルを棒グラフで表示
- タンクサイズ 7004 設定可能
- パンテラのクルーズコントロールは、スプレー機能により自動で切り替え可能です。

### 3.2 ISOBUS ソフトウェアの階層



### 3.3 圃場 / 設定メニュー

端末を ON にすると、圃場メニューがアクティブになります。



圃場メニューに切り替えます。



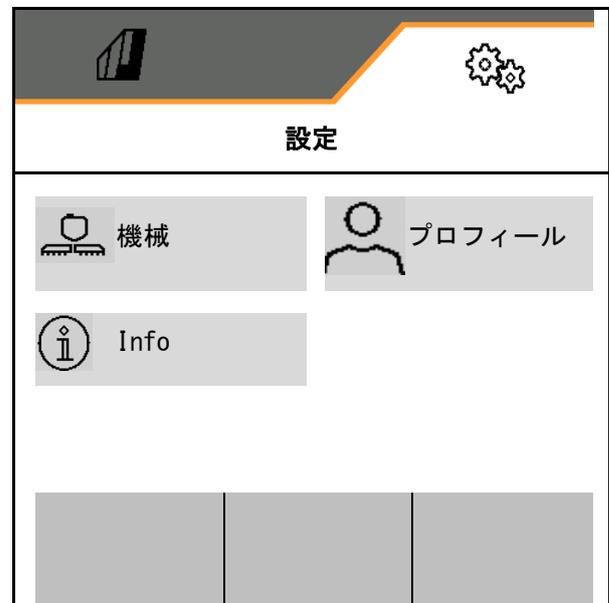
設定メニューに切り替えます。

→ 選択されたシンボルがカラー表示されます。

機械を使用するための圃場メニュー：



設定および管理するための設定メニュー：



## 4 圃場メニューと規定量入力

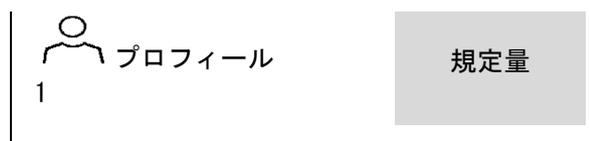
- 作業メニュー  
圃場での機械操作
- 充填メニュー
- ジョブドキュメントメニュー
- 清掃メニュー
- ドキュメントメニュー
- 攪拌メニュー

 現在選択されているプロフィールが表示されます。

- 規定量入力



- 帯状散布用規定量メニュー

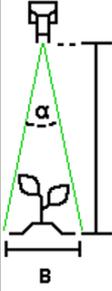


## 帯状散布メニュー

- 平面散布の規定量
- 帯状散布の規定量
- ここから、散布帯の間隔が xx cm の場合の規定量が算出されます
- 帯状散布の計算
  
- 任意の散布帯間隔を入力します
- 保存されているノズル角度が表示されます。
- 設定する散布高さが計算されます

規定量	
平面散布の規定量	[ ] l/ha
帯状散布の規定量	[ ] l/ha
次で減少された規定量 xx cm	XXX l/ha
帯状散布の計算	>

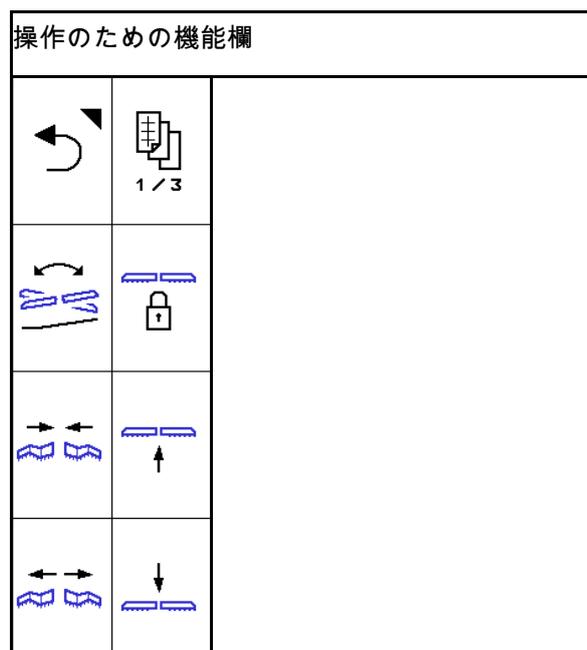
帯状散布の計算	
任意の帯幅を 入力してください！	
	帯幅 (B) [ ] cm
H 保存された ノズル角度	40°
設定する散布高さ (H)	41 cm

## 4.1 作業メニュー



機械は作業メニューのサブメニューで操作します。

サブメニューは機能グループに分かれています。機械のタイプと装備によっては、作業メニューとサブメニューに存在しない機能があります。



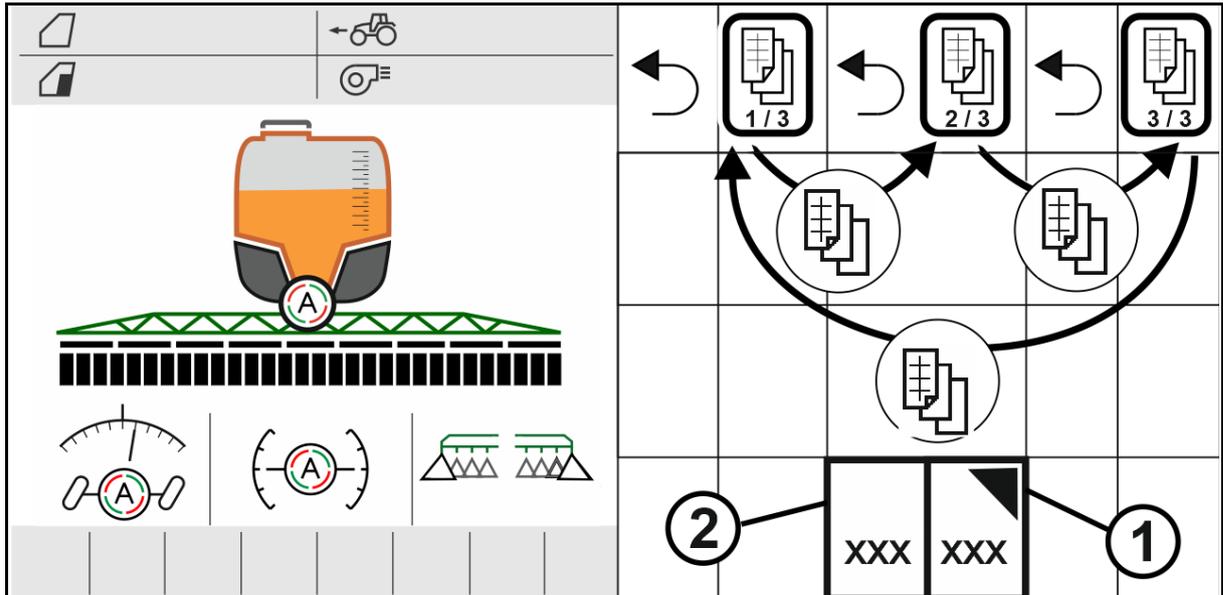
### 4.1.1 機能欄

機能欄は、作業メニューの複数ページに分散しています。

各機能欄は、キー割り当ての変更により、任意の機能を持たせることができます。



機能欄を見つけるためにページをめくる



2種類の機能欄が存在します：

(1) 機能を直接呼び出す

例：

-  散布 ON/OFF
-  自動 / 手動セクションコントロール

(2) 機能グループを呼び出す

機能グループの右上に、三角形のマークが付きます。

-  ブーム動作
-  散布
-  車軸

- 機能グループの下には、直接機能呼び出せる機能欄がさらにあります。

- 機能グループの機能は、キー割り当ての変更により、機能グループの外に配置することもできます。
- 機能グループの機能も、複数のページに分散しています。



- 必要に応じてページをめくる



- 機能グループを離れる

## 機能欄で機能を実行

---

**押して機能を実行します。**

キーを押すと機能が実行されます。

- ON / OFF
- 選択肢の選択
- ナビゲート

**押し続けて機能を実行します。**

希望する終了位置になるまで、機能欄を押し続けます。

4.1.2 端末の表示

		選択可能なマルチファンクション表示の4つの欄
<p>999 l/ha</p> <p>100 %</p> <p>8.6 bar</p> <p>6100 L</p> <p>充満レベル</p>		<p>実際量</p> <p>実際量 (%)</p> <p>散布圧</p> <p>セクションコントロールモード</p>
<p>ブームセクション切り替え :</p> <p>1 2 3 4 5 6 7</p> <p>ブームセクションの数</p>		<p>散布 : ブームセクションは ON (緑色)</p> <p>散布 : ブームセクションは OFF</p>
<p>個別ノズル切り替え :</p>		<p>散布 : ノズル ON (緑色)</p> <p>散布 : ノズル OFF</p>
		<p>カーブコントロール (カーブ走行時の量調整) を用いた散布</p>
		<p>AmaSelect Row 帯状散布</p>
<p>ステアリング</p>	<p>ブームガイド</p>	<p>平面散布</p> <p>境界ノズル</p> <p>帯状散布</p>

							運転表示
							(1) 照明
(1)	(2)	(3)	(4)			(5)	(2) 散布ポンプ
							(3) 油圧式事前選択折り畳み
							(4) 油圧式事前選択折り畳みのアクティブな機能
							(5) AmaSelect : アクティブなノズルと自動/手動モード

様々な機能の自動モード

 自動 ON

 自動 OFF / 手動運転

  作業メニューで操作エリアをめくります。

  感嘆符は、特別な状況が不具合を示しています！

### 4.1.3 使用時の手順

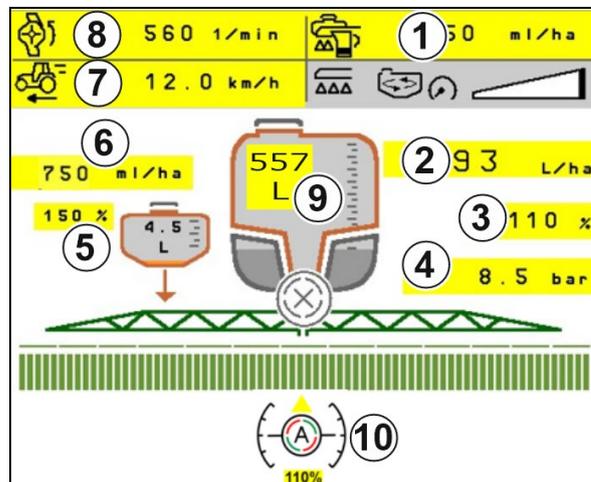
1. 操作端末で作業メニューを選択します。
2. オイル循環：トラクター制御装置赤色を介して油圧ブロックにオイルを供給します。
3. スプレーヤーブームを展開します。
4. ブームの高さを設定して、ブームを揃えます。
5. ステアリング車軸を備える UX : AutoTrail を自動モードに。
6. ブームガイドを自動モードに。
7. 必要に応じてセクションコントロールを ON にします。
8. 散布を ON にして、トラクターを発進し、圃場に散布します。
9. 散布を OFF にします。
10. スプレーヤーを清掃します ( コンフォートパッケージ : 清掃プログラムを利用 ) 。
11. スプレーヤーブームを折り畳みます。
12. ステアリング車軸を中央位置でロックします。
13. オイル循環：オイル供給を遮断します。

#### 4.1.4 マークされた規定状態からの逸脱

黄色でマークされた値は規定状態または機械ステータス表示からの逸脱を示しています。

これはユーザーによる手動過制御やシステム上での逸脱から起こることがあります。

- (1) DirectInjectの散布量が規定値から10%以上逸脱しています
- (2) l/haの散布量が規定値から10%以上逸脱しています
- (3) 散布量が過制御されています
- (4) 散布圧がアラーム限界範囲外にあります
- (5) DirectInjectの散布量が過制御されています
- (6) DirectInjectの散布量が規定値から10%以上逸脱しています。
- (7) シミュレートされた速度および後退
- (8) ポンプ回転数がアラーム限界範囲外にあります
- (9) 散布液タンクの充填レベルがアラーム限界値を超えています
- (10) ブームの高さが過制御されています (%)

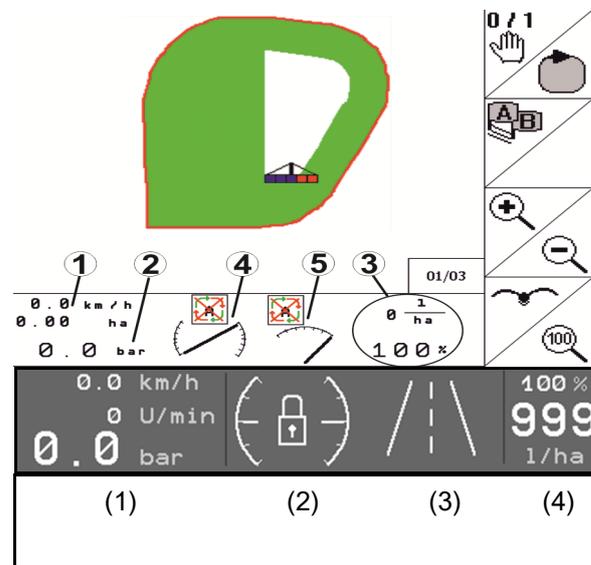


#### 4.1.5 セクションコントロールのミニビュー

ミニビューは、セクションコントロールメニューで表示される作業メニューを切り抜いたものです。

- (1) マルチファンクション表示の最初の2行と散布圧
- (2) ブームガイド
- (3) AutoTrail
- (4) 実際量と規定値適合

注記も同様にミニビューに表示されます。



## 4.2 作業メニューの機能

### 4.2.1 散布を ON / OFF

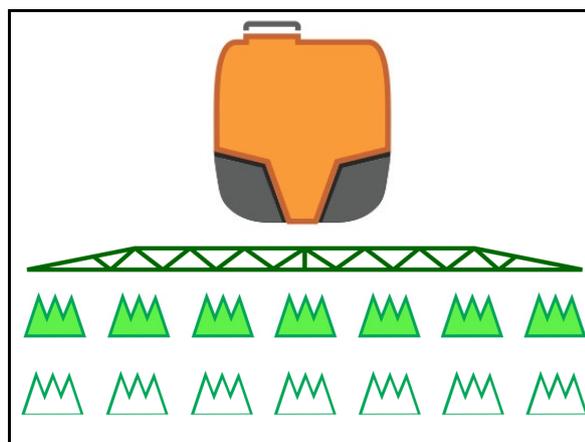
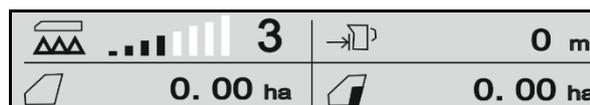
	散布を ON / OFF にする
---	------------------

- 散布が ON: 散布液が散布ノズルから散布されます。
- 散布が OFF: 散布液は散布されません。

作業メニューの表示:

散布は ON

散布は OFF

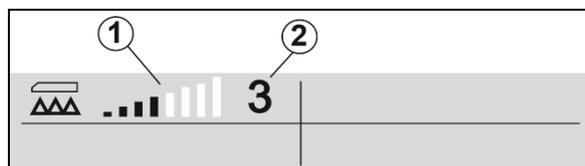


### 機械稼働率の表示

- (1) 量制御バルブの位置を棒グラフとして表示すると、走行速度／散布量の増加が可能か、または攪拌出力の減少が必要かを知るための情報として役立ちます。

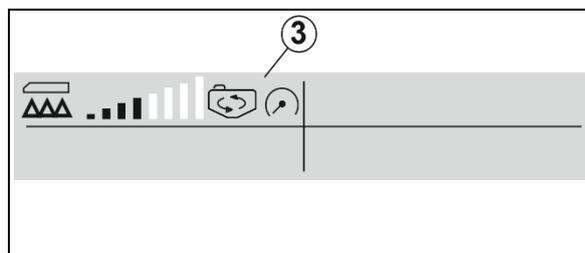
→ マークされたバーが多くなると、ブームに送られる量が多くなります。

- (2) HighFlow の数字（値 1～6）は、攪拌ポンプが散布に使用される割合を示します。



- (3) 散布量が多い場合は、補助アジテーター（UX、Pantera）またはメインアジテーター（UF）が OFF になります。

攪拌力を上げるには、走行速度を落とすか、ポンプ回転数を上げます。

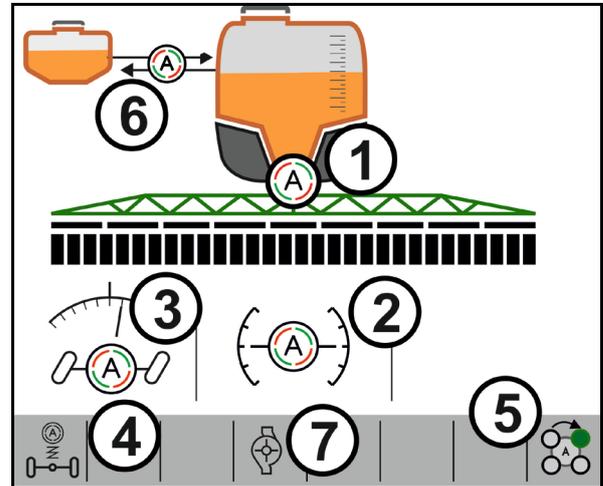


## 4.2.2 スタート機能の設定 ON

	スタート機能の設定 ON
---	--------------

選択した設定に応じて、次の自動機能をまとめて ON にできます：

- (1) セクションコントロール
- (2) ブームのロック解除、ブームガイド
- (3) AutoTrail
- (4) ハイドロニューマチック・サスペンション
- (5) AmaSelect
- (6) FlowControl
- (7) 油圧ポンプ駆動



自動機能をまとめて OFF にすることはできません。

自動機能を全て作業メニューに表示することはできません。

### 4.2.3 セクションコントロール



機械のセクションコントロールの ON/OFF



端末にはセクションコントロールが備わっていません。セクションコントロールは端末アプリケーションで ON になっていないとできません。

→  そうすれば ISOBUS ソフトウェアを介してセクションコントロールを切り替えることができます。



セクションコントロールのための条件：

- セクションコントロールが端末を介して ON にされています。
- 機械に問題がありません。

1.  セクションコントロールを ON にします。

2.  機械を ON にします。

→ 機械が作業位置で ON になっていると、発進の際に散布が始まります。

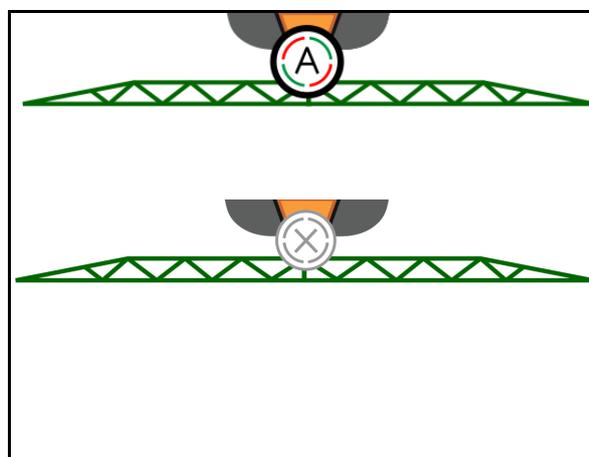
セクションコントロールがアクティブ：

→ セクションコントロールの条件が全て満たされています。

セクションコントロールなし：

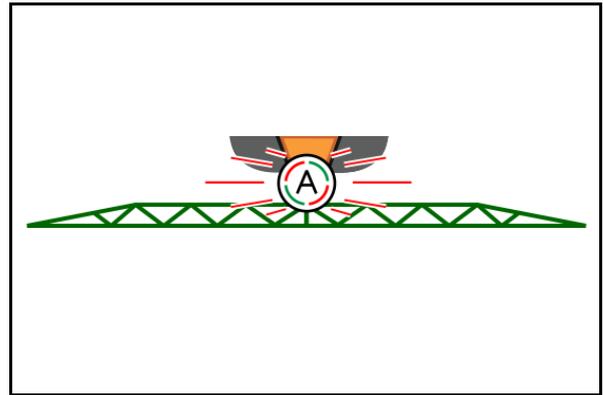
→ 端末でセクションコントロールにログインしますが、まだ ON していません。

→ セクションコントロールの条件が満たされていません。



セクションコントロールなし：

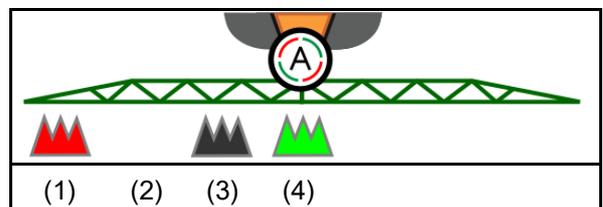
- 端末でセクションコントロールにログインしました。
- セクションコントロールの条件が満たされました。
- セクションコントロールが、機械を介して始動されていません。



セクションコントロールは ON にしなければなりません。

散布 OFF：

- (1) ブームセクションは、手動で OFF にされました (赤色)。
- (2) ブームセクションは、すでに操作されました。
- (3) 散布は ON になっていません (灰色)。



散布 ON：

- (4) 散布 (緑色)

ブームセクション自動切り換えが不可能である場合、必要条件が記載された注記が表示されません。

- 条件が満たされていない
- 条件が満たされている



セクションコントロールをアクティブにできません！

次の条件を満たしている必要があります：

Section Control of the terminal

(Task Controller) activated 端末のセクションコントロール

(タスクコントローラ) がアクティブ

Implement error free

機械はエラーフリー

Booms in working position

ブームは作業位置にあります

Please confirm

確定してください



散布剤が不意に散布されることによる環境負荷

セクションコントロールの使用は、定義された圃場限界内でのみ許容されます。

#### 4.2.4 作業灯

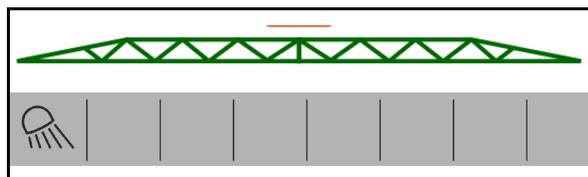


作業灯の ON/OFF

あるいは TECU で作業灯を切り換えます (設定によります)。

走行速度で道路を走行すると、作業灯が自動的に消灯します。

作業灯 ON の表示 →



### 4.3



機能グループ・散布液

#### 4.3.1 散布量制御

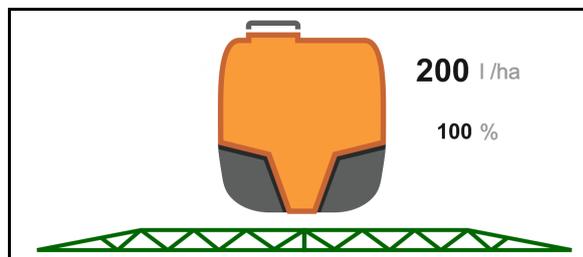


自動/手動

自動

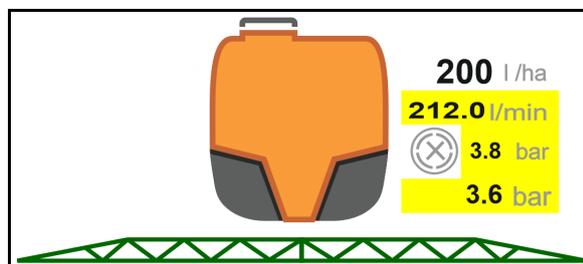
機械コンピュータは、その時の走行速度に応じて散布量を制御します。

手動



手動

手動モードは散布作業ではなく、メンテナンス作業と清掃作業だけに適しています。



 と  ボタンを押して散布圧を変更することで、散布量を手動制御します。

さらに、入力した規定圧力および散布量 (リットル / 分) が表示されます。

### 4.3.2 規定量の変更



規定量は作業中に任意に変更できます。

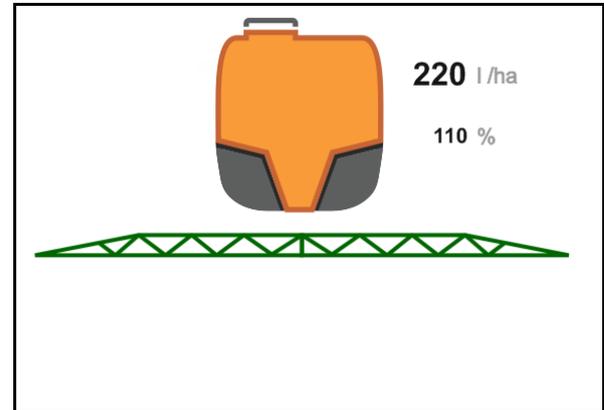
変更した規定値は、以下の形で作業メニューに表示されます：

自動：

- 量を l/ha、パーセントで
- インクリメント 10%

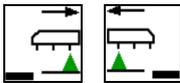
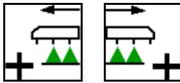
手動：

- 量を l/min、圧力を bar で
- インクリメント 0.1 bar



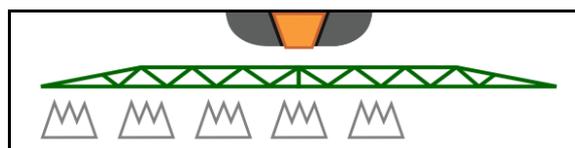
-  キーを押すごとに、散布量が一定幅ずつ増加します。
-  自動：散布量を 100% にリセットします。
-  キーを押すごとに、散布量が一定幅ずつ減少します。

### 4.3.3 外側ブームセクションを OFF

	<p>ブームセクションを左側から/右側から OFF にします。</p>
	<p>ブームセクションを左方向に/右方向に ON にします。</p>

次の場合にブームセクションを ON/OFF にできます。

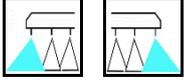
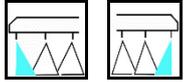
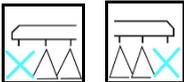
- 散布中
- 散布 OFF 時



特に楔形の圃場で散布する際には、外側ブームセクションを OFF にすると便利です。

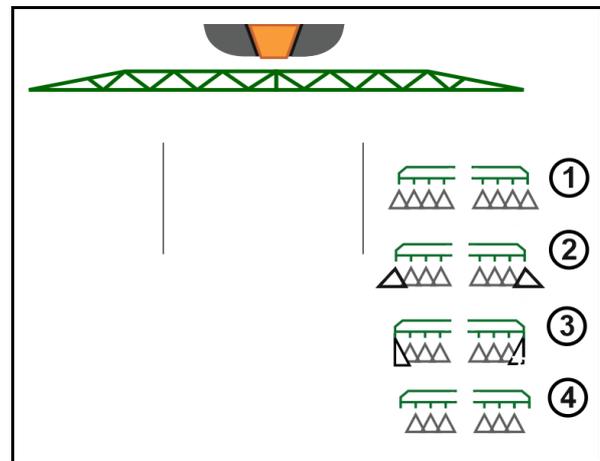
作業メニューの表示: 右側のブームセクションが OFF。

#### 4.3.4 限界ノズル、エンドノズルまたは追加ノズル

	左右の追加ノズルを ON/OFF にします。
	左右の限界ノズルを ON/OFF にします。
	左右のエンドノズルを ON/OFF にします。

作業メニューの表示:

- (1) 標準ノズルがアクティブ
- (2) 追加ノズルがアクティブ
- (3) 限界ノズルがアクティブ
- (4) エンドノズルが非アクティブ



#### 4.3.5 AmaSelect Row

	帯状散布または平面散布を選択
---	----------------

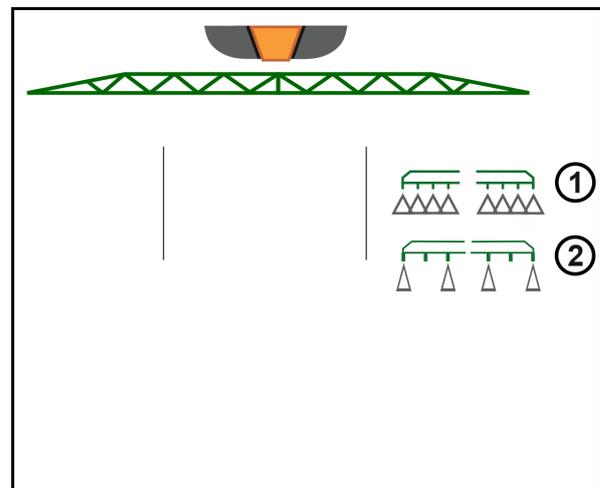
作業メニューの表示:

- (1) 平面散布を選択
- (2) 帯状散布を選択

帯状散布では、エリア固有の散布量 (l/ha) は、理論上の帯幅に基づいています (AmaSelect Row の設定を参照)。

機械の中央に列があってはなりません。

適切なスプレーノズルを使用してください。



### 4.3.6 AmaSelect

スプレーヤーブームには 4 個のノズルを備えたノズル本体が備わっています。各ノズル本体はそれぞれ一個の電気モーターで作動します。

ノズルは任意に ON/OFF にできます  
(セクションコントロールに応じて)

4 個のノズルを備えたノズル本体により、1 個のノズル本体で複数のノズルを同時にアクティブにできます。

あるいはノズルを手動で選択できます。

縁エリアの処理用に追加ノズルを個別に設定できます。

ノズル本体内に、LED 個別ノズル照明が内蔵されています。

25 cm のノズル間隔が可能です (オプション)

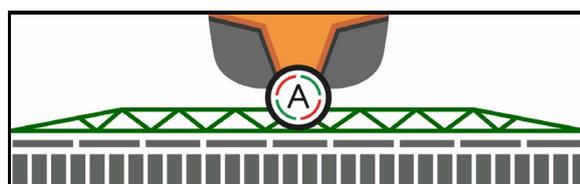
手動でのノズル選択:

ノズルまたはノズルの組み合わせの選択は、操作端末で行えます。

自動ノズル選択:

ノズルまたはノズルの組み合わせは、入力した縁エリアの条件に応じて散布中に自動的に選択されます。

- ノズル間隔 0.5 m におけるノズルの図



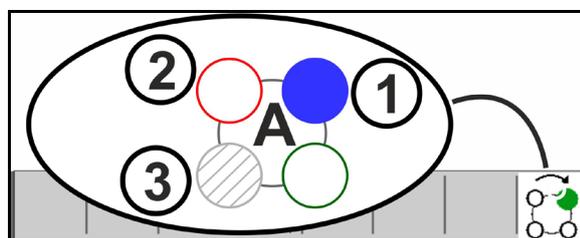
- 4 個のノズルを備えたノズル本体の図

(A) 自動ノズル選択

(1) ノズルはアクティブ

(2) ノズルは非アクティブ

(3) ノズルは未設定



	自動または手動ノズル選択
---	--------------

選択により、ノズルは自動または手動で切り替えられます。

#### 自動ノズル選択

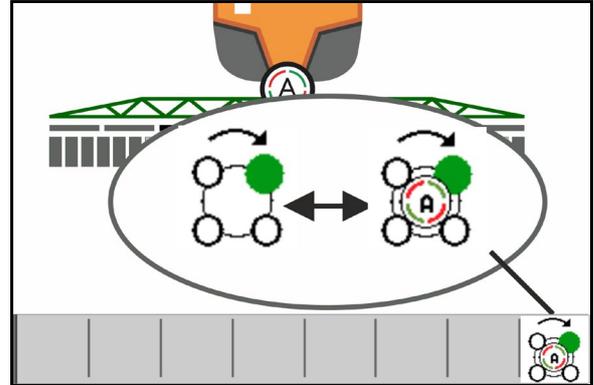
自動ノズル選択は、AmaSelect のシンボルである A で表示されます。

自動ノズル選択では、散布圧を上回るか下回ると、その時点の散布圧で優先される別のノズルまたはノズルの組み合わせに切り替わります。

各ノズル / ノズル選択は、事前に設定する必要があります。

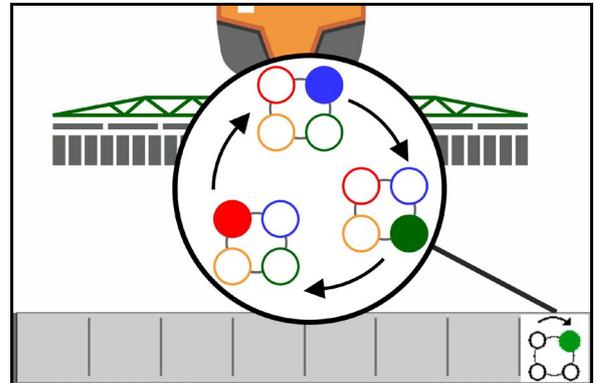
#### 手動ノズル選択

手動ノズル選択では、ボタンを押してノズル選択を変更できます。



	ノズルを手動選択
---	----------

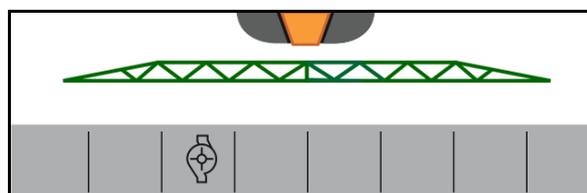
ノズル選択は、プロフィールで選択した位置に応じて、キーを押すごとに切り替わります。



### 4.3.7 油圧ポンプ駆動

	<p>油圧ポンプ駆動の ON/OFF</p>
---	------------------------

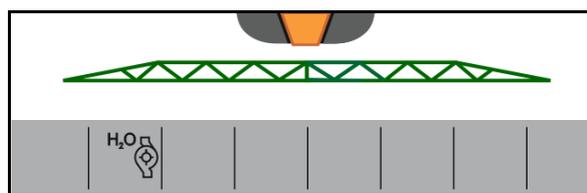
油圧ポンプ駆動が ON の表示→



### 4.3.8 洗浄水ポンプ

	<p>UF02: 洗浄水ポンプの ON/OFF</p>
---	-----------------------------

洗浄水ポンプが ON の表示→

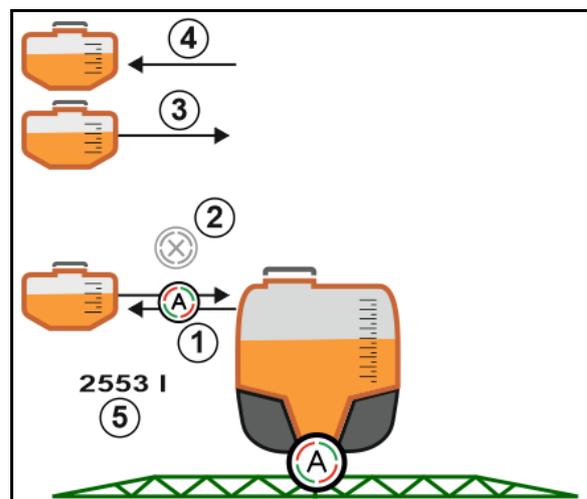


### 4.3.9 FlowControl 付きフロントタンク

	自動モード/手動モード
	ポンプで前方送りを ON/OFF
	ポンプで後方送りを ON/OFF

作業メニューの表示:

- (1) 自動モードは ON
- (2) 手動モードは ON。
- (3) フロントタンクから UF へのポンプ送りが ON
- (4) UF からフロントタンクへのポンプ送りが ON
- (5) 合計充填レベル (UF+フロントタンク)



フロントタンクの充填レベルは、マルチファンクション表示によって表示されます。

自動モード:

使用中/輸送走行中は、スプレーヤー/フロントタンクと組み合わせたスプレーヤーは自動モードで運転します。

自動モードの機能:

- フロントタンク内の攪拌効果により、散布液が常時循環。
- 散布作業で両タンクの充填レベルを制御。

手動モード:

- 手動モードでは、両タンクへの散布液の配分はユーザーが制御します。

制御は次の機能を用いて行います。

- ポンプで前方送り
- ポンプで後方送り



ポンプで前方送りとポンプで後方送りは、同時に ON にできます。



フロントタンクなしでスプレーヤーを使用するには、機械メニューでフロントタンクを OFF にします。

### 充填



フロントタンクはスプレーヤーUFによって充填します。

- フロントタンクとスプレーヤーを同時に充填する前に、充填レベルの警報限界を調整してください。
- ノズル選択は、プロフィールで選択した位置に応じて、キーを押すごとに切り替わります。

### 内部清掃

フロントタンクでは内部清掃を行うことができます。この内部清掃はスプレーヤーの内部清掃と同時に実行されます。

→ 取扱説明書 UF を参照。

内部清掃中/内部清掃後:

-  フロントタンクが空になるまでポンプで後方送りを ON にします。
- コンフォートパッケージがある機械では自動的に実行されます!
- 内部清掃後: 残留物の排出を実行します。

### 充填レベルセンサーの故障

充填レベルセンサーの故障時には

- アラーム信号が表示される
- 自動モードから手動モードに切り替わる
- Flow Control の両バルブが閉じる

## 4.4 機能グループ・ブーム動作 (Profi-folding / Flex-folding)

### 4.4.1 自動ブームガイド



自動ブームガイドは、ContourControl およびディスタンスコントロールのバリエーションにあります。



自動ブームガイド：間隔制御 ON/OFF



#### 警告

超音波センサー照射範囲への立ち入りにより、自動モードのスプレーブームが不意に動き、怪我をする危険。



自動ブームガイドを OFF にしてください

- トラクターから離れる前に。
- 部外者がスプレーブームの作動範囲にいる場合。



#### 警告

ブームが高電圧線に接触する際に生じる、電流による危険！

ブームガイドは、高電圧塔の少なくとも 1メートル前で OFF にします。

障害物が近づくと、超音波センサーが検知して、ブームが不意に持ち上がる可能性があります。



キーを長押しすることで、手動ブームガイド機能による、自動ブームガイドへの介入が可能です。

その後、ブームガイドは引き続き制御されます。



縮小された作業幅：

→ 距離センサーは、ブームを認識できます。

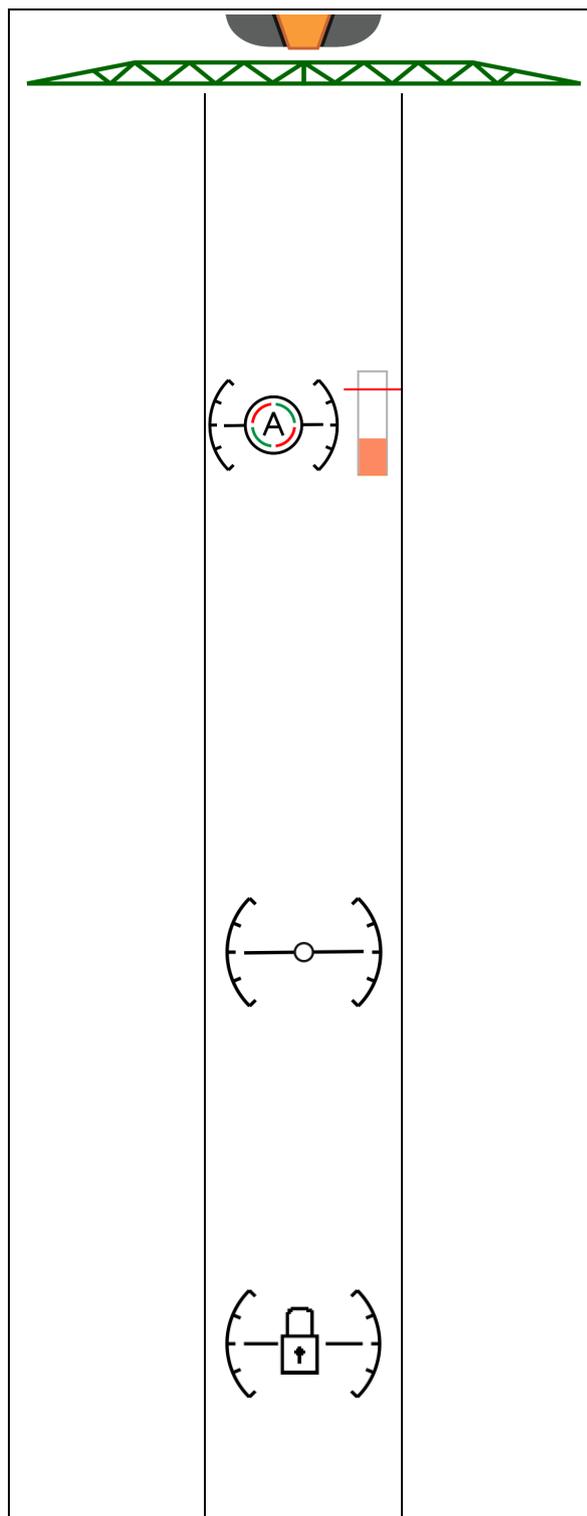
プロフィールメニューで自動ブームガイドを ON にする前に、これらのセンサーを無効にします。

作業メニューの ControurControl :

- 
 自動ブームガイドが ON
  - ブーム負荷の表示が現れます。
  - スプレーヤーブームの高さと傾きは、ブームガイドによって自動的に制御されます。
    - 作業幅全体に散布する場合
    - 両側のサイドアームを折り畳んで散布する場合
    - 作業幅半分に片側散布する場合

 機械が停止している場合には、自動マークが点滅します。高さガイドが非アクティブ。

- 
 自動ブームガイドが OFF :
  - 高さ制御が非アクティブで、傾き制御がアクティブ。
    - 作物の高さが不均一な場合
    - 溝、水たまり
    - 作業幅を狭めた場合の、ブームによるセンサーの影響
- スプレーヤーブームが水平にロックされています
  - ブームを折り畳む際に、自動的に走行位置になります



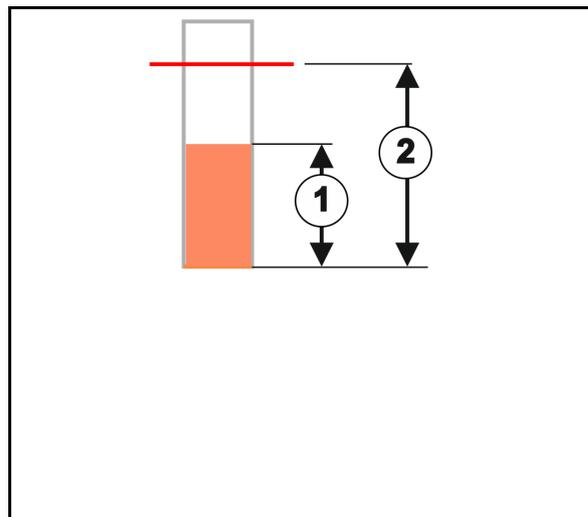
## ブーム負荷の表示

カーブ走行時のブーム不可は、棒グラフで表示されます。

表示は、運転者がブームの寿命を最大限に延ばす、運転スタイルを実現するのに役立ちます。

方向転換や折り畳みプロセスによる負担は表示できません。

- (1) 現在のブーム負荷
- (2) 最大許容ブーム負荷。



ブームに損傷を与える可能性があるため、許容ブーム負荷を超えないようにしてください。超過した数は記録されます。

機械に優しい運転スタイルのために、次のことに注意してください：

- 枕地の前で走行速度を大幅に落とし、カーブは一定の速度で走行します。
- 半径が狭いカーブはゆっくりと通過します（6km/h 未満）
- 急なステアリング操作やステアリング時の方向転換を避けます（走行路修正など）
- 走行中にブームを折り畳まないようにします
- 個々のブームエレメントを、常に最終位置（折り畳まれた状態または展開された状態）にセットします。ブームを部分的に折り畳んだ状態で走行しないようにします。
- 急速および突如な方向転換を避けます

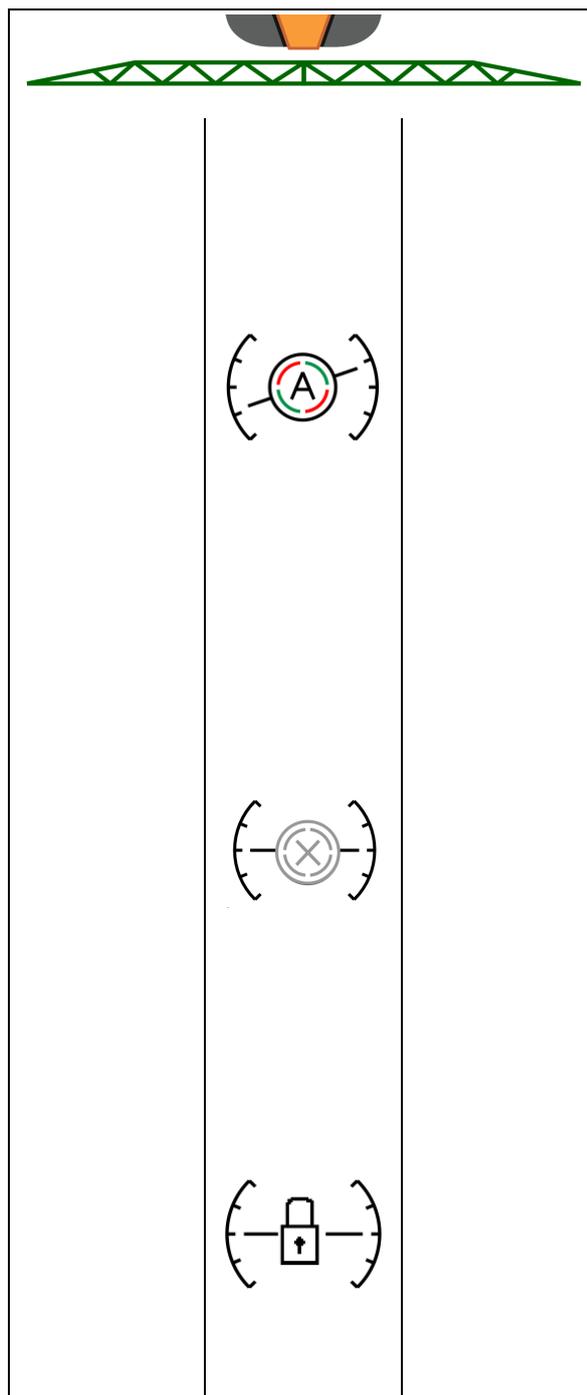
損害の種類によっては、保証請求の際にカウンタの値が考慮される場合があるので注意してください。

作業メニューのディスタンスコントロール：

- 
 自動ブームガイドが ON になっています
- スプレーヤーブームの高さと傾きは、ブームガイドによって自動的に制御されます。
  - 作業幅全体に散布する場合
  - 両側の作業幅を縮小して散布する場合

**i** 機械が停止している場合には、自動マークが点滅します。高さガイドが非アクティブ。

- 
 自動ブームガイドが OFF :
- 高さ制御が非アクティブで、傾き制御がアクティブ。
  - 作物の高さが不均一な場合
  - 溝、水たまり
  - 作業幅を狭めた場合の、ブームによるセンサーの影響
- スプレーヤーブームが水平にロックされています
  - ブームを折り畳む前
  - 片側散布の場合
  - 片側のサイドアームを折り畳んで散布する場合



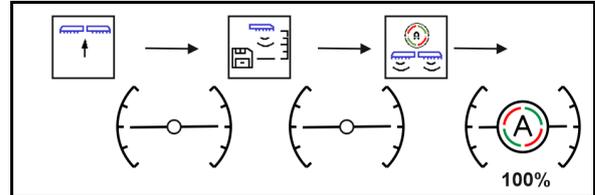
## 自動ブームガイドの作業高さの設定

	作業高さ（散布ノズルと作物の間隔）の保存
---	----------------------

- 作業を開始する前に、自動ブームガイドの作業高さを設定します。

- 、 作業高さを設定します。

-  作業高さを保存します。

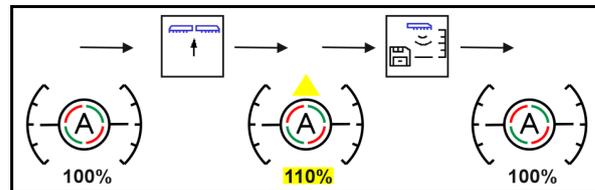


-  枕地におけるスプレーヤーブームの高さを、プロフィールメニューで設定します。

-  AmaSelect：作業高さは、アクティブなノズルのためだけに保存されます。

- 作業高さは、自動モードで変更できます。

- 、 キーの短押し！ブームガイドは、キーを押すごとに 10% 高く設定されます。



-  キーの長押し！ブームを短時間持ち上げるため。

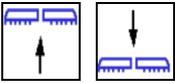
ブームは、自動的に再び下がります。

- 変更した作業高さで引き続き作業します（自動モードがアクティブな限り）。

-  必要に応じて、変更した作業高さを保存します。

## 4.4.2 手動ブームガイド

### ブームの高さ設定

	<p>ブームを上昇、下降</p>
---	------------------

- 散布ノズルと作物の間隔を設定するために。
- ブームを折り畳むために。

- リフティングモジュール:
- リフティングモジュールを利用するには、ボタンを押し続けます。
  - 折り畳む前に、リフティングモジュールを再び下げます。
  - 手動ブームガイド:

-  リフティングモジュールを上昇
-  リフティングモジュールを下降

### スイング補正

	<p>スイング補正のロック/ロック解除</p>
---	-------------------------

**スイング補正のロック解除:**

→ 散布時

**スイング補正ロック**

→ ブーム折り畳み時

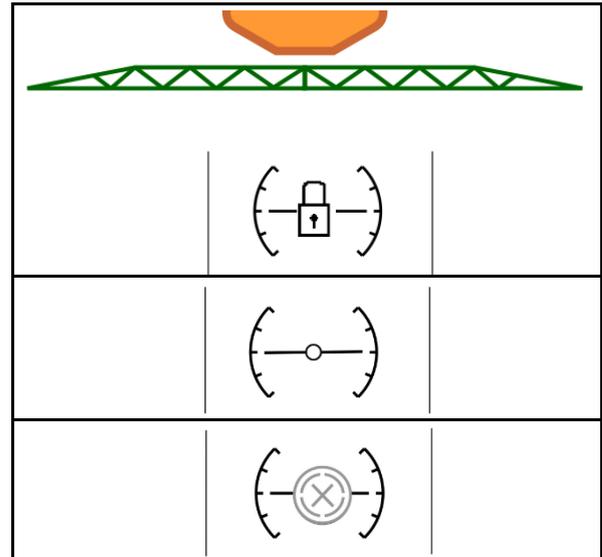
**スイング補正ロック**

→ ブームの片側を折り畳んだ状態での散布時

自動ロックの場合は、ブームを折り畳む前に、スイング補正が自動的にロックされます（設定可能：プロフィール/ブーム挙動）

作業メニューの表示：

- スイング補正ロック



- スイング補正はロック解除。

ContourControl :

ディスタンスコントロール:

#### 4 サイドアームを立てます ( Profi-folding 2 / Flex-folding 2 のみ )

	サイドアームを片側だけ立てる (左/右)
	サイドアームを片側だけ倒す (左/右)
	サイドアームの両側を立てる/倒す

地形の条件が非常に悪く、もはや高さ設定と傾き設定ではスプレーヤーブームを目標面に対して十分に調節できない場合、スプレーヤーブーム・サイドアームを立てたり倒したりすることで、サイドアームを立てたり倒したりします。



展開したスプレーヤーブーム・サイドアームは、絶対に 20 度以上の角度に立てないでください！



- サイドアームを水平位置にするために、スプレーヤーブームを最大限倒します (ストップ位置まで)。
- 水平位置よりも下側に倒すのは、ContourControl でのみ可能です。
- 水平位置よりも下側に倒すことはできません。
- スプレーヤーブームを走行位置に折り畳む前に、スプレーヤーブームを水平にしてください。

傾き調節

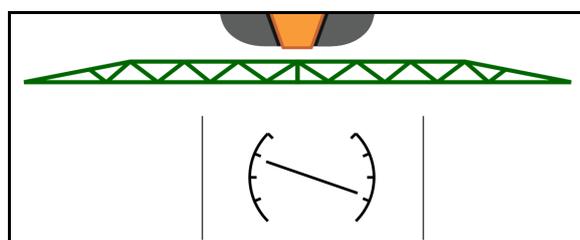
	<p>左を上傾き調節</p>
	<p>右を上傾き調節</p>

轍の深さが異なる場合や車両の片側だけ畝間を走行する場合など、地面の状態が好ましくない場合には、傾き調節によってスプレーヤーブームを地面または目標面に対して平行にできます。

傾き調節によるスプレーヤーブームのセット

を、スプレーヤーブームが目標面に対して平行になるまで押します。

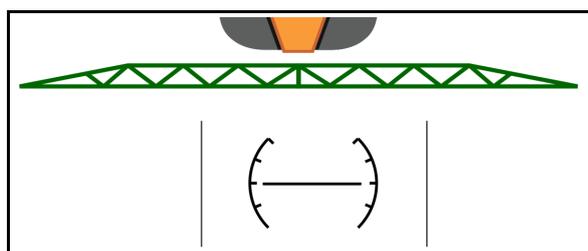
→ ディスプレイでは傾き調節のシンボルが、選択されたスプレーヤーブームの傾きを示します。ここでは、左側のスプレーヤーブームが上昇しています。



	<p>傾き調節のミラーリング - 傾斜のミラーリング (水平にセット)</p>
--	---

例えば傾斜地を（等しい高さで）横切る散布作業において、枕地で方向転換する際には、選択したスプレーヤーブームの傾きを簡単にミラーリングできます。

開始位置：左側のスプレーヤーブームが上昇しています。

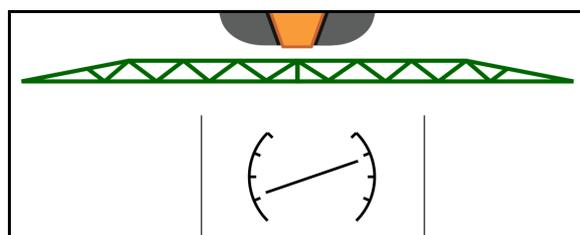


- を一度押すと、油圧式の傾き調節がスプレーヤーブームを水平にセットします（0ポジション）。

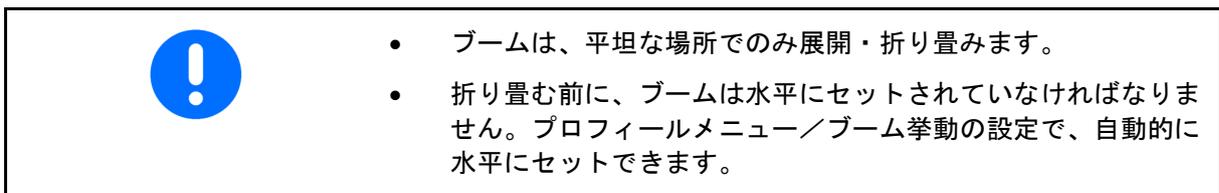
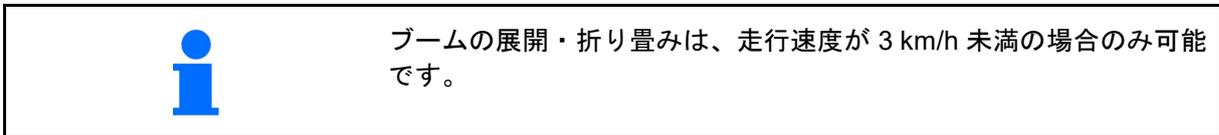
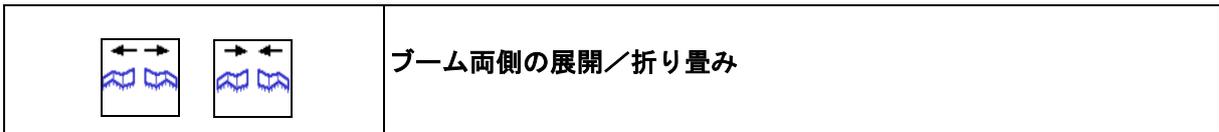
→ ディスプレイでは傾き調節のシンボルが、スプレーヤーブームが水平であることを示しています。

- 枕地で方向転換操作を行います。
- をもう一度押すと、油圧式の傾き調節が、以前に使用していたスプレーヤーブームの傾きをミラーリングします。

→ ディスプレイでは傾き調節のシンボルが、ミラーリングされたスプレーヤーブームの傾きを示します。



#### 4.4.3 ブームの展開・折り畳み (Flex-folding)



#### Super L ブームの展開 (Flex-folding)

1.  ブームを最大限上昇させます。

2.  ブームを両側に展開します。

→ ブームを完全に展開します。

 設定された作業幅に必要なサイドアームのみが展開されます。

個別ノズル切り替え：プロフィール/ブームセクション切り替えで、作業幅を設定します。

ブームセクション切り替え：アクティブなブームセクションが考慮されます。プロフィール/ブームセクション切り替えを参照。

3.  ブームを下降させます。

4.  自動ブームガイドを ON にします。

→ 枕地用の設定高さに移動します。

→ 散布開始と共に、作業高さに移動します。

 必要に応じて、前もって作業高さを保存します。

Super L ブームの折り畳み (Flex-folding)

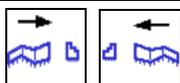


1. 外側のサイドアームを折り畳んで、搬送位置になるまで完全にスイングさせます。

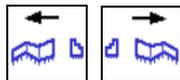
→ 自動ブームガイドが無効化されます。



道路走行前に、操作端末でスプレーヤーブームが正しい走行位置にあることを確認してください！



ブームを片側だけ折り畳む



ブームを片側だけ展開する



両側を折り畳んだ外側サイドアーム (作業幅縮小)

- 制限なく作業できます。
- 走行中の外側サイドアームの展開・折り畳みが可能です。

片側だけ折り畳んだスプレーヤーブーム

- 走行速度 6 km/h まで可能。



- スプレーヤーブームを中程の高さまで上昇させます。

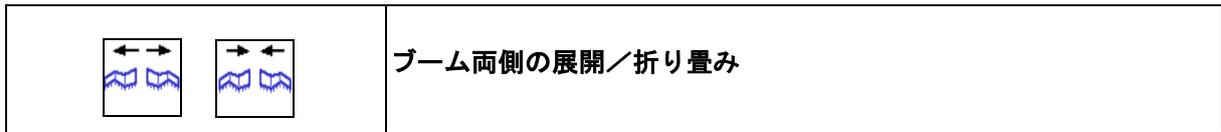
- 他のサイドアームが、パッケージとして走行位置から後方に、移動方向と交差する形で折り畳まれている場合のみ可能。

→ 必要に応じて、プロフィールメニューでブームセクション切り替えの設定をします。



折り畳まれたサイドアームによって、自動ブームガイドの距離センサーが妨げられる場合、これらが無効にする必要があります (プロフィールメニュー)。

#### 4.4.4 ブームの折り畳み (Profi-folding)



ブームの展開・折り畳みは、走行速度が 3 km/h 未満の場合のみ可能です。



- 展開は常に左右対称で行われるわけではありません。
- ブームは、平坦な場所でのみ展開・折り畳みます。
- 折り畳む前に、ブームは水平にセットされていなければなりません。プロフィールメニュー／ブーム挙動の設定で、自動的に水平にセットできます。

## ブームの展開 (Profi-folding)

- 
 ブームを上昇させます ( Super-L – 最大限 / Super-S – 30 cm 以上 )。

→ 輸送用安全装置は、自動的にロック解除されます。

- Super-S Profi2 : 
 両ブームパッケージを水平位置に倒します。

- 
 ブームを両側に展開します。

→ ブームを完全に展開します。

- 
 スイング補正のロックを解除します。

- 
 ブームを下降させます。

- 
 自動ブームガイドを ON にします。

→ 枕地用の設定高さに移動します。

→ 散布開始と共に、作業高さに移動します。

 必要に応じて、作業高さを前もって保存します。

- 手動ブームガイド：ブームの高さと傾きを、手動で設定します。

## ブームの折り畳み (Profi-folding)

-  1. 自動ブームガイドを OFF にします。
-  2. ブームを最大限上昇させます。  
3. 場合によっては、ブームを水平にセットします。
-  4. **Super-S Profi 2 :** ブームを最終位置まで倒します。
-  5. スイング補正をロックします (プロフィールメニューで自動ロックを設定できます)。
-  6. ブームを両側で完全に折り畳んで、走行位置にします。
-  7. **Super-S Profi 2 :** ブームパッケージを立てて、垂直位置にします。



道路走行前に、操作端末でスプレーヤーブームが正しい走行位置にあることを確認してください！

	<p>ブームを片側だけ折り畳む</p>
	<p>ブームを片側だけ展開する</p>



両側を折り畳んだ外側サイドアーム（作業幅縮小）：

- 制限なく作業できます。
- 走行中に外側サイドアームを展開・折り畳んではなりません。



ブームガイドのセンサーが隠れる場合は、これを 180° 回転して取り付ける必要があります。

片側を折り畳んだスプレーヤーブーム：

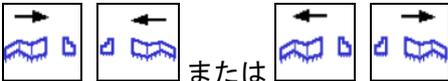
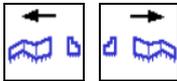
- スイング補正をロックした状態でのみ。
- 走行速度 6 km/h まで可能。



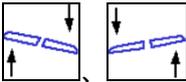
- スプレーヤーブームを中程の高さまで上昇させます。
  - 他のサイドアームが、パッケージとして走行位置から後方に、移動方向と交差する形で折り畳まれている場合のみ可能。
- 必要に応じて、プロフィールメニューでブームセクション切り替えの設定をします。
- 障害物（木、送電用鉄塔など）の脇を通るために一時的に。

1.  スイング補正をロックします。

2.  スプレーヤーブームを中程の高さまで上昇させます。

3.  または 

希望するサイドアームを折り畳むか展開します。

4.  スプレーヤーブームが目標面に対して平行になるようにセットします。

スプレーヤーブームが目標面に対して平行になるようにセットします。

5.  スプレーヤーブームと地面の間隔が 1 m 以上になるように、散布高さを設定してください。

## 4.5 機能グループ・ブーム動作 ( 事前選択による折り畳み )

	<p>事前選択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>傾き調節または</li> <li>ブームの折り畳み</li> </ul>
---	---

事前選択は作業メニューに表示されます。

機能はトラクター制御装置で実行します。

折り畳みプロセス: スプレーヤーの取扱説明書を参照してください。

作業メニューの表示:



ブーム折り畳みの事前選択



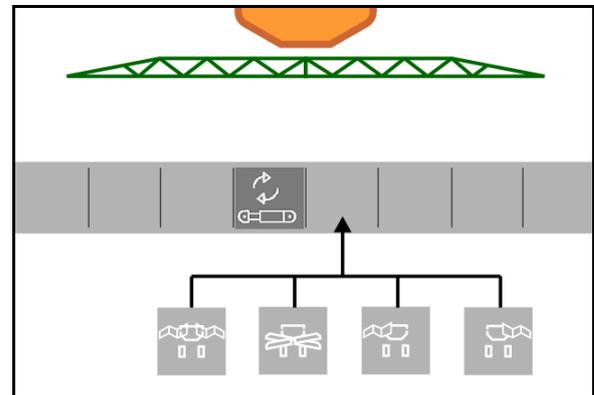
傾き調節の事前選択



ブーム ( 左側 ) 折り畳みの事前選択



ブーム ( 右側 ) 折り畳みの事前選択



1.  機能を選択します。

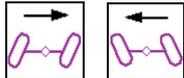
→ 表示に注意します。

2. トラクター制御装置を操作します。

→ 選択された機能が実行されます。

## 4.6 機能グループ・車軸

### 4.6.1 AutoTrail ステアリング車軸

	自動/手動
	勾配に対するステアリング
	中央位置に移動
	車軸を輸送位置にロック
	車軸をロック解除



#### 危険

#### 事故の危険があります！

道路走行中は、自動モードや手動モード、エラー状態（エラー通知がある状態）にしてはなりません。

道路では、必ず車軸を真っ直ぐに揃えてロックした状態で走行してください。

操車時は、自動モードの使用は禁止されています。

→ 手動モードで操車してください。

**危険**

ステアリング車軸が方向を転換する際に、機械が転倒する危険があります。特に凹凸の激しい土地や傾斜した土地では、その危険が高まります！

圃場で方向を転換する場合には、トラクターと機械を安全に運転できるようにするために、ハンドルを慎重に操作し、走行速度を適切に抑えてください。



ステアリング軸には、機械のホイールから 100m 毎にインパルスが必要になります。

## 圃場メニューと規定量入力

作業メニューの表示:

手動モードの AutoTrail

- (1) 斜面に対するステアリング用の事前制御
- (2) 実際の車軸位置
- (3) 車軸を右に偏向
- (4) 車軸を左に偏向
- (5) 車軸が直進位置

自動モードの AutoTrail

- 目盛りに操舵角表示付き
- 自動勾配カウンターステアリングの強度表示付き (値 1~10)

道路モードの AutoTrail、ステアリングはロック  
( 走行速度は 7 km/h 以上 )。

道路モードの AutoTrail、ステアリングはロック  
解除。



ステアリングのロック解除は、走行速度  
が 7 km/h 未満の場合に可能。



公道では禁止!



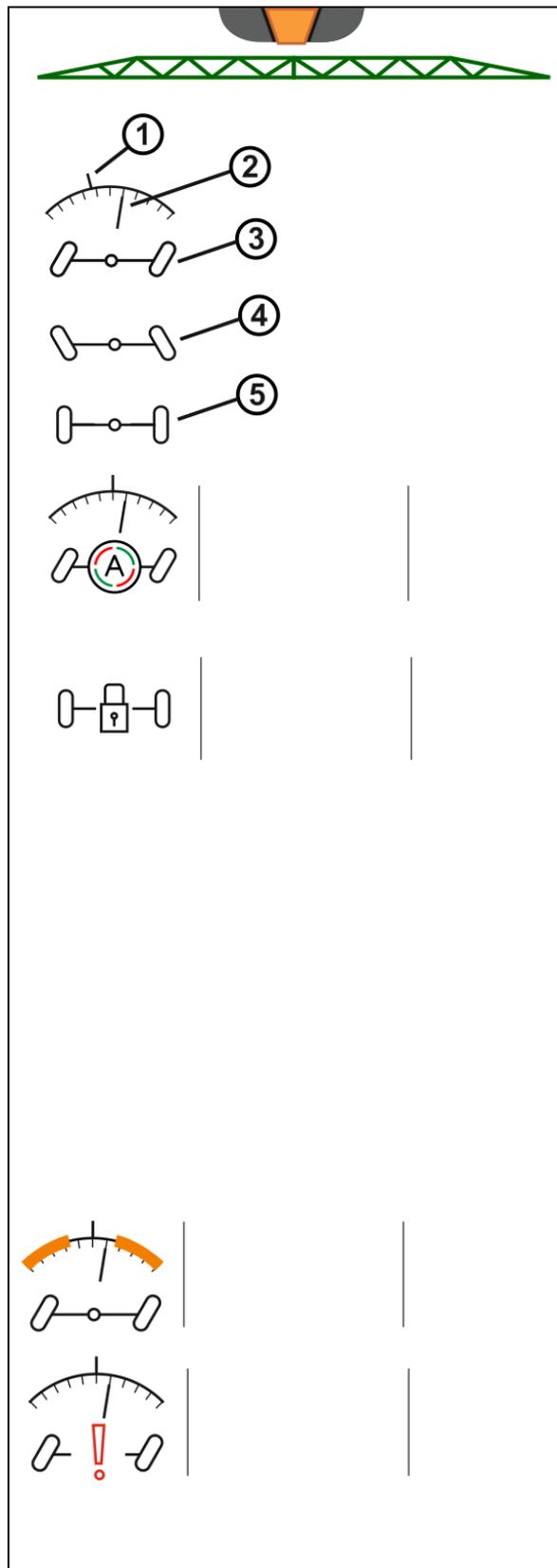
スプレーヤーブーム展開時に、ステアリング  
は自動的にロック解除。

高速走行の結果としての、操舵角が制限された  
AutoTrail

セーフティクリティカルなエラー

手動ステアリングは、7 km/h まで可能 (トラ  
ブルシューティングにのみ)。

販売店に連絡してください。



警告

AutoTrail のセーフティクリティカルなエラーによる、事故の危険。  
公道を走行しないでください。

## AutoTrail のモード

自動モード：



1. AutoTrail を自動モードにします。

機械コンピュータは、機械が正確に轍を辿るように制御します。

手動モード：



1. AutoTrail を手動モードにします。

- 必要に応じて：  を操作して、機械を手動でステアリングします。
-  速度が 1 を上回ると、すぐに中央位置に移動します。



手動ステアリング用の機能欄は、自動モードにおいては、勾配などで轍を正確に辿るための補正にのみ使用されます。

例外は、後進検知がアクティブな場合です  
(プロフィールメニュー)：

自動モードで後進する際には、一度中央位置に移動します。  
その後、機械は手動でステアリングできます。

## 勾配における AutoTrail のバリエーション (プロフィール / ステアリングで設定可能)

- 自動勾配カウンターステアリングおよびセンサーによる傾き測定機能を備えた AutoTrail。
- 制御装置でボタンを操作する手動勾配カウンターステアリング機能付き AutoTrail。
  - 、 勾配に対する手動ステアリング用 (自動勾配カウンターステアリングでも可能)。

- 以下の機能が実行されると、手動勾配補正はリセットされます。



ステアリングを中央位置にする。



散布の ON/OFF。



手動モードへの切り換え。

後方検知での後進

輸送走行 – 道路モード



危険

車軸をステアリングする際の、誤ったハンドル操作による事故の危険！

安全上の理由から、輸送走行時にはステアリング軸を走行位置にセットしてください！

1. スプレーヤーブームを走行位置にセットします。



2. 道路走行前にロックをア  
クティブにします。

3. 発進の際に、車軸が中央位置に移動し、自動的にロックされます。



道路走行時にはステアリングをロックします



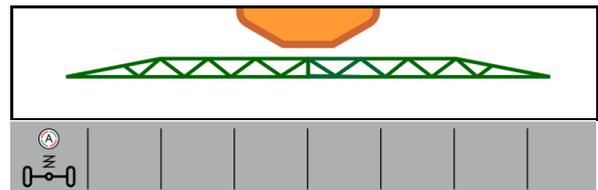
## 4.6.2 ハイドロニューマチック・サスペンション

	手動、自動
 	手動モードで機械を下降 / 上昇

	<p>操作端末を ON にすると、自動モードでサスペンションが始動します。</p> <p>機械は常に自動モードで運転します。</p> <p>自動モードが ON になっていれば、タンクの残量に関わらず、機械コンピュータがスプレーヤーの高さを制御します。</p> <p>手動モードで、機械を昇降できます。</p>
---	--

作業メニューの表示:

自動モード ( 運転状態 ) のハイドロニューマチック・サスペンション



## 4.7 充填 / 補充メニュー

規定充填レベルの入力

→ 面積を計算

または

面積の入力

→ 補充量を計算

計算するには散布量を正しく入力していなければなりません。

コンフォートパッケージを備えている機械：

充填前に規定充填レベルを入力 / 計算します

→ 規定充填レベルに達すると、充填が自動的に停止します

 入力された充填レベルは、ツイーターミナルに取り入れられます！

コンフォートパッケージを備えていない機械：

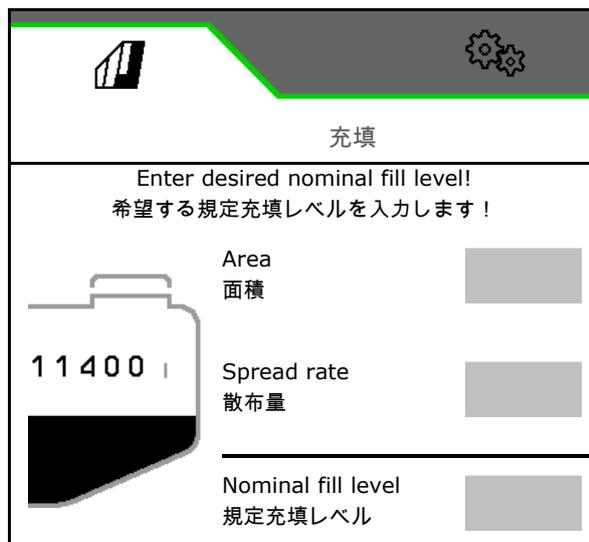
メニューは、規定充填レベルの計算にのみ用いられます。



充填レベルが遠くからも分かるように、充填レベル表示を最大にします。



充填メニューに戻る



充填

Enter desired nominal fill level!  
希望する規定充填レベルを入力します！

Area  
面積

Spread rate  
散布量

Nominal fill level  
規定充填レベル

## AmaRow 帯状散布

散布面積と散布量に応じた充填量の計算。

1. 作業する面積を入力

2. 帯状散布の割合をパーセントで入力

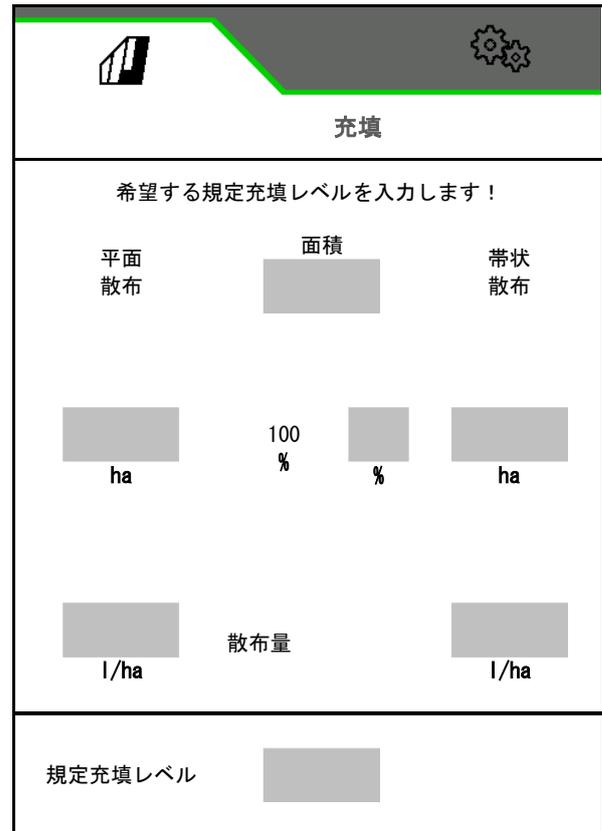
→ 平面散布（枕地）と帯状散布の面積が計算されます。

あるいは、平面散布または帯状散布の面積を入力して、パーセント値を計算することもできます。

3. 平面散布の散布量を入力します。

4. 帯状散布の散布量を計算して入力します（以下を参照）。

5. ツインターミナル：必要な充填量が計算され、必要に応じてツインターミナルに送信されます。



### 帯状散布の散布量を計算

平面散布の散布量：200 l/ha

理論上の帯幅：30 cm（AmaSelect Row の設定を参照）

ノズル間隔：50 cm

→ 帯状散布の散布量：  
=  $200 \times 30 / 50 = 120$  l/ha



充填レベルが遠くからも分かるように、充填レベル表示を最大にします。

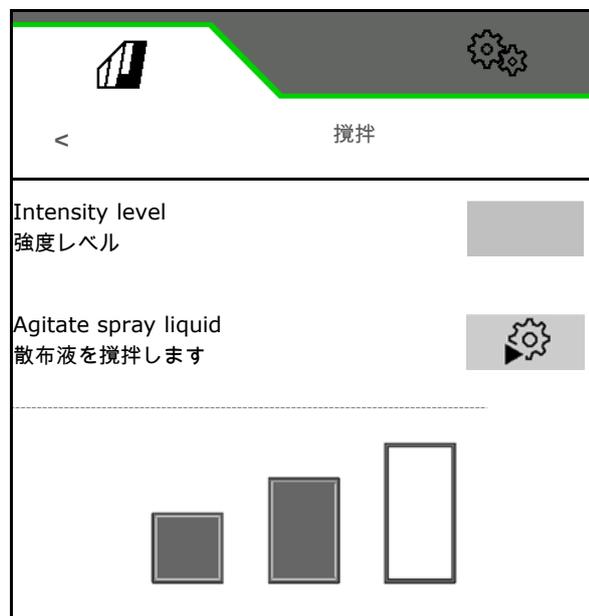


充填メニューに戻る

## 4.8 攪拌メニュー

コンフォートパッケージを備えている機械：

- 充填レベルに依存するアジテーター制御の強度
    - 弱
    - 中
    - 強
  - 散布液を最大出力で攪拌します。
- 注記が現れます。
- ✓最大攪拌を終了します。



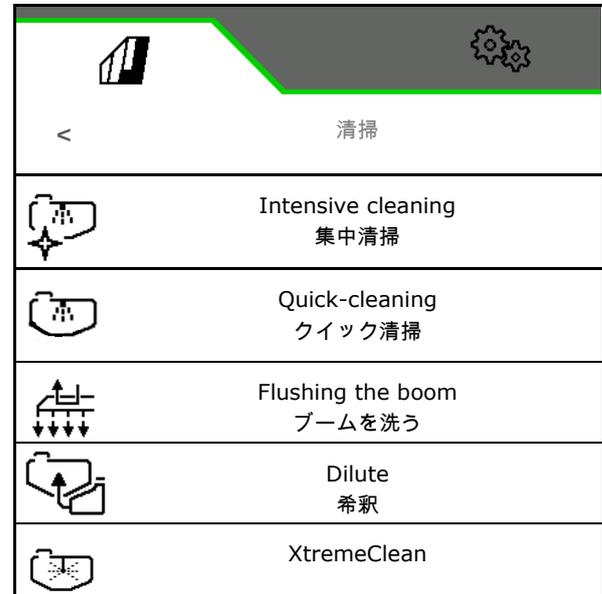
## 4.9 清掃メニュー



機械の取扱説明書を参照してください。

コンフォートパッケージを備えている機械：

- 集中清掃を実施します。
- クイック清掃は毎日実施します。
- ブームを洗います。
- 散布液を希釈します。
- XtremeClean



### 4.9.1 集中清掃とクイック清掃

清掃プログラムは、自動的に進行する複数のステップで構成されています。機械の取扱説明書を参照してください。

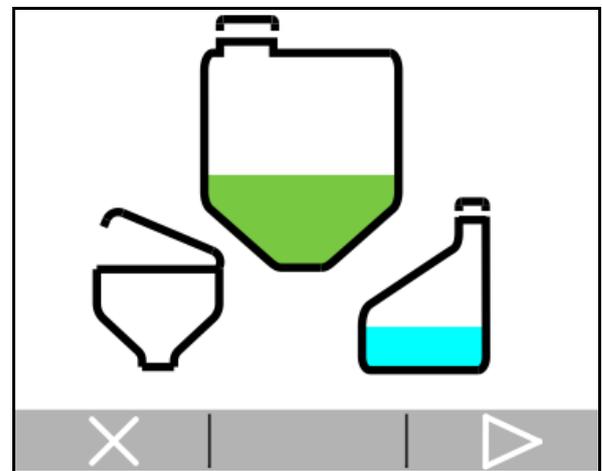
機械の取扱説明書を参照してください！

> 清掃を開始します。

清掃水は時折撒かれ、残量は排出されます。

次の条件を満たしている必要があります：

- 散布液タンクの充填レベルが 1% 未満
- ブームが展開している
- 散布液ポンプの回転数が 540 min<sup>-1</sup>



### 4.9.2 ブームの洗浄

スプレーヤーブームを洗浄水で洗います。

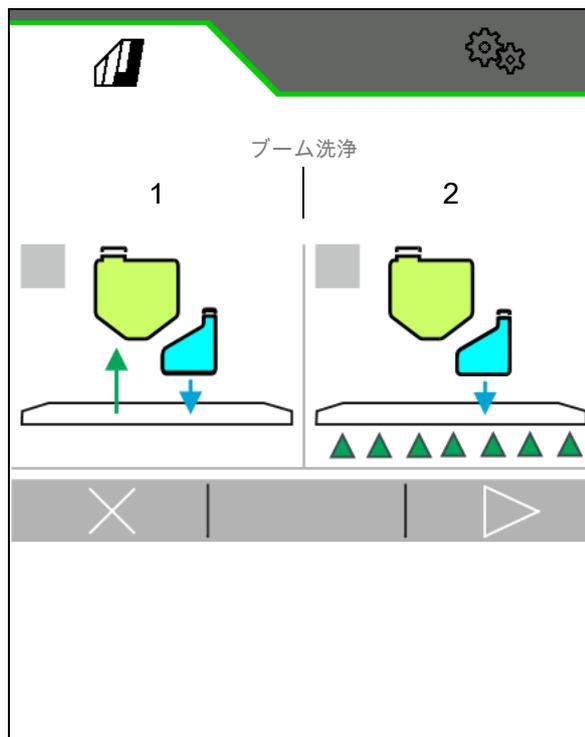
選択：☑ はい / ☐ いいえ

- (1) 洗浄液を散布液タンクに送ります。
- (2) 洗浄液は自動的に散布されます (標準)。
1. (1)、(2) を選択します。
2. 洗浄水の使用量を入力します。
3. > ブームの洗浄を開始します。
4. ポンプを OFF にします

ポンプ駆動の回転数制御が有効：

ブームを洗浄すると、油圧ポンプドライブが自動的に停止します。

5. X ブームの洗浄を停止します。



### 4.9.3 希釈

**!** 充填レベルは、規定充填レベルより少なくなければなりません。



散布液を洗浄液で希釈します。

洗浄液の必要量の表示に注意してください。



#### 4.9.4 XtremeClean

XtremeClean は、自動的に進行する複数のステップで構成されています。プロセス進行中には、複数のステップで清掃水を散布しなければなりません。

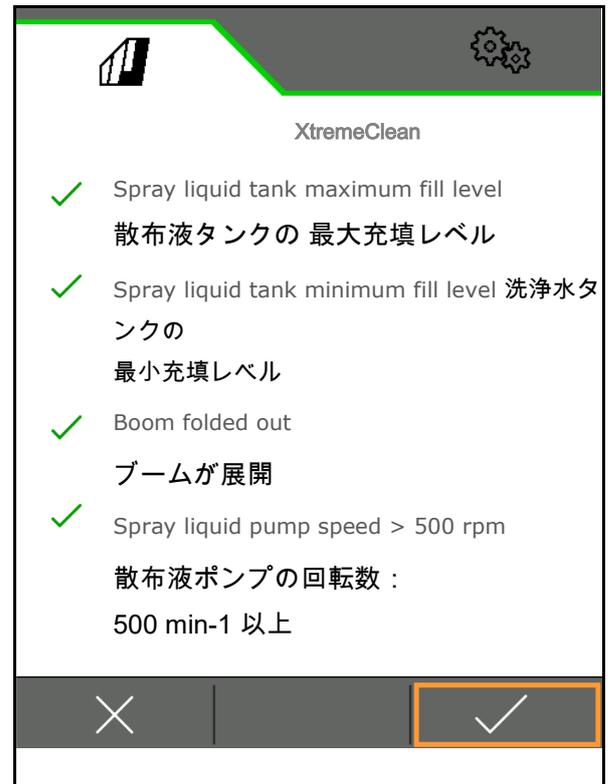
 機械の取扱説明書を参照してください！

> 清掃を開始します。

清掃が自動的に進行します。

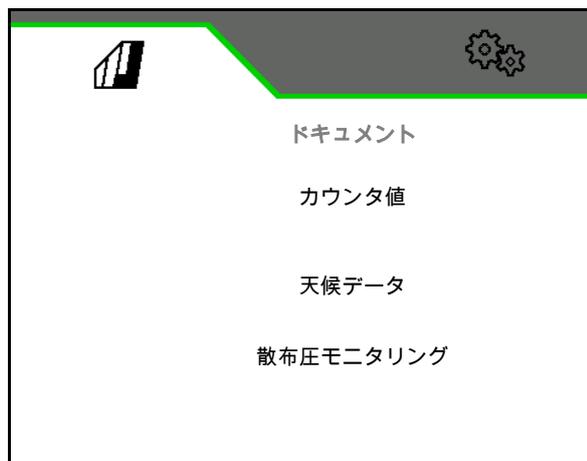
次の条件を満たしている必要があります：

- 散布液タンクの最大充填レベルが 1% 未満
- 洗浄水タンクの最小充填レベル
- ブームが展開している
- 散布液ポンプの回転数が 500 min-1 以上
- 洗浄水タンクの最小充填レベル



## 4.10 ドキュメントメニュー

- カウンタ値を表示します
- 天候データを入力します
- 散布圧モニタリングを表示します ( 散布圧は法規制に従って記録されます )



### 4.10.1 カウンタ値

ドキュメントメニューには、現在のジョブが表示されます。

ジョブデータ：

- 作業済み面積 ( 全体 / 日 )
- 作業時間 ( 全体 / 日 )
- 散布した量 ( 全体 / 日 )



当日のデータを削除



ジョブリストの呼び出し

Icon	Value	Unit
	1267	ha
	420	h
	25883	l

ジョブリスト :



アクティブなジョブの表示

最大 20 件のジョブを作成できます。



ジョブを選択します。

+ 新しいジョブを作成します。

</> リスト内のページをめくります。



ジョブの編集 :

- ジョブをアクティブにします。
- ジョブの名前を変更します。
- ジョブを確定します。
- アクティブになっていないジョブは削除できます。
- X 編集メニューから離れます。



#### 4.10.2 天候データ

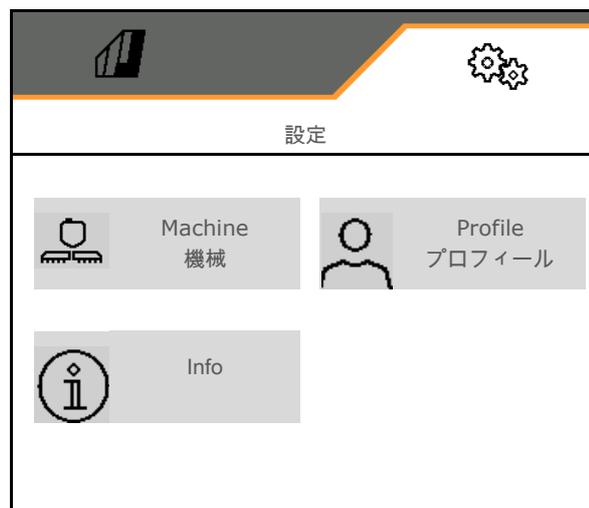
天候データは、タスクコントローラに伝達されます。そのために、タスクコントローラがスタートしていなければなりません。

1. 天候データを入力します
  2. タスクコントローラにデータを転送するか、
- X - 中断します



## 5 設定

- 機械メニュー  
機械固有のデータまたは個別データの  
入力。
- プロフィールメニュー  
それぞれのユーザが、端末および機械の設  
定データを含む、個人的なプロフィールを  
保存できます。
- Info メニュー  
ソフトウェアバージョンと合計面積効率。



### サブメニューのページ選択

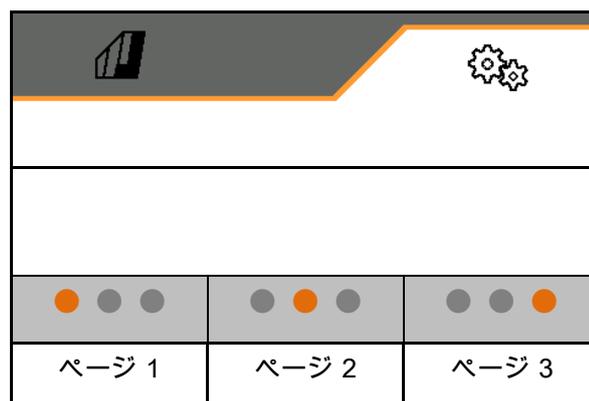
サブメニューには、複数のページで構成されて  
いるものがあります。

ページは、画面の下端に点で表示されます。

アクティブなページ - 白色。

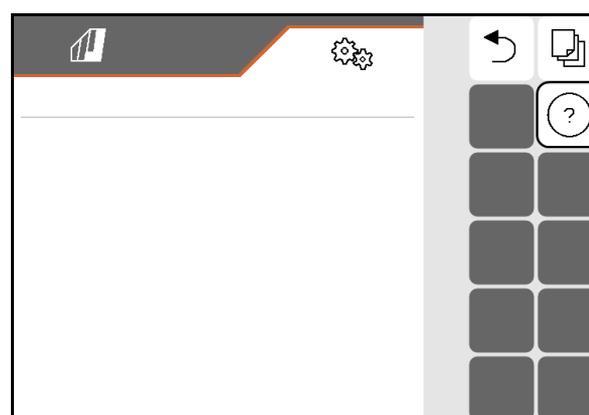


メニュー内でページをめくります。



 QR コードを表示します。QR コードで、  
SmartLearning アプリをスマートフォンやタブ  
レット PC にインストールできます。

SmartLearning は、Amazone の機械を操作する  
ための、インタラクティブな運転者トレーニン  
グです。



## 5.1 機械

- 作業速度、66 ページを参照。
- 液体回路、69 ページを参照。
- 油圧系統、74 ページを参照。

	
<	機械
	Speed 速度
	Spray liquid circuit 散布液回路
	Hydraulic system 油圧系統

### 5.1.1 速度



ジョブコンピュータは、適切に量調節するために速度信号を必要とします。

機械コンピュータは正しい量調節用に速度信号を必要とします。

走行速度の信号入力用に様々なソースを選択可能です。

- 速度信号は ISOBUS を通じて用意できます。
- 速度信号は、GPS アンテナで入手できます。
- 速度信号は、100 m あたりのインパルスにより計算できます。
- 速度信号は速度を入力することによりシミュレートされます (トラクターの速度信号の故障時など)。

シミュレートされた速度を入力すると、速度信号が欠落した後でも使用を続行できます。

#### ステアリング車軸を備える UX :

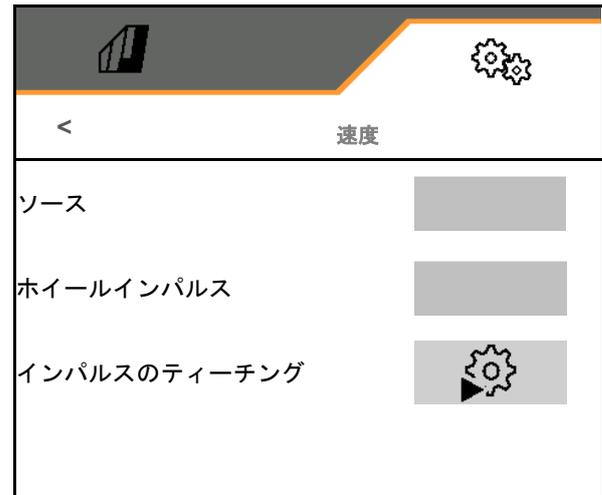
量制御のために他の速度信号を選択する場合は、100 m あたりのホイールインパルスも検出 (インパルスを学習) する必要があります。

#### ホイール交換 :

ホイール交換後、100 m あたりのホイールインパルスを改めて検出する必要があります。

速度信号のソースを選択します。

- レーダー (ISOBUS) : トラクターのレーダー
  - ホイール (ISOBUS) : トラクターのホイール
  - 衛星 (NMEA 2000) : GPS アンテナ
  - ホイール (機械)
    - 100 m あたりのインパルスを入力、または
    - 100 m あたりのインパルスをティーチング
  - シミュレート (散布量をチェックするため、または他の速度信号を利用できない場合)
    - シミュレートされた速度を入力
- 入力した走行速度を、その後必ず維持します。
- 他の速度ソースが検出されると、シミュレートされた速度は自動的に無効になります。
-  使用する速度ソースの精度をチェックしてください。
- 精度の低い速度ソースは、誤った散布量につながる可能性があります。





100 m あたりのインパルスのティーチング



100 m あたりのホイールインパルスを、現場の使用条件において、作業位置で検出しなければなりません。

1. 圃場でちょうど 100 m の測定距離を測定します。
  2. 開始地点と終了地点をマークします。
  3. トラクターを開始位置に移動します。
  4.  確定します。
  5. 開始地点から終了地点まで測定距離を正確に移動します。
- ディスプレイには連続して検出されるインパルスが表示されます。
6. 正確に終了地点で停止してください。
  7.  値を保存または  測定をキャンセルします。




インパルスのティーチング

Measure a distance of 100 m and drive the tractor to the start position!

100 m の距離を測定して、トラクターを開始位置に移動します。

Driven pulses	9876
走行インパルス	
Saved pulses	9700
保存されたインパルス	



トラクターと操作端末の速度表示を比較することで、インパルス数をチェックしてください。

### 5.1.2 散布液回路

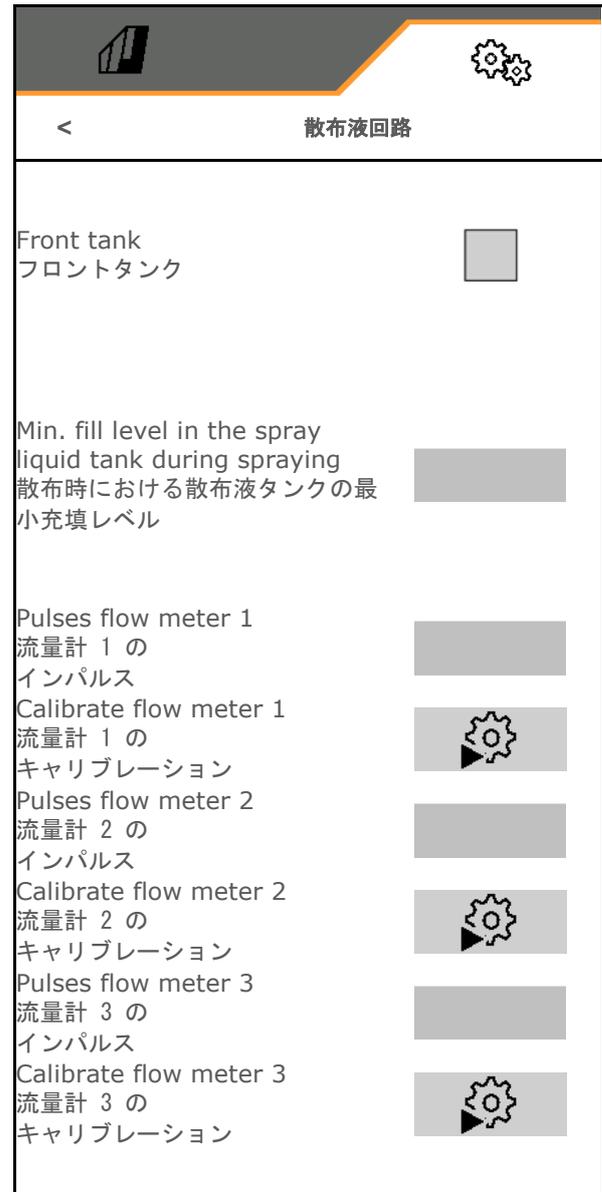
- フロントタンク
  - FlowControl でフロントタンクを使用
  - フロントタンク不使用
- 散布時における散布液タンクの最小充填レベルを入力（10～40%）。  
 フロントタンクを介して、散布液タンクの最小充填レベルを維持。  
 → これにより、トラクターの前輪軸荷重が影響を受けることがあります。

流量計 1

流量計 2（リターン流量計）

流量計 3（High Flow+）

- 流量計用のインパルスを入力（0-9999）
- 流量計のキャリブレーション



The screenshot shows the '散布液回路' (Dispersion Liquid Circuit) settings menu. At the top, there is a back arrow and a gear icon. The main content area is divided into sections:

- Front tank / フロントタンク:** A checkbox is checked.
- Min. fill level in the spray liquid tank during spraying / 散布時における散布液タンクの最小充填レベル:** A slider bar is set to approximately 10-40%.
- Pulses flow meter 1 / 流量計 1 のインパルス:** A numeric input field is present.
- Calibrate flow meter 1 / 流量計 1 のキャリブレーション:** A gear icon is visible, indicating calibration is possible.
- Pulses flow meter 2 / 流量計 2 のインパルス:** A numeric input field is present.
- Calibrate flow meter 2 / 流量計 2 のキャリブレーション:** A gear icon is visible.
- Pulses flow meter 3 / 流量計 3 のインパルス:** A numeric input field is present.
- Calibrate flow meter 3 / 流量計 3 のキャリブレーション:** A gear icon is visible.

#### 流量計のキャリブレーション



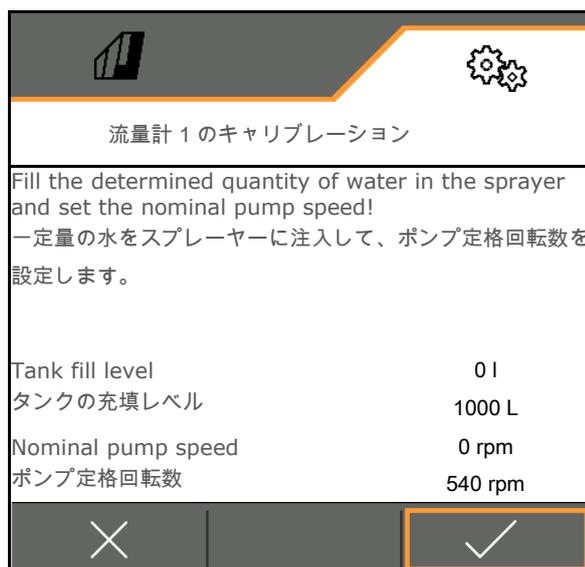
- 機械コンピュータは消費量を検出・制御するために、流量計/リターン流量計用のキャリブレーション値「流量計インパルス」を必要とします。
- キャリブレーション値が不明である場合には、流量計/リターン流量計のキャリブレーションプロセスを通じてキャリブレーション値「流量計インパルス」を検出しなければなりません。
- 正確なキャリブレーション値「流量計インパルス」が判明している場合には、これを流量計/リターン流量計用に手動で入力できます。



- キャリブレーション値「流量計インパルス」を検出します。
  - 毎年
  - 流量計を取り外したあと
  - 長期間使用后（散布残留物が流量計の内部に堆積する可能性があるため）。
  - 必要な散布量と実際の散布量が異なるようになった場合。

流量計 1 のキャリブレーション :

1. 散布液タンクに澄んだ水を充填してください（約 1000 L）。
  2. ✓
  3. 運転回転数でポンプを駆動します。
  4. ✓
  5.  散布を ON にして、表示された最低量を散布します。
- ディスプレイには、散布された水量用の、連続して検出される「インパルス」の値が表示されます。
6.  散布を OFF にして、ポンプ駆動をキャンセルします。
  7. 散布液タンクに再充填することで、散布された水量を正確に検出してください。
    - 測定用容器を利用して
    - 重さを量って
    - 水量計を用いて



8. 検出された水量の値を入力してください。
  9. ✓ 入力を確定します。
- 算出したキャリブレーション値が表示されます。
10. ✓ キャリブレーション値を保存します。




流量計 1 のキャリブレーション

Switch off the sprayer and enter the sprayed quantity.  
 スプレーヤーを OFF にして、噴射量を入力します。

Sprayed quantity 噴射量	<input style="width: 90%;" type="text"/>
Measured pulses 検出したインパルス	9999
Nominal pump speed ポンプ定格回転数	0 rpm

✕
✓

### 流量計 1 用のインパルスを入力

キャリブレーションの代替として、流量計 1 のために正しいインパルスを検出できます。

このために:

1. 個別ノズル切り替え：スプレーヤーブームの逆流を閉じます。
2. スプレーヤーのキャリブレーション（機械の取扱説明書を参照）。
3. 測定したノズル出力を予想していたノズル出力と比較します。
4. インパルスを計算します：

$$\text{インパルス} = \frac{\text{現在のインパルス} \times \text{予想していたノズル出力}}{\text{測定したノズル出力}}$$

その後：

5. スプレーヤーブームの逆流を再び開きます。
6. 流量計 2 をキャリブレーションします。

## 設定

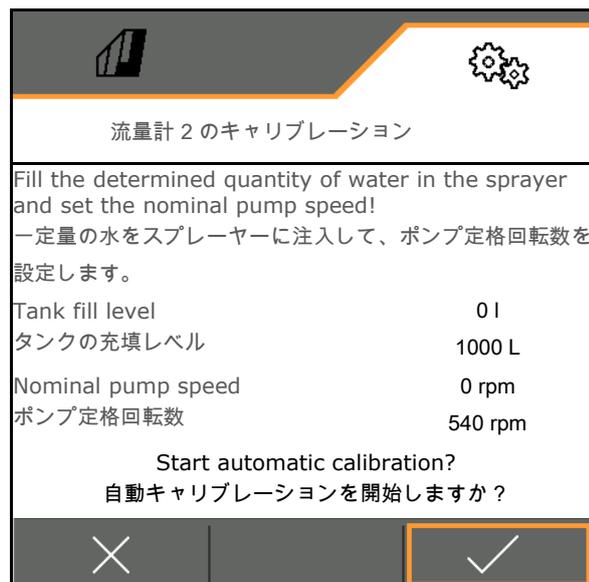
流量計 2 のキャリブレーション :

**i** 前もって流量計 1 をキャリブレーションします。

1. 散布液タンクの両側に付いている充填用目印のところまで、澄んだ水 ( およそ 1000 l ) を充填してください。
2. ✓
3. 運転回転数でポンプを駆動します。

**i** 散布が OFF になっていないと、比較できません。

4. ✓
  5. 運転回転数でポンプを駆動します。
  6. ✓ 自動キャリブレーションを開始します。
- 算出したキャリブレーション値が表示されます。
7. ✓ キャリブレーション値を保存します。



流量計 3 ( High Flow ) のキャリブレーション :



流量計 3 用にリッターあたりインパルスを検出するために、流量計 3 を流量計 2 の液体回路の位置に取り付けなければなりません。

1. High Flow を OFF にします ( 機械データメニュー ) 。
2. ✓
3. 流量計 3 を 流量計 2 の位置に取り付けます。
4. ✓
5. 散布液タンクの両側に付いている充填用目印のところまで、澄んだ水 ( およそ 1000 l ) を充填してください。
6. ✓
7. 運転回転数でポンプを駆動します。
8. ✓ 自動キャリブレーションを開始します。  
→ 算出したキャリブレーション値が表示されます。
9. ✓ キャリブレーション値を保存します。
10. 流量計 2 と 3 を再び正しい位置に取り付けます。

### 5.1.3 油圧系統

- 故障発生時の手動作業位置をシミュレートします。  
手動作業位置では、故障の際に作業を継続できます。
- Flex-folding の手動折り畳み  
手動折り畳みは、故障の際に緊急折り畳みとして機能します

**!** 機械の取扱説明書 / 故障の章を参照してください！



### Flex-folding 手動作業位置

- 手動作業位置
    - はい、機械は作業位置にあります。  
→ **ブーム両側の展開!**  
(ContourControl で必要)。
- !** 実際の折りたたみ位置と偽のメッセージは、再起動するまで無視されます。  
ブームガイドが妨げられている可能性があります。
- 間違いです



## Flex-folding の手動折り畳み



## 警告

手動折り畳みの不適切な操作による機械の損傷。

機械を手動で折り畳むときは、注意してください。

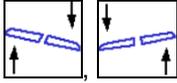


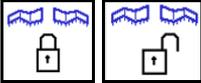
スプレーヤーブームのサイドアームは外側から内側へ折り畳みます。

サイドアームは内側から外側へ展開します。

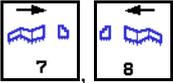
スプレーヤーブームの折り畳み：

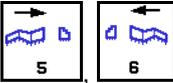
( 展開は逆の手順で行います )

1.  サイドアームを水平にセットします。

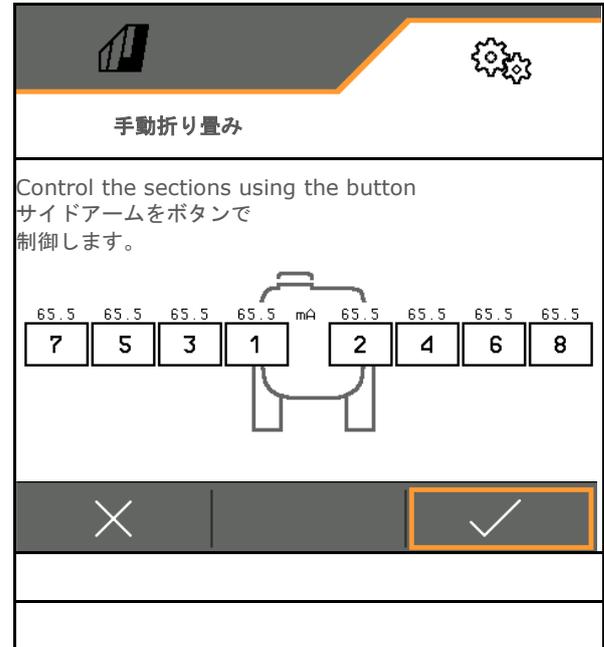
2.  スイング補正をロックします。

3.  スプレーヤーブームを十分に持ち上げます。

4.  外側のサイドアームを折り畳みます。

5.  サイドアーム 5 と 6 を折り畳みます。

6.  サイドアーム 4 と 5 を折り畳みます。



7.  ,  ブームパッケージを走行位置に折り畳みます。

8.  ブームパッケージを走行位置でロックします。

9. ✓ 手動折り畳みを終了します。

他の手動ブーム機能：

- 、 ブーム半分を立てるまたは倒す

- 、、、 SwingStop 油圧シリンダーの制御

### 5.1.4 FT1502 の機械プロフィールを選択



#### 機械プロフィールの作成

デフォルトでは、ひとつのプロフィールが設けられています。

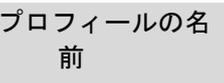
異なる設定による 4 つのプロフィールを保存できます。

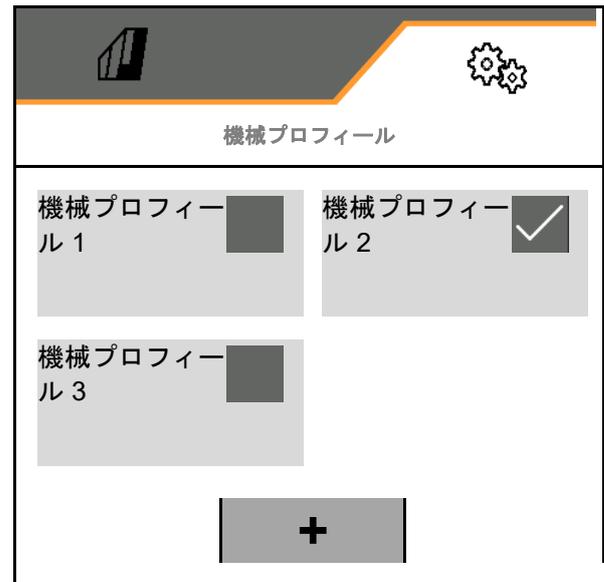


編集するためにプロフィールをタップします。



#### 新しいプロフィールの作成

-  プロフィールをコピー
-  プロフィールを削除
-  プロフィールを有効化
-  をキャンセル
-  プロフィールの名前    プロフィール名の入力前



## 設定

有効な機械プロフィールの設定：

- 制御の選択
  - リアマウント機経由（リアマウント機経由で FT-P を操作）
  - 自立型（FT-P を独立した装置として使用）
- ノズルタイプの選択
  - 標準
  - AmaSwitch
- ブームセクション数の入力
- 各ブームセクションのブームセクション幅を入力
- ブームセクションの合計が作業幅になります
- 作業位置の設定（79 ページを参照）。
- カップリングタイプ
  - 取り付けられたリアマウント機
  - 牽引されたリアマウント機
- ジオメトリ値の入力（80 を参照）
- スイッチ ON 遅延／スイッチ OFF 遅延  
 スイッチ ON 遅延：デフォルト値 400 ms  
 スイッチ OFF 遅延：デフォルト値 200 ms

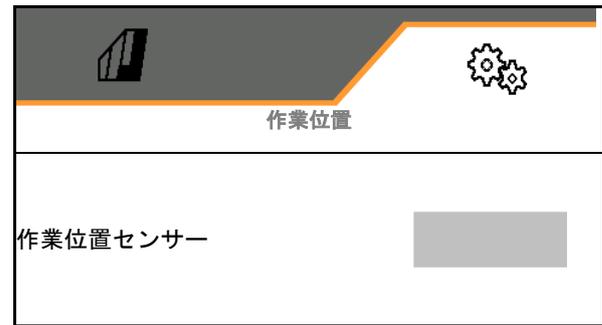



機械プロフィール - 機械プロフィール 1

制御	
ノズルタイプ	
ブームセクション数	
ブームセクションの幅	>
作業幅	2.4 m
作業位置	>
カップリングタイプ	
ジオメトリ	>
スイッチ ON 遅延	
スイッチ OFF 遅延	

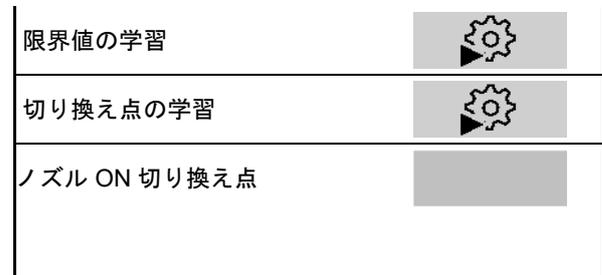
### 5.1.4.1 FT-P の作業位置を設定

- 作業位置センサー
  - センサーなし
  - ISOBUS デジタルのリフト高さ
  - ISOBUS のリフト高さ（%）、他の設定は下参照
  - 機械のセンサー（アナログ）
  - センサー 機械 デジタル
    - 作業位置、センサーが減衰している場合
    - 作業位置、センサーが減衰していない場合



他の設定：ISOBUS のリフト高さ（%）／機械のセンサー（アナログ）：

- 限界値の学習、下記参照
- 切り換え点の学習、下記参照
- ノズル ON の切り換え点を、上昇高さの%で入力



#### 限界値の学習

初回運転開始前およびトラクター交換時には、リフトユニットの限界値を学習しなければなりません。

1. リフトユニットを下げます／機械を作業位置にセットします。
2. ➤ 値を保存して、次に進みます。
3. リフトユニットを最大限上昇させます。
4. ✓ 値を保存します。

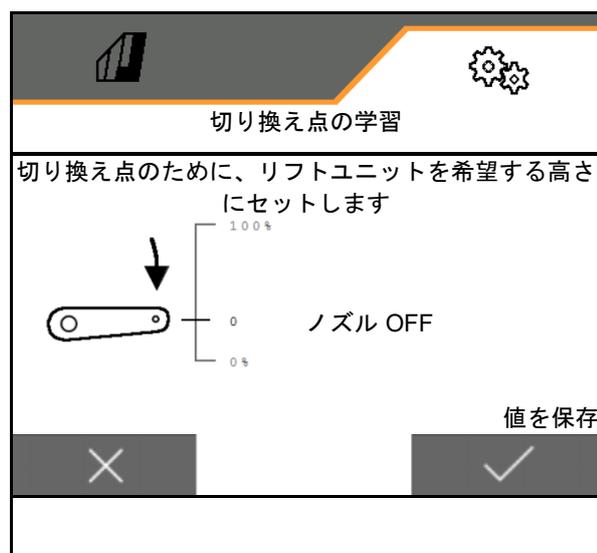


## 設定

### 切り換え点の学習

1. リフトユニットを、切り換え点 OFF の高さにセットします。
2. ✓ 値を保存します。
3. リフトユニットを、切り換え点 ON の高さにセットします。
4. ✓ 値を保存します。

 切り換え点を正しく設定することは、圃場で機械を正確に切り換えるために重要です。



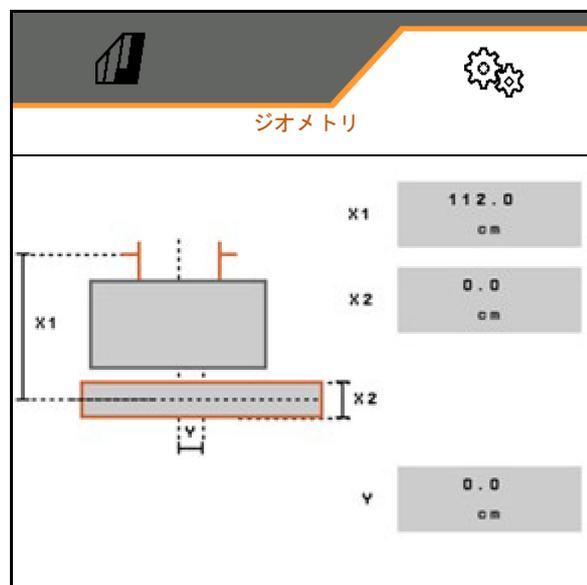
### 5.1.4.2 ジオメトリの設定

ジオメトリデータは、機械の実際の長さ（進行方向に向かっての長さ）と一致しなければなりません。

 横方向のオフセット - 機械左側：マイナスの値を入力

後部取付機械：

- 接続装置から散布の中心までの距離として、値 x1 を入力
- 散布の長さとして、値 x2 を入力
- 横方向のオフセットとして、値 Y を入力

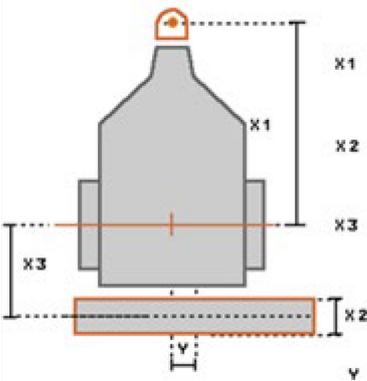


後部牽引機械：

- 接続装置から車軸までの間隔は、値 x1
- 車軸から散布中央部までの間隔は、値 x2 を入力
- 散布の長さは、値 x3 を入力
- サイドのオフセットは、値 Y を入力




ジオメトリ



x1	0.0 cm
x2	0.0 cm
x3	112.0 cm
Y	0.0 cm

## 5.2 プロフィール



プロフィールの作成

デフォルトでは、ひとつのプロフィールが設けられています。

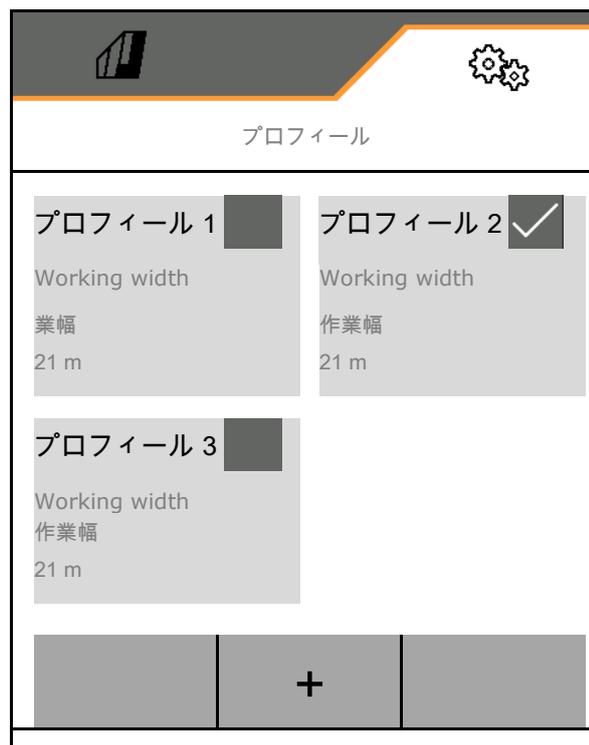
異なる設定による3つのプロフィールを保存できます。



編集するためにプロフィールをタップします。



新しいプロフィールの作成



-  プロフィールをコピー

-  プロフィールを削除

-  プロフィールを有効化

-  をキャンセル

-  プロフィールの名前    プロフィール名の入力前



アクティブなプロフィールの設定：

- マルチファンクション表示の設定（84 ページを参照）。
- キー割り当ての設定（85 ページを参照）。
- 
 作業メニューと清掃メニューで、異なるキー割り当てが可能です。
- スタート機能の設定、85 ページを参照。
- アラーム限界値の設定（86 ページを参照）。
- 油圧ポンプ駆動の設定
- ブーム挙動の設定（88 ページを参照）。
- 量制御の設定（90 ページを参照）。
- ブームセクション切り替えの設定（91 ページを参照）。
- AmaSelect の設定（93 ページを参照）。
- 充填プロフィールの設定（103 ページを参照）。
- ISOBUS を設定（105 ページを参照）。
- ステアリングの設定（108 ページを参照）。

 	
<	プロフィール - プロフィール 2
	マルチファンクション表示
	作業のキー割り当て
	清掃のキー割り当て
	スタート機能の選択
	アラーム限界値
	ポンプ駆動
	ブーム挙動
	量制御
	ブームセクション切り替え
	AmaSelect
	充填プロフィール
	ISOBUS
	ステアリング

## 5.2.1 マルチファンクション表示

作業メニューのマルチファンクション表示：

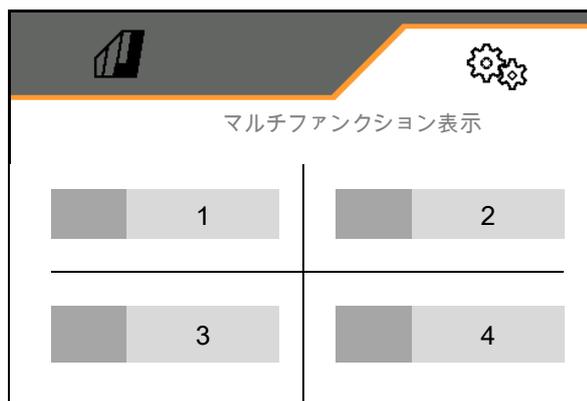
(1)	(2)
 0 m	 10.0 kg/ha
 0.00 ha	 0.0 kg
(3)	(4)

マルチファンクション表示の4つの欄は、それぞれ異なる表示にできます。

1. マルチファンクション表示のために欄 1~4 をマークします。
2. 欄 1~4 の表示を選択します。

選択可能な表示：

速度（シミュレートされた速度は黄色でマークされます）



- 散布ポンプ回転数
- 距離カウンタ
- 残りの距離
- 規定散布圧
- 量
- タンクの充填レベル
- 規定散布量
- 残りの面積
- 面積
- アジテーター出力
- 機械稼働率（HighFlow 切り替え用の表示付き）
- フロントタンク充填レベル

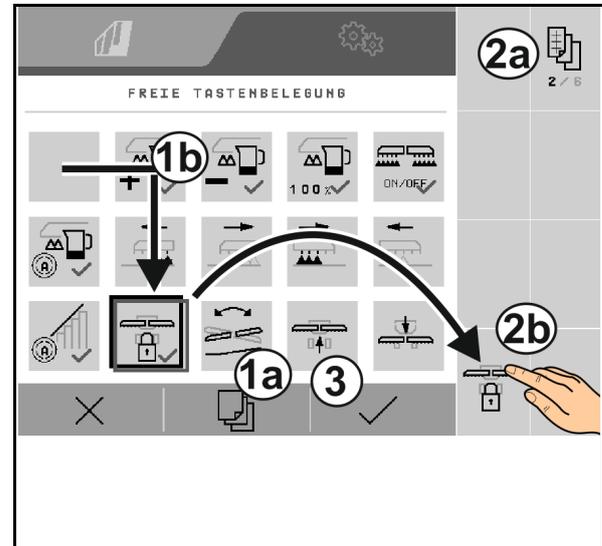
## 5.2.2 自由なキー割り当ての設定



作業メニューと清掃メニューでは、キー割り当てを自由に選択できます。

ここで作業メニューの機能欄を自由に割り当てできます。

1. ディスプレイで機能を選択します。  
必要に応じて予めページをめくります。
  2. 自由に選択可能な機能欄に、機能を割り当てます。  
必要に応じて予めページを選択します。
- 機能が機能欄に現れます。
3. ✓ 希望する機能を全て割り当てたら確定します。



## 5.2.3 スタート機能の設定

ここでは、まとめて ON にできるスタート機能



これらの機能は、使用前に ON と一緒に開始

を選択できます。

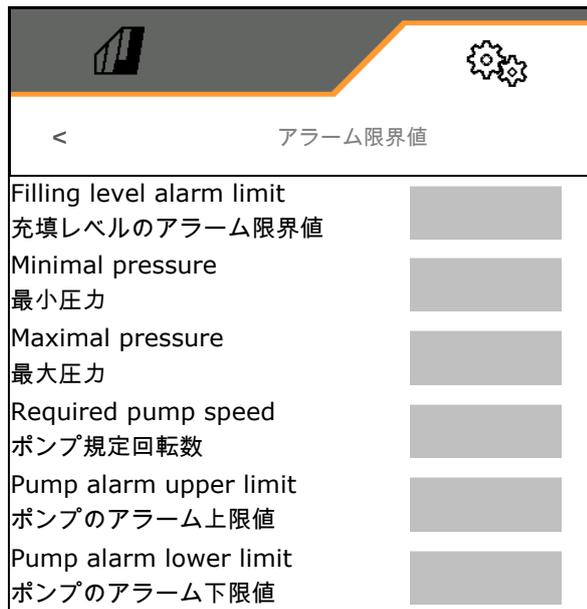
1. 希望するスタート機能をマークします。
- シンボル内にチェック記号が現れます。
2. ✓ 希望するスタート機能を全て選択したら確定します。



### 5.2.4 アラーム限界値の設定

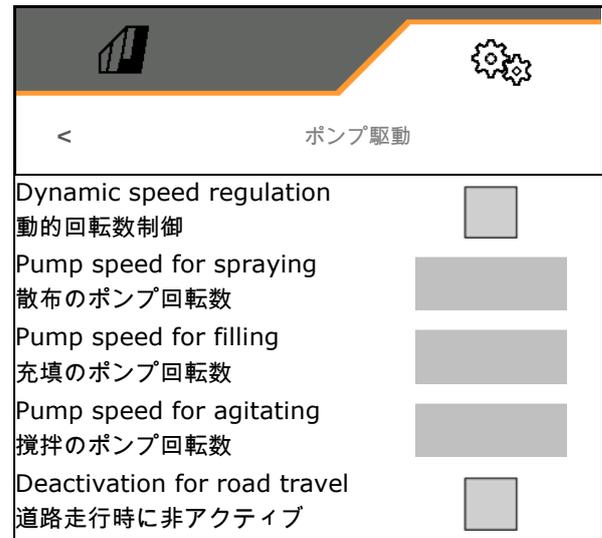
- 充填レベルのアラーム限界値 ( L )
- 最小圧力 ( bar )
- 最大圧力 ( bar )
- ポンプ規定回転数 ( min<sup>-1</sup> )
- ポンプ回転数のアラーム上限値 ( min<sup>-1</sup> )
- ポンプ回転数のアラーム下限値 ( min<sup>-1</sup> )

 限界を超えると、注記が表示されます。



## 5.2.5 ポンプ駆動

- 動的回転数制御
  - はい、ポンプの自動開始および停止。ポンプ回転数は、規定量および攪拌出力に自動的に合わせられます。
  - いいえ（CP：ツイーターミナルを介して、ポンプの開始と停止が可能）
- 散布のポンプ回転数
- 充填のポンプ回転数
- 攪拌のポンプ回転数
- ポンプ駆動は、道路走行のために非アクティブにできます。
  - はい、ポンプ駆動は道路走行のために OFF にされます。
  - いいえ

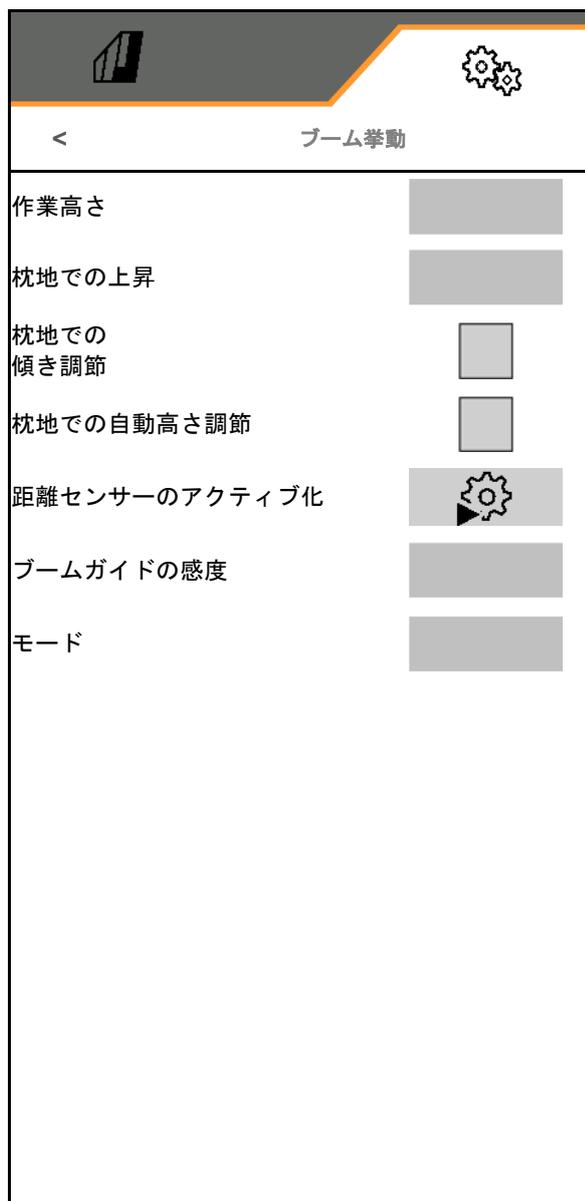


### 5.2.6 ブーム挙動 の設定

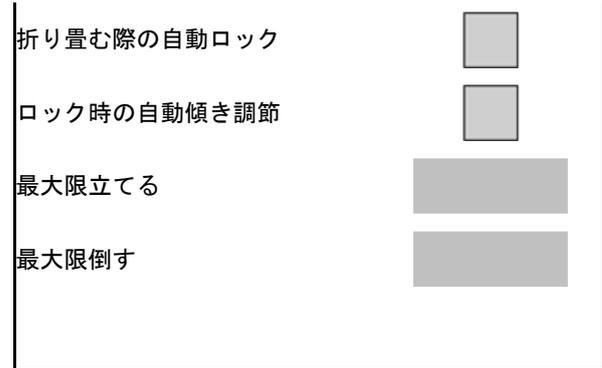
- 作業高さ（散布ノズルの高さ）を cm で
- 枕地でのブーム上昇
  - OFF（上昇させません）
  - 弱（+ 25 cm）
  - 中（+ 100 cm）
  - 強（+ 150 cm）
- 枕地での傾き調節。ノズルがオフになっている場合、ブームは自動的に水平に調整されます。
  - はい
  - いいえ
- 枕地での自動高さ調節。枕地では、DistanceControl が有効なままになります。
  - はい
  - いいえ

**ContourControl のみ :**

- 距離センサーをアクティブ／非アクティブにします、89 ページを参照。
- ブームガイドの感度
  - 弱（低い走行速度、作物が不均一）
  - 中
  - 強（高い走行速度、作物が均一）
- モード（Profi-folding 2 / Flex-folding 2）
  - 立ち上げ
  - 傾き



- 折り畳む際の自動ロック
  - はい
  - いいえ
- ロック時の自動傾き調節
  - はい
  - いいえ
- 最大限立てる
  - デフォルト値 100%（最大可能角度）
- 最大限倒す
  - デフォルト値 100%（最大可能角度）

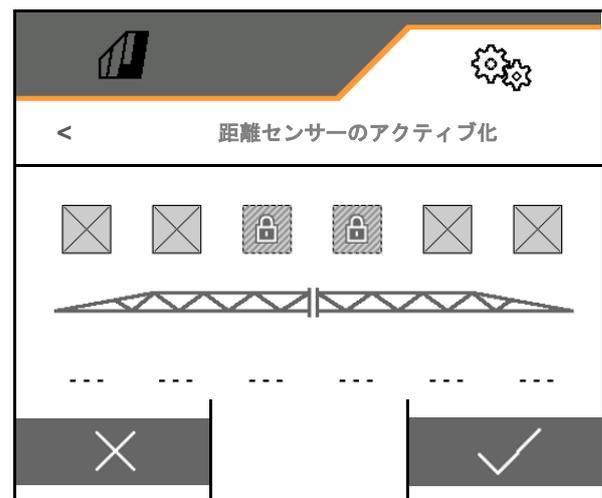


### 距離センサーのアクティブ化／非アクティブ化

距離センサーの非アクティブ化：

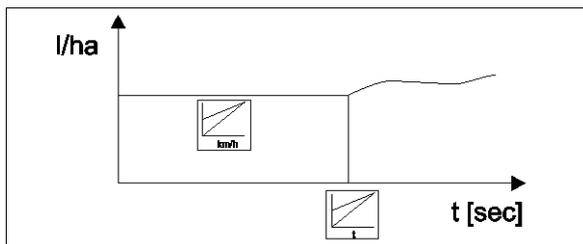
- 作業幅を縮小して作業する際、折り畳まれたサイドアームにセンサーが覆われた場合。
- 故障時に作業継続が可能。
- 不均質または部分的な耕作地。
  - センサーはアクティブ
  - センサーは非アクティブ

 ContourControl :  傾きモードでは、内側の距離センサーは非アクティブ。



### 5.2.7 量制御の設定

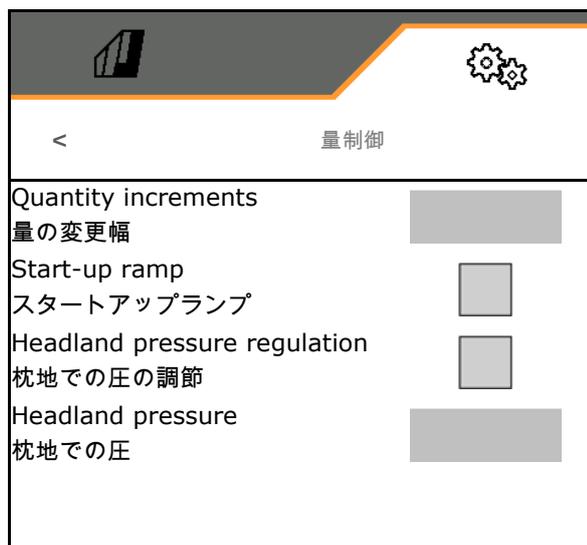
- 作業メニューでの規定値変更の量変更幅を % で入力します  
(デフォルト値 : 10%)
- スタートアップランプ  
スタートアップランプは、始動時の散布液不足を防ぐものです。



散布が ON にされた後に、入力された時間のための / 入力された速度に達するまでの、増加量が計量されます。

その後、量制御が始まります。

- はい  
始動速度を入力します。  
始動時間を入力します。  
( 始動速度および始動時間 )
- いいえ
- 枕地での圧の調節
  - はい
  - いいえ ( デフォルト )
- 枕地圧を、散布圧より約 1~2 bar 高く入力します  
( デフォルト値 : 5 bar )

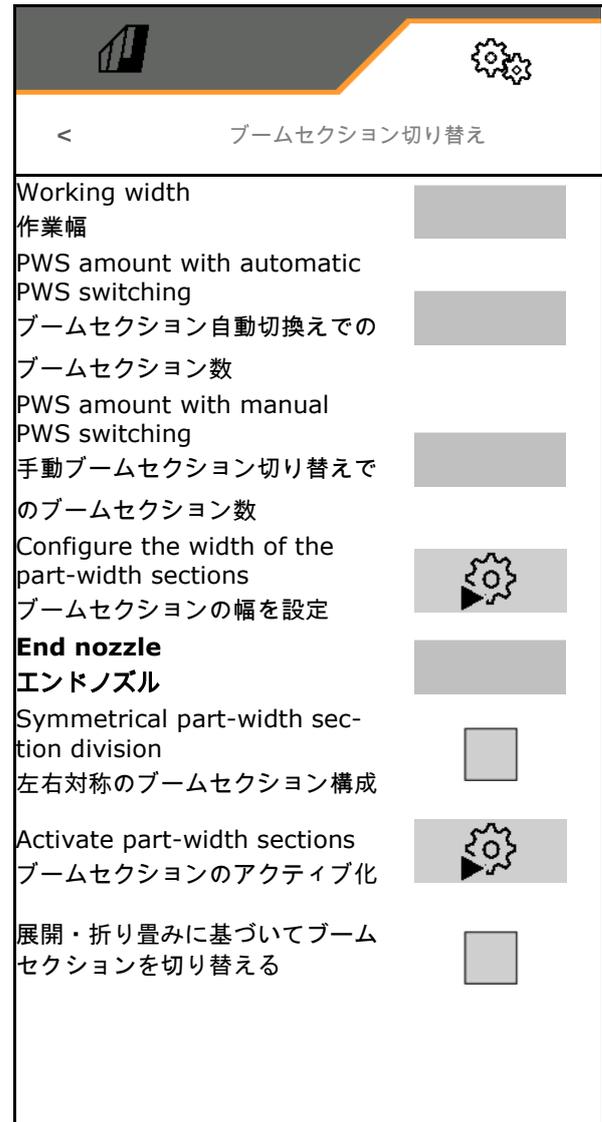


## 5.2.8 ブームセクション切り替えの設定

- 作業幅を入力。
- 自動ブームセクション切り替えでのブームセクション数 ( ノズル数、他社製端末の場合は必要に応じて少なく )。
- 手動ブームセクション切り替えでのブームセクション数。
- ブームセクションの幅を設定。
- エンドノズルの幅をメートルで入力します
- 左右対称のブームセクション構成。
  - はい
  - いいえ
- ブームセクションのアクティブ化、92 ページを参照
- サイドアームの位置に応じて、ブームセクション/ノズルを切り替えます。
 

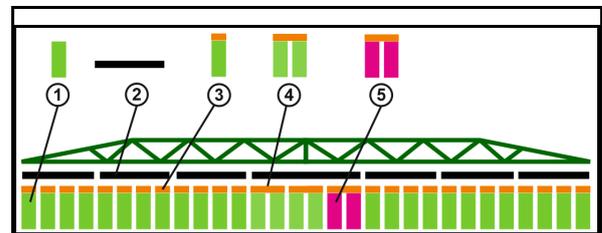
ブームセクション制御：ブームセクションは、サイドアームのノズルと一致する必要があります。

  - 折り畳まれたサイドアームのノズルは ON にしない
  - 折り畳まれたサイドアームのノズルも ON にする



### ブームセクションの幅を設定

- (1) ノズル
- (2) 手動ブームセクション
- (3) 自動ブームセクション = ノズル 1 点
- (4) 自動ブームセクション = ノズル 2 点
- (5) 編集用にブームセクションをマーク



## 設定

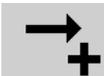
作業幅を制限して作業する際には、ブームセクションを相応に設定する必要があります。

自動ブームセクションの数が、ノズルの数と等しくない場合のみ。

1.  手動または自動ブームセクションの幅を変更しますか？

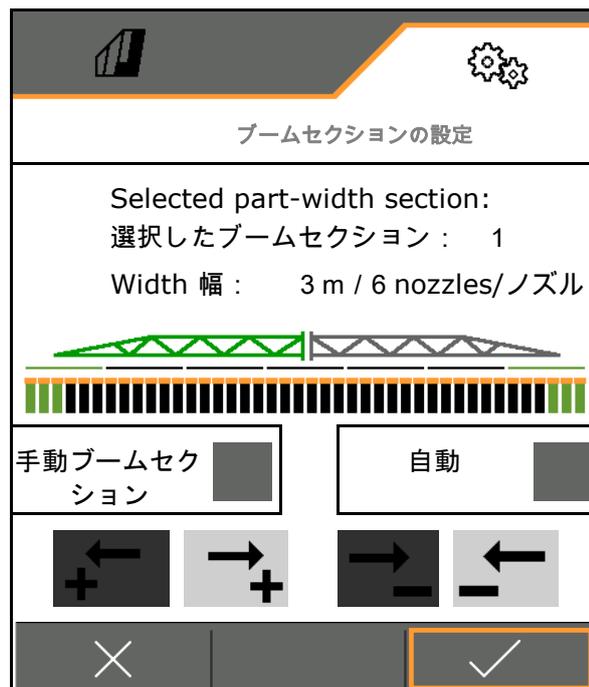
2.  ブームセクションを選択します。

3.  ブームセクションを編集します。

-  ブームセクションを拡大します。

-  ブームセクションを縮小します。

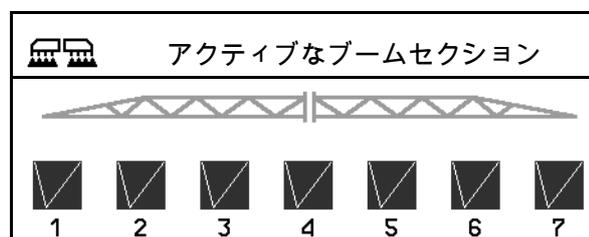
4.  入力を確認します。



- ブームセクションが左右対称の場合は、片側のブームセクションのみ入力する必要があります
- 自動ブームセクションは、最大で対応する手動ブームセクションと同じ大きさにすることができます。
- 外側自動ブームセクションは、セクションコントロールの永続的な切り替えを防ぐために、合理的に組み合わせることができます。
- 自動ブームセクションは、そのブームセクションまたは隣接するブームセクションが2つ以上のノズルをもつ場合のみ変更できます。

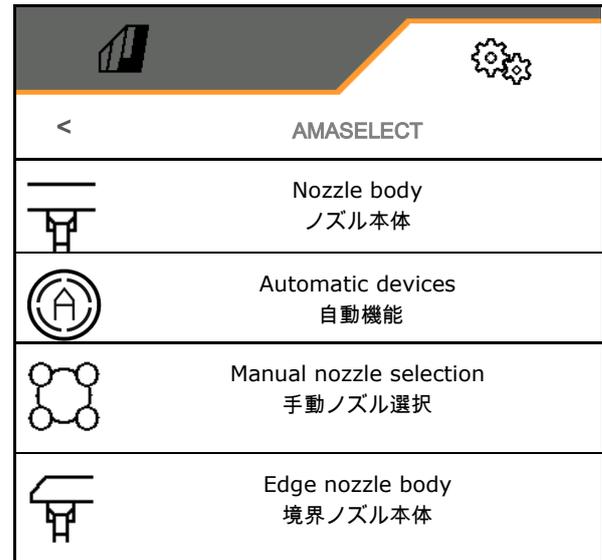
### ブームセクションをアクティブ化 / 継続的に非アクティブ化

- ブームセクションがアクティブ
- ブームセクションが非アクティブ (作業メニューに赤く表示されます)

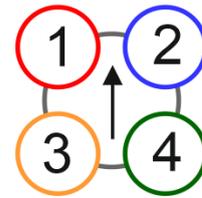


## 5.2.9 AmaSelect の設定

- ノズル本体の設定 ( 94 ページを参照 )。
- 自動ノズル選択
- 手動ノズル選択の設定 ( 100 ページを参照 )。
- 境界ノズル本体の設定 ( 100 ページを参照 )。



- ノズル 1 および 2 は、進行方向に向かって前方に取り付けます。
- ノズルは、ノズルサイズに応じて色分けされています。



### 5.2.9.1 ノズル本体



ノズル本体は、次に応じて装備する必要があります

- 可能なノズル組み合わせ、「自動機能」を参照
- ノズルのサイズ、表を参照。

小型ノズル	中型ノズル	大型ノズル
ノズル 1、ノズル 4	ノズル 3	ノズル 2

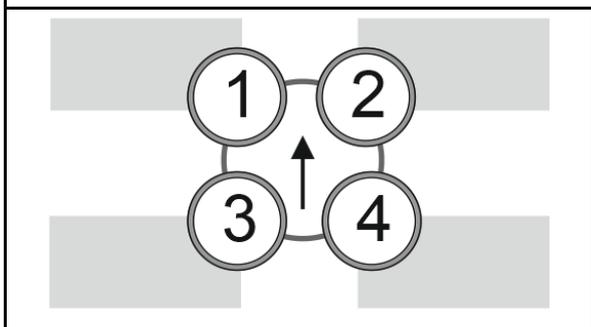


ノズル本体のノズル距離が 25 cm の場合、ノズル 1 と 2 に同じノズルを装備します。

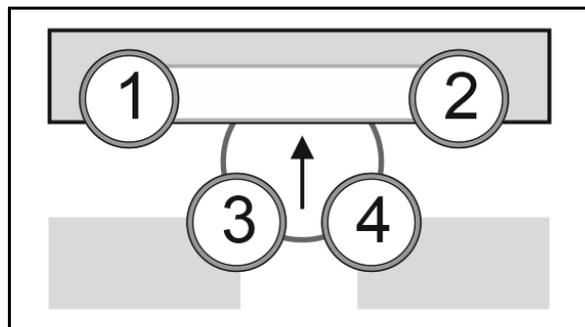
- 25 cm のノズル間隔
  - はい、移動幅が 25 cm あります
  - いいえ、50 cm



ノズル間隔 50 cm の表示 :



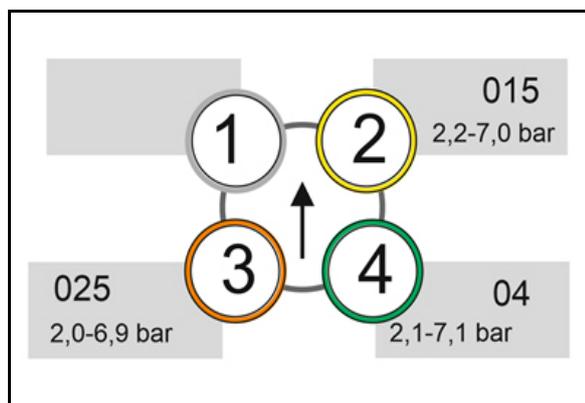
ノズル間隔 25 cm の表示 :



- ノズルのパラメータを入力します  
各ノズルは入力されたパラメータと共に表示されます。

1. ノズルをタップして設定します。

ノズル間隔 25 cm : ノズル 1 と 2 は一緒に設定されます。



2. ノズル 1、2、3、4 の入力を行います。

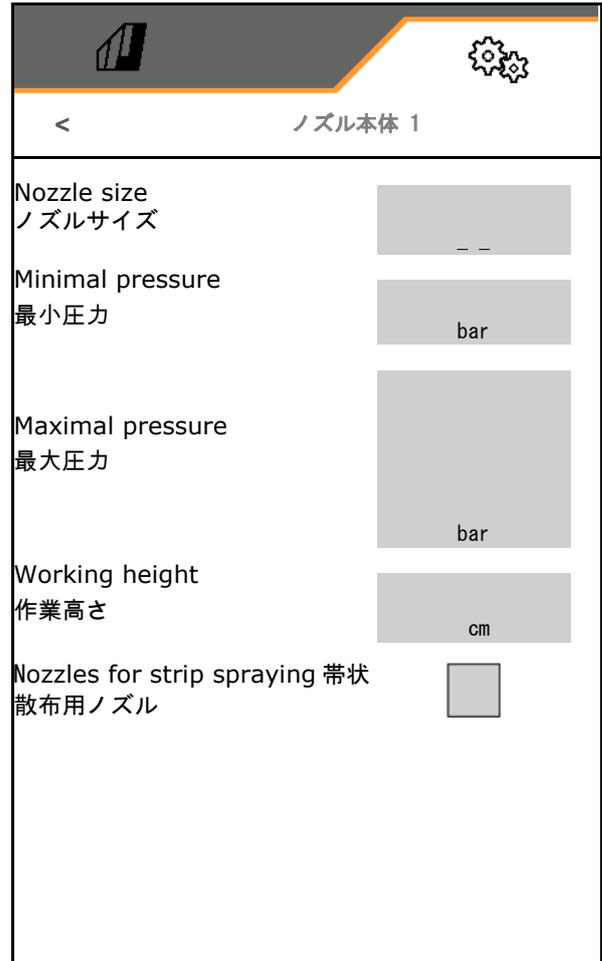
- ノズルサイズ（カラーコードあり）
- ノズルの最小圧力
- ノズルの最大圧力

 ノズルの組み合わせを使用する場合、圧力入力によって別のノズルへの切り替えが決まります。

- ノズルの作業高さ
- 帯状散布用ノズルを選択します。
  - このノズルを帯状散布に使用する
  - このノズルを帯状散布に使用しない

帯状散布 75 cm : ノズル 1 と 2 を帯状散布用に選択します。

帯状散布 50 cm : ノズル 3 と 4 を帯状散布用に選択します。



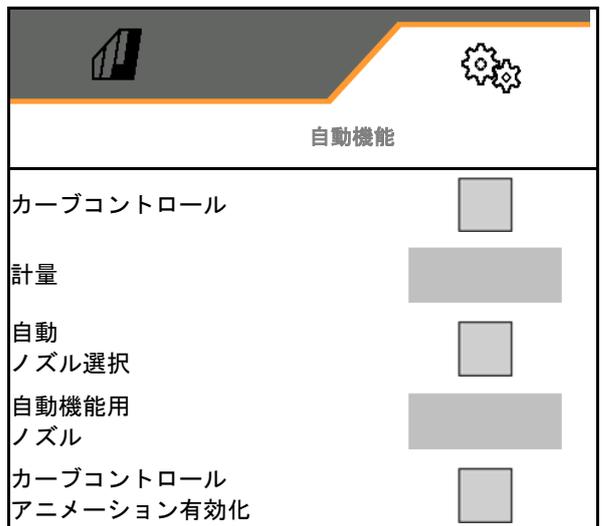
ノズル本体 1	
Nozzle size ノズルサイズ	<input type="text"/>
Minimal pressure 最小圧力	<input type="text" value="bar"/>
Maximal pressure 最大圧力	<input type="text" value="bar"/>
Working height 作業高さ	<input type="text" value="cm"/>
Nozzles for strip spraying 帯状散布用ノズル	<input type="checkbox"/>

### 5.2.9.2 自動機能

- カーブコントロール、96 ページを参照。
- カーブコントロール時の計量、96 ページ参照。
- 自動ノズル選択
  - 選択したノズルの組み合わせに応じて、自動ノズル選択を使用します。
  - 自動ノズル選択なし
- 自動機能用ノズル、97 ページを参照。
- カーブコントロール アニメーションの有効化
 

操作端末によっては、アニメーションがジョブコンピュータの再起動につながる場合があります。これを避けるため、アニメーションをオフにすることも可能です。

  - アニメーション ON
  - アニメーションなし



自動機能	
カーブコントロール	<input type="checkbox"/>
計量	<input type="text"/>
自動ノズル選択	<input type="checkbox"/>
自動機能用ノズル	<input type="text"/>
カーブコントロールアニメーション有効化	<input type="checkbox"/>

## 設定

### カーブコントロール

カーブを走行する際は、そのエリアの規定量を作業幅全体で守ることができません。

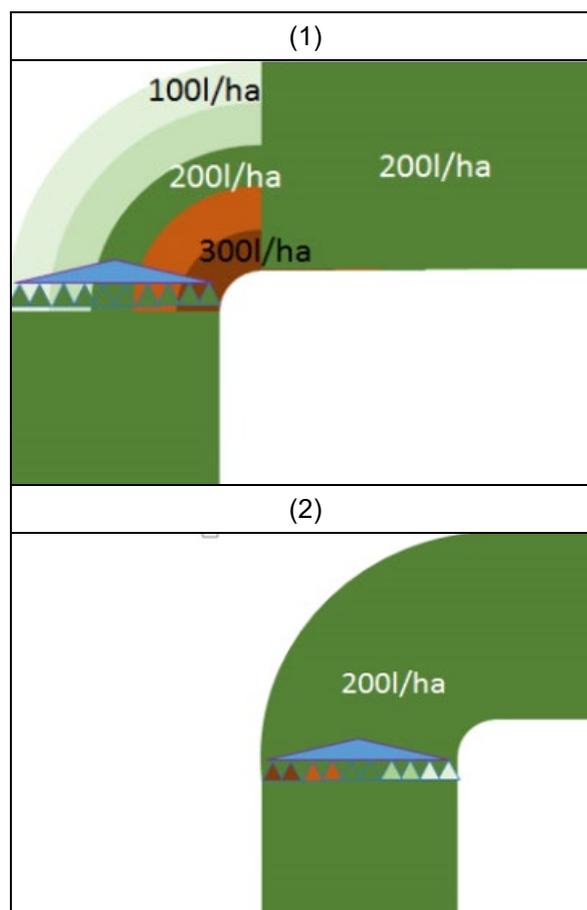
- カーブ内側 → ノズル低速 → 過剰計量
- カーブ外側 → ノズル高速 → 過小計量

カーブコントロールを使用すると、カーブ走行時にノズルを自動的に切り換えることで散布量を調整できます。

- カーブコントロール プロ、3種類のノズルサイズ
- カーブコントロール エコ、2種類のノズルサイズ

(1)  カーブコントロールなし

(2)  カーブコントロールが ON



### カーブコントロール時の計量

(1) 標準計量

(2) 計量を減らす

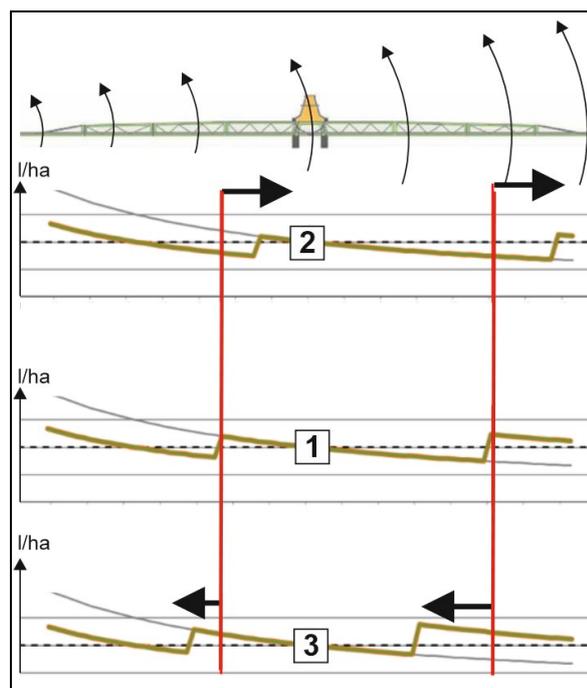
入力された規定散布量はほぼ最大散布量になります。

過剰計量を避けるため、より大きなサイズのノズルに変更する切り換え点がカーブ外側へ移動されます。

(3) 計量を増やす

入力された規定散布量はブーム上でのほぼ最小散布量になります。

計量不足を避けるため、より大きなサイズのノズルに変更する切り換え点がカーブ内側へ移動されます。



## 自動機能用ノズル

ノズル組み合わせ	可能な 切り換え位置	ノズル装備 の例 (小から大へ)
バリエーション 1  ノズル 1 とノズル 2	1 2 1+2	ノズル 1=015 ノズル 2=025
バリエーション 2  ノズル 2 とノズル 3、ノズル 4	4 3 3+4 2+4	ノズル 4=015 ノズル 3=025 ノズル 2=04
バリエーション 3  ノズル 3 とノズル 4	4 3 3+4	ノズル 4=015 ノズル 3=025

### 5.2.9.3 ノズル選択を作成するための使用例

(アプリケーションマップを用いた作業)

- 走行速度: 10 km/h
- 圧力 2~8 bar 用のノズル ID
- 必要散布量 : 60 ~ 280 l/min

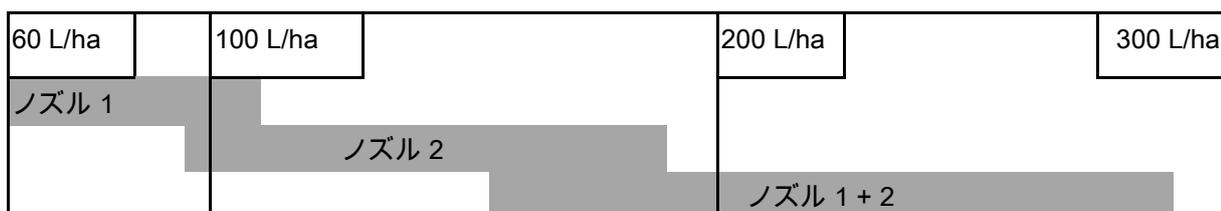
選択 :

ノズル組み合わせ	可能な切り換え位置	ノズル装備の例
バリエーション 1		
ノズル 1 とノズル 2	1 2 1+2	ノズル 1=015 ノズル 2=025

個々のノズルの散布量が十分に重複し、すべての量が規定に即して散布されるように、ノズルを選択してください。

- ノズル 1 の最小圧力
- ノズル 1 の最大圧力とノズル 2 の最小圧力 : 重複範囲を含めて選択します。
- ノズル 2 の最大圧力とノズル 3 の最小圧力 : 重複範囲を含めて選択します。
- ノズル 3 の最大圧力

	ノズル 1	ノズル 2	ノズル 1+2
ノズル:	ID015	ID025	ID015+ ID025 = 0.4
圧力範囲:	2.2 ~ 7.0 bar	2.0 ~ 6.9 bar	2.1 ~ 7.1 bar
次の散布量用:	60 ~ 108 l/ha	96 ~ 180 l/ha	156 ~ 288 l/ha
散布表の圧力と散布量			





### 5.2.9.4 手動ノズル選択

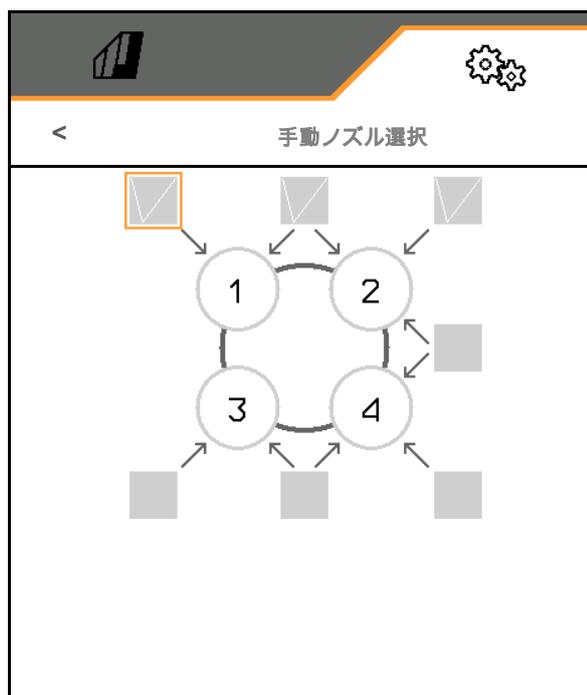
どのノズルが作業中に必要になりますか？

必要なノズルまたはノズルの組み合わせを選択します（手動切り替えおよび自動用）：

1. ノズルまたはノズルの組み合わせをマークします。

最大 7 個のノズルおよびノズルの組み合わせを選択可能です。

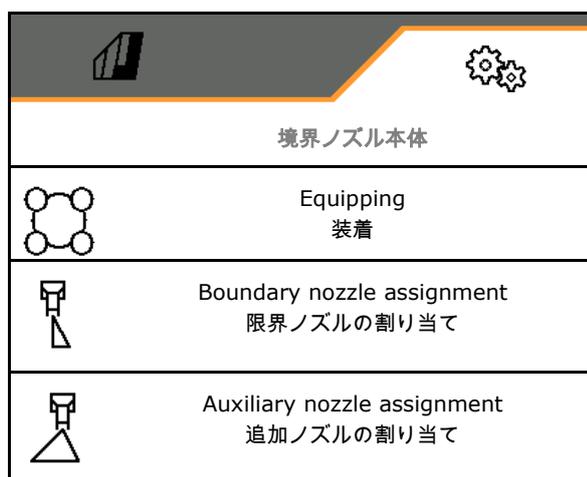
2. ノズル / ノズルの組み合わせを選択します。
  - 選択する
  - 選択しない



ノズル 2 と 3 を選択する場合には、他のノズルを短時間開かないと 2 と 3 の間での切り換えはできません。

### 5.2.9.5 境界ノズル本体

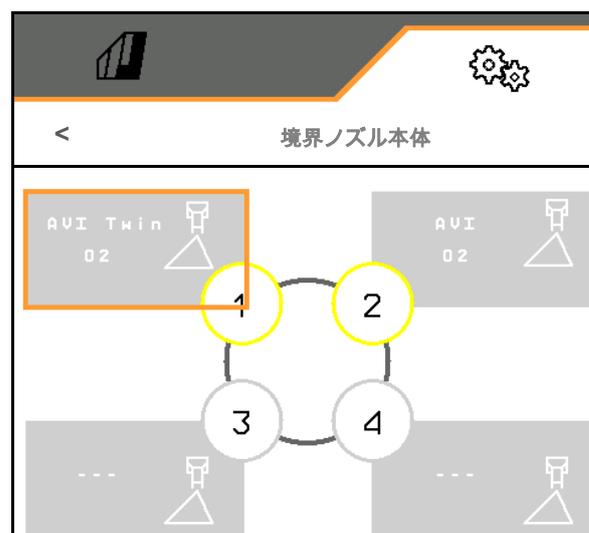
- 装着
- 限界ノズルの割り当て（101 ページを参照）。
- 追加ノズルの割り当て（100 ページを参照）。



## 装着

各ノズルは入力されたパラメータと共に表示されます。

1. 設定するノズルを選択します。



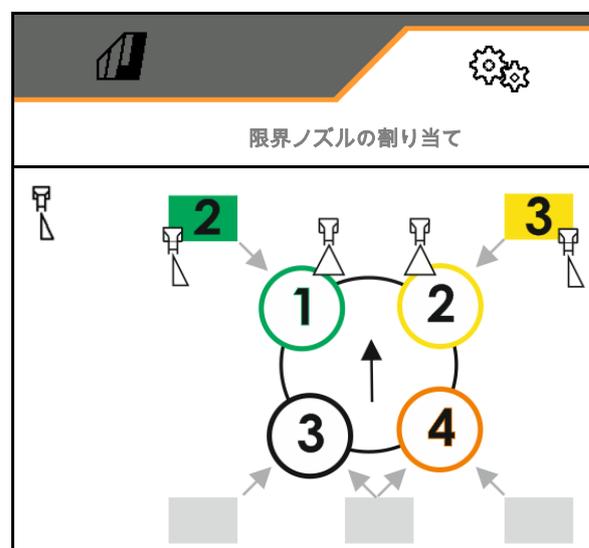
2. ノズルのために入力を行います。
  - ノズルサイズ ( カラーコードあり )
  - 限界ノズル、



## 限界ノズルの割り当て

どの限界ノズルを、標準ノズル本体のどの標準ノズルと一緒に ON にしますか？

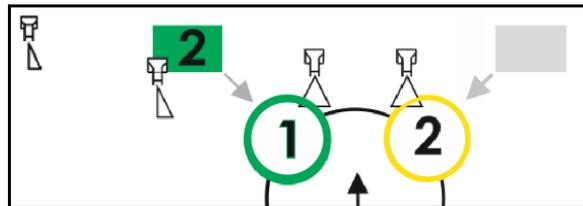
1. 限界ノズルの四角形の欄に印を付けます。
2. 標準ノズル ( 1-4 ) と同時に切り替えられる、限界ノズル ( 1-4 ) の位置を入力します。



## 設定

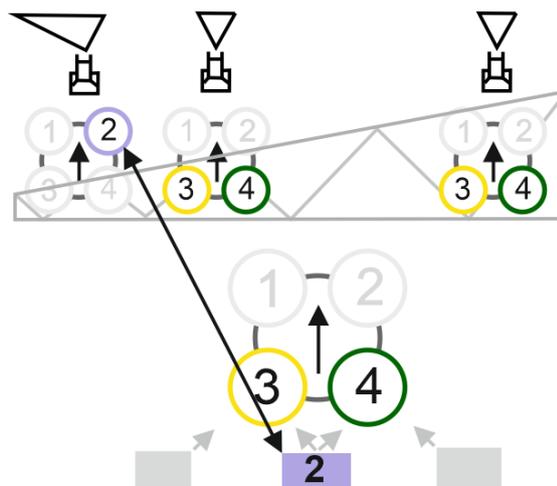
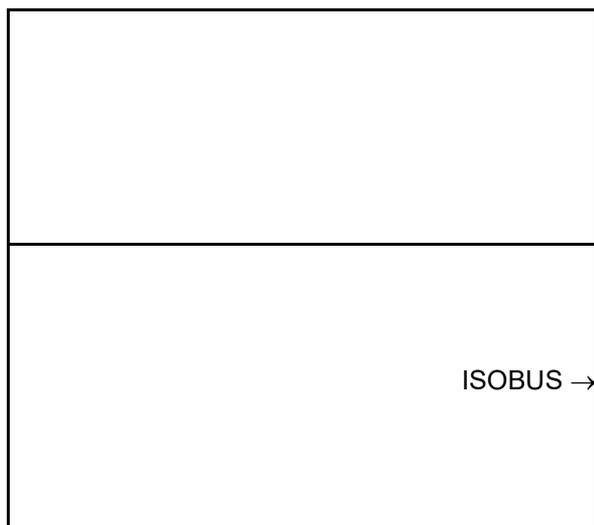
例 1 :

標準ノズル 1 を切り換えると、ノズル 2 が境界ノズルとして切り換わります。



例 2 :

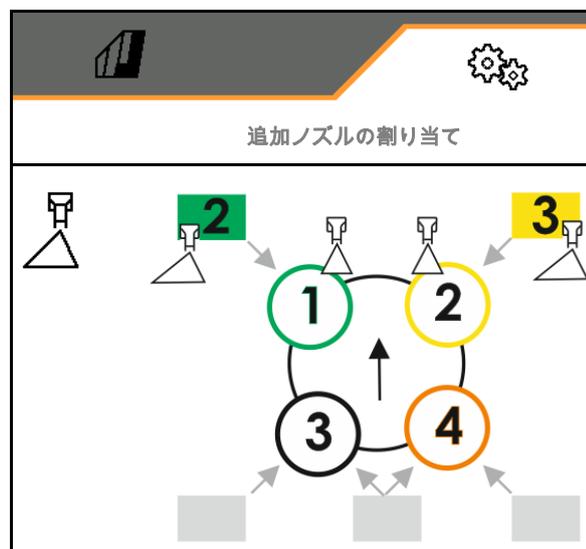
ノズル組み合わせ 3 と 4 を切り換えると、ノズル 2 が境界ノズルとして切り換わります。



## 追加ノズルの割り当て

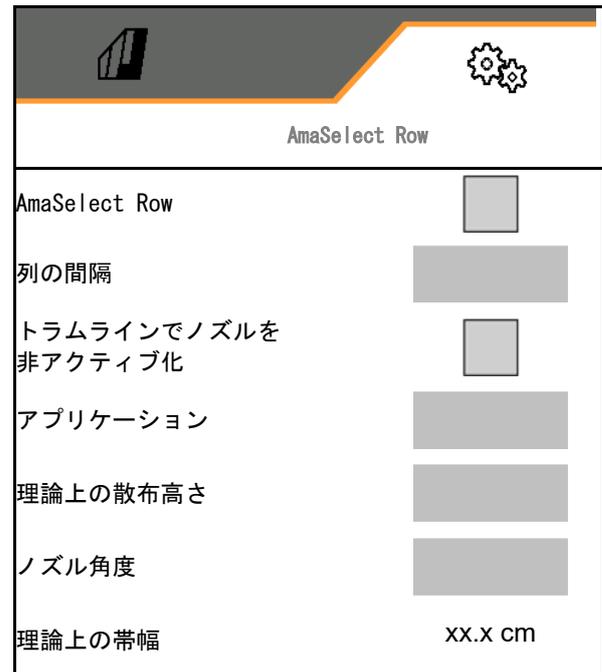
どの追加ノズルを、標準ノズル本体のどの標準ノズルと一緒に ON にしますか？

1. 追加ノズルの四角形の欄に印を付けます。
2. 標準ノズル ( 1-4 ) と同時に切り替えられる、追加ノズルを入力します ( 1-4 ) 。



### 5.2.9.6 AmaSelect Row 帯状散布

- AmaSelect Row
    - 圃場メニューで帯状散布に切り替え可能
    - 平面散布のみ
  - 列の間隔を入力
    - 50 cm
    - 75 cm (25 cm キットが必要)
  - ترامラインでノズルを非アクティブ化
    - ノズルは非アクティブ
    - ノズルはアクティブ
  - アプリケーション
    - 植物の列内に散布
    - 列の間に散布
  - 理論上の散布高さを入力
  - 帯状散布用ノズルの散布角度を入力
- 理論上の帯幅が計算および表示されます。



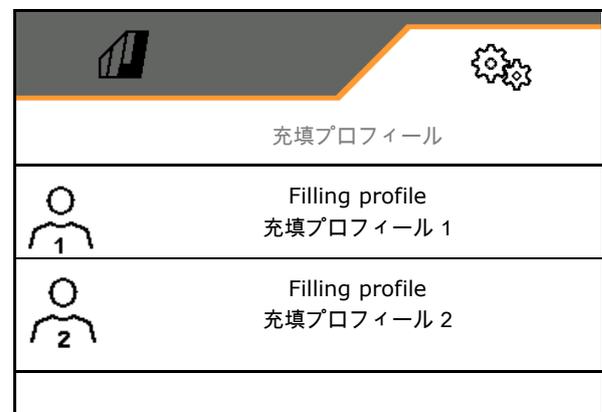
### 5.2.10 充填プロフィールの作成

コンフォートパッケージプラス :

2つの充填プロフィールを作成できます

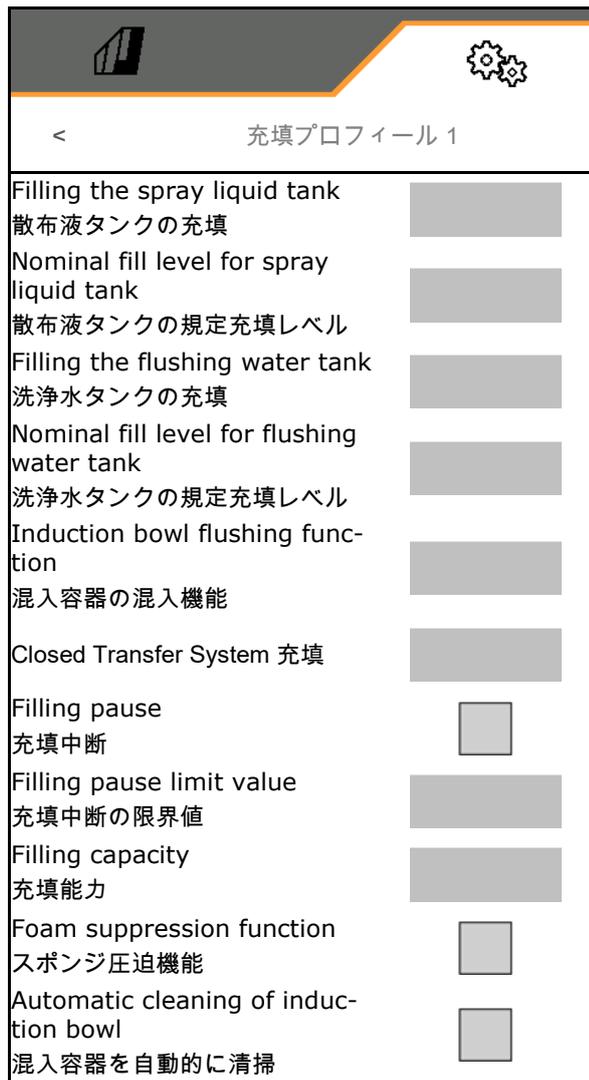
自動充填用の充填プロフィールは、ツインターミナルでアクティブにできます。

- 充填プロフィール 1 を設定
- 充填プロフィール 2 を設定



## 設定

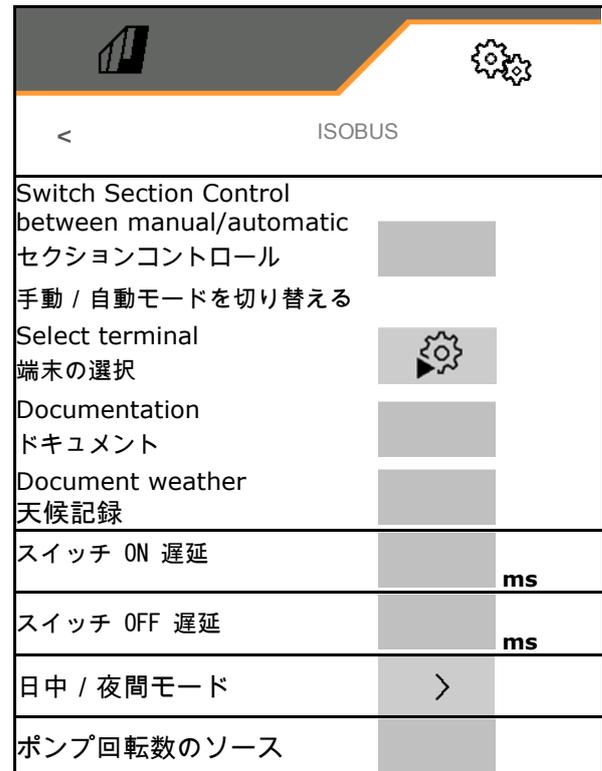
- 散布液タンクの充填
  - 吸込口
  - 圧力接続部
  - --- 充填なし
- 散布液タンクの規定充填レベルを入力
- 洗浄水タンクの充填
  - 吸込口
  - 圧力接続部
  - --- 充填なし
- 洗浄水タンクの規定充填レベルを入力
- 混入機能用の液体を選択
  - 吸込口
  - 散布液タンク
  - 洗浄水タンク
  - 圧力接続部
  - ---
- ノンドリップ・プラグカップリングを用いた Closed Transfer System 充填の選択
- 薬剤を混入するための充填中断
  - はい
  - いいえ
- 薬剤を混入するため、規定充填レベル（%）で充填中断
- 充填能力
  - 1 - 標準充填能力
  - 2 - 高められた充填能力
  - 3 - 最大充填能力
- 充填中の内部清掃ノズルによるスポンジ圧迫機能
  - はい
  - いいえ
- 上に折り畳むと、自動的に混入容器を清掃します。
  - はい
  - いいえ



< 充填プロフィール 1	
Filling the spray liquid tank 散布液タンクの充填	<input type="checkbox"/>
Nominal fill level for spray liquid tank 散布液タンクの規定充填レベル	<input type="checkbox"/>
Filling the flushing water tank 洗浄水タンクの充填	<input type="checkbox"/>
Nominal fill level for flushing water tank 洗浄水タンクの規定充填レベル	<input type="checkbox"/>
Induction bowl flushing function 混入容器の混入機能	<input type="checkbox"/>
Closed Transfer System 充填	<input type="checkbox"/>
Filling pause 充填中断	<input type="checkbox"/>
Filling pause limit value 充填中断の限界値	<input type="checkbox"/>
Filling capacity 充填能力	<input type="checkbox"/>
Foam suppression function スポンジ圧迫機能	<input type="checkbox"/>
Automatic cleaning of induction bowl 混入容器を自動的に清掃	<input type="checkbox"/>

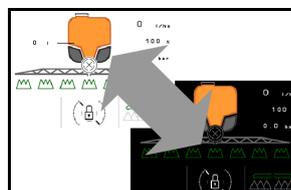
### 5.2.11 ISOBUS の設定

- セクションコントロール 手動モード / 自動モードを切り替えます
  - GPS メニュー  
セクションコントロールを GPS メニューで切り替えます。
  - 作業メニュー内 ( AmaTron 4 への推奨 )  
セクションコントロールは、ISOBUS の作業メニューで切り替えます :  
 セクションコントロール 手動モード / 自動モード • 端末の選択
  - 機械操作を表示するために、操作端末を選択します。
  - ドキュメントとセクションコントロールを表示するために、操作端末を選択します。
- ドキュメント
  - タスクコントローラ、ジョブ管理がアクティブ  
→ 機械コンピュータは端末のタスクコントローラと通信します
  - 機械内部のドキュメントのみ
- 天候記録
  - ○ 天候データメニューが圃場メニューに現れます。天候データを読み込み、編集してタスクコントローラに転送できます。



- スイッチ ON 遅延／スイッチ OFF 遅延  
 スイッチ ON 遅延：デフォルト値：400 ms
  - 大きな値：早くスイッチ ON（オーバーラップ）
  - 小さな値：遅くスイッチ ON（オーバーラップなし）
 スイッチ OFF 遅延：デフォルト値：200 ms
  - 大きな値：遅くスイッチ OFF（オーバーラップ）
  - 小さな値：早くスイッチ OFF（オーバーラップなし）

- 日中&夜間ディスプレイモード



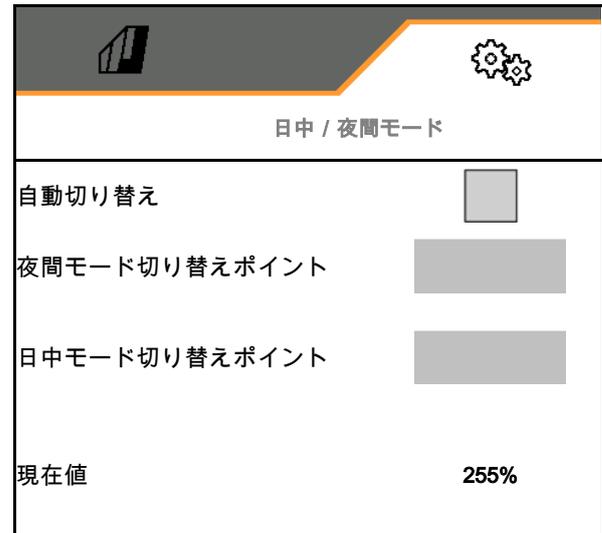
- ポンプ回転数のソース
  - PTO ( ISOBUS )
  - OFF ( 回転数センサーなし )

## 日中 & 夜間ディスプレイモード

- 輝度に応じて自動切り替え
  - はい
  - いいえ
- 夜間モードに切り替わる、輝度 (%) の切り替えポイント
- 日中モードに切り替わる、輝度 (%) の切り替えポイント

輝度の現在値を表示 ( 0% 暗さ最大、100% 明るさ最大 )

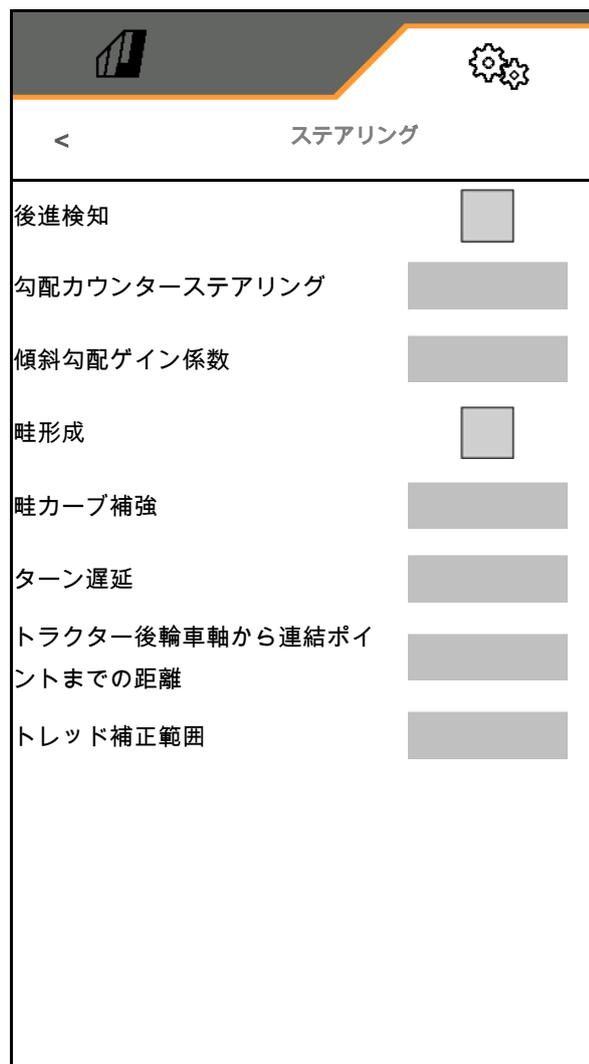
現在値 255% → Isobus で利用可能なデータはありません



日中 / 夜間モード	
自動切り替え	<input checked="" type="checkbox"/>
夜間モード切り替えポイント	<input type="range"/>
日中モード切り替えポイント	<input type="range"/>
現在値	255%

## 5.2.12 ステアリングの設定

- 後進検知
  - はい
  - いいえ
- AutoTrail 自動モードの勾配カウンターステアリング
  - 勾配に対する手動ステアリング
  - 勾配に対する自動ステアリング
- 勾配に対する自動ステアリング用の傾斜勾配ゲイン係数
- 畦形成, 以下を参照
  - はい、直角に圃場に入ります。
  - いいえ
- 畦カーブ補強、デフォルト値 15、圃場への進入に影響します
- ターン遅延、デフォルト値 1.5 秒
- トラクター後輪車軸から連結ポイントまでの距離
- トレッド補正範囲

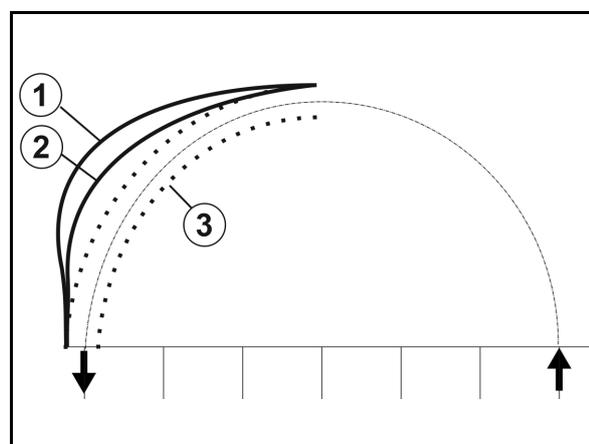


### 畦形成

機械は、大きな弧を描いてステアリングします。そのようにして、機械は直角に圃場に入ります。

畦カーブ補強で、ステアリングに影響を与えることができます。

- (1) 畦形成 ON、畦カーブ補強用に大きな値
- (2) 畦形成 ON、畦カーブ補強用に小さな値
- (3) 機械はトラクタートラックを辿ります。



## ターン遅延

ターンポイント遅延によって、カーブ進入のタイミングを設定できます。

適切に設定された機械は、左右にブレることなく、トラクターの後輪トラックを正確に追跡します

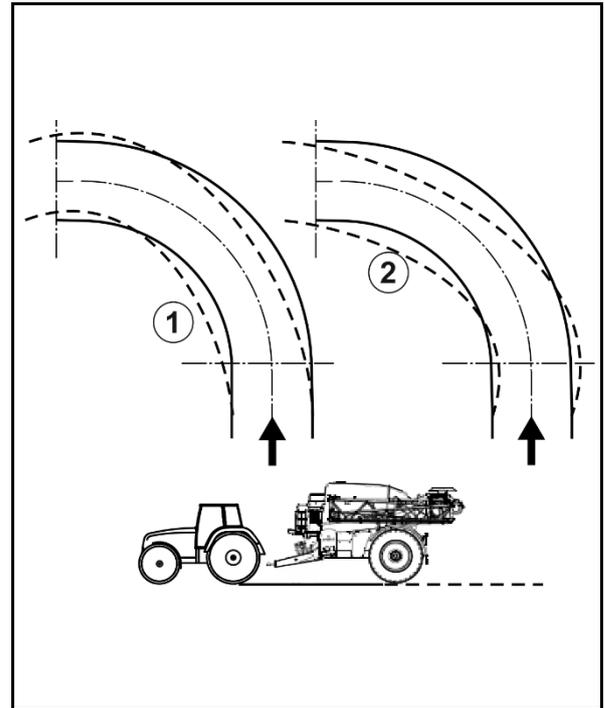
通常の運転速度による 90° カーブでの動作を設定します。

- トラクターのリアアクスルと連結ポイントの間隔を正しく設定する必要があります。
- 畦形成は、無効にする必要があります。

値が大きいほど、機械のステアリングは遅くなります。

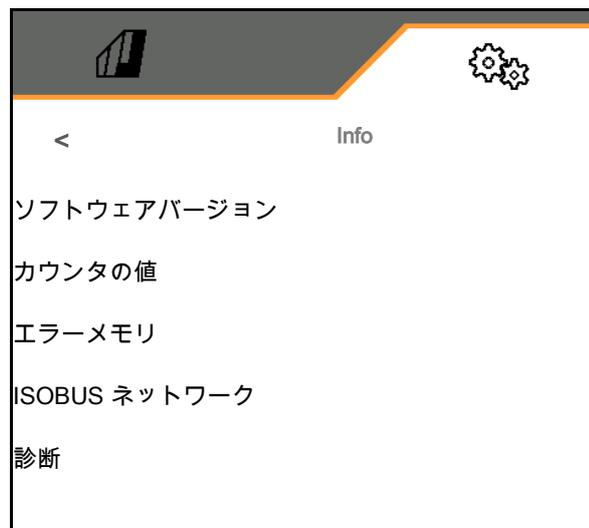
デフォルト値 1.5 秒

合理的な値 3.0 – 3.5 秒



### 5.3 Info

- 機械の全ソフトウェアバージョンの表示
- 検出されたデータのカウンタ値の表示
- エラーメモリの表示
- ISOBUS ネットワークの全参加者の表示
- 診断データの表示 ( 機能の実行にはパスワードが必要 )



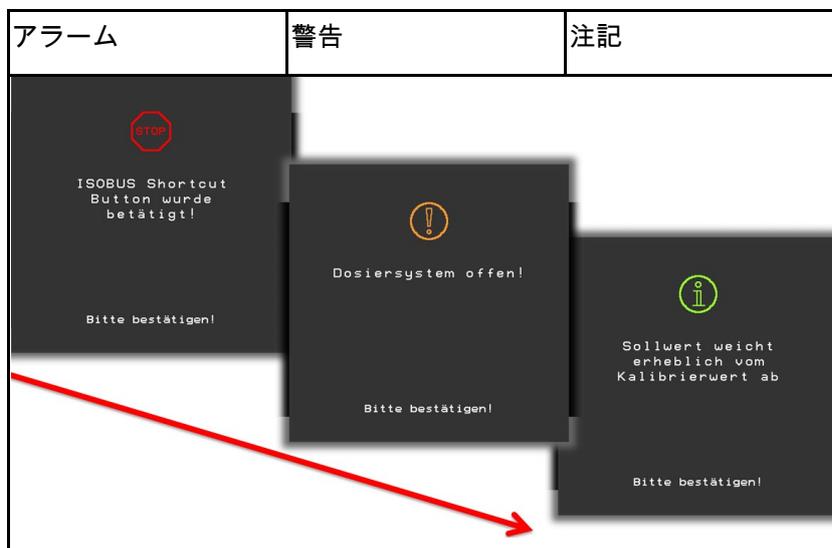
### 5.4 セットアップ



- セットアップの変更は、顧客サービスによってのみ実行できます。
- セットアップメニューにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。
- セットアップでは、機械の基本設定を変更できます。設定にエラーがあると、機械が故障する恐れがあります。

## 6 故障

### 6.1 アラーム / 警告および注記



→ 全面メッセージは、常に確定しなければなりません。



→ 作業メニューの注記 (上) は、確定する必要がありません。

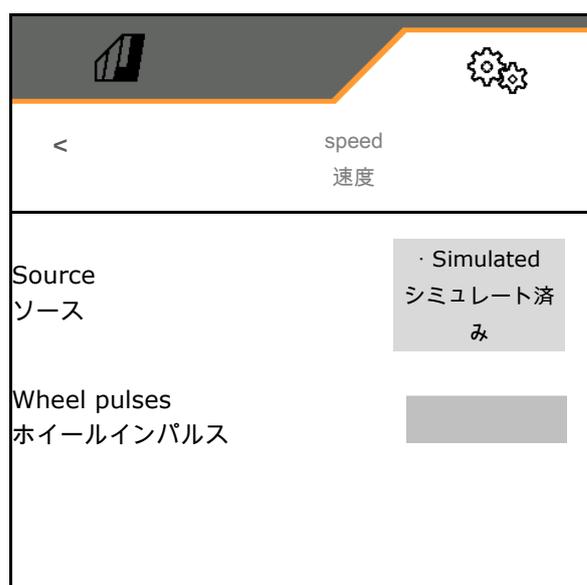
### 6.2 ISOBUS からの速度信号の欠落

機械データメニューでは、シミュレートした速度を、速度信号のソースとして入力できます。

これにより速度信号なしで機械を使用できます。

このためには：

1. シミュレートされた速度を入力します。
2. 使用中は、入力されたシミュレーション速度を守ってください。



### 6.3 故障表

番号	種類	原因	解決
F15001	警告	ブーム折り畳みジョブコンピュータのウォッチドッグで、エラーが認められました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を再起動します</li> <li>• ブーム折り畳みジョブコンピュータの接続ケーブルを点検します</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>
F15002	注記	散布ポンプ回転数が小さすぎます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 散布ポンプを <math>540 \text{ min}^{-1}</math> で動かします。</li> </ul>
F15003	注記	定義された条件では、清掃ステップを終了できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 要求された量の洗浄水を取り出せません</li> <li>• 散布圧が 1 bar 以下になりません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 洗浄水タンクを点検します ( 充填レベル曲線、充填レベルセンサーなど )</li> <li>• 散布ラインの圧力センサー ( BWA011 ) を点検します</li> </ul>
F15004	警告	量制御バルブの位置検出信号が、4~20 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 量制御バルブ ( KWA011 ) の接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> <li>• 量制御バルブ ( KWA011 ) を点検します</li> </ul>
F15005	アラーム	軸ポテンシオメーターの電圧が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 牽引バーのポテンシオメーターと接続ケーブルをチェックします</li> </ul>
F15006	警告	このテキストは、診断メニューを終える際に現れます。	---
F15007	アラーム	油圧センサーの電圧が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 油圧アキュムレータの圧力センサーと接続ケーブルを確認します。</li> </ul>
F15008	アラーム	フロントタンクまたはリアタンクの充填レベルインジケータが動かなくなり、フロントタンクとリアタンク間の充填レベル制御の自動モードが終了します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フロントタンクとリアタンクの充填量の割合を調節します</li> <li>• 充填レベルセンサーと充填レベル曲線をチェックします</li> </ul>
F15009	警告	充填レベルに応じた攪拌圧力を維持できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 攪拌圧力バルブ ( KWA045 ) と接続ラインを点検します</li> <li>• アジテーターノズルを点検します</li> <li>• 吸引フィルターを点検します</li> </ul>
F15010	警告	攪拌圧力センサーの信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーと接続ケーブルを確認</li> </ul>
F15011	警告	コンフォートパッケージ / コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータのウォッチドッグで、エラーが認められました	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を再起動します</li> <li>• コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータの接続ケーブル</li> <li>• ヒューズ F7 をチェックします</li> </ul>

F15012	警告	吸入栓のポテンシオメーターの電圧値が、0.5~4.5 V (コンフォートパッケージ) または 2~22 mA (コンフォートパッケージプラス) の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーと接続ケーブルを確認</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> </ul>
F15013	警告	サーボモーターを同時に制御している際に圧力センサーの圧力値に変化なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 攪拌圧カバルブ (KWA045) と接続ラインを点検します</li> <li>• アジテーターノズルを点検します</li> <li>• 吸引フィルターを点検します</li> </ul>
F15014	警告	同時にサーボモーターを制御しても、吸入栓の位置検出の信号値に変化がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続ケーブルと吸入栓調節機能のモーターを確認します</li> <li>• 吸引栓の位置検出を確認します</li> <li>• 吸入栓の機構を確認します</li> </ul>
F15015	警告	サスペンションコンピュータは、左側サスペンション位置 (リア) を検出するためにセンサー信号を送りますが、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 軸の高さ検知機能と接続ケーブルを確認します</li> </ul>
F15016	警告	サスペンションコンピュータは、右側サスペンション位置 (リア) を検知するためにセンサー信号を送りますが、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 軸の高さ検知機能と接続ケーブルを確認します</li> </ul>
F15017	警告	サスペンションコンピュータは、左右の軸の高さが異なることを通知しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オイル供給を確認します</li> <li>• サスペンションバルブをチェックします</li> <li>• 軸の高さ検知機能と接続ケーブルを確認します</li> <li>• 高さ検知用ポテンシオメーター接続時、あるいは油圧バルブ接続時に、左右間違えて接続していないか、診断メニューで確認します。</li> </ul>
F15018	警告	サスペンションのジョブコンピュータのウォッチドッグで、エラーが認められました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を再起動します</li> <li>• サスペンションのジョブコンピュータの接続ケーブルを点検します</li> <li>• ヒューズ F7 をチェックします</li> </ul>
F15019	警告	圧力制御 / 量制御用の圧力センサーの電圧値が、0.5~4.5 V の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 圧力センサーと接続ケーブルを確認します。</li> </ul>

**故障**

F15020	警告	少なくとも 1 個のブームセクションバルブが開いており、圧力が 2 bar を上回っているにもかかわらず、流量計が信号を送りません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 流量計と接続ケーブルを確認します</li> <li>● 圧力センサーをチェックします</li> </ul>
F15021	警告	バイパスバルブが開いており、圧力が 2 bar を上回っているにもかかわらず、流量計が信号を送りません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 流量計と接続ケーブルを確認します</li> <li>● 逆流制御バルブをチェックします</li> <li>● 圧力センサーをチェックします</li> </ul>
F15022	警告	少なくとも 1 個のブームセクションバルブが開き、HighFlow がアクティブで、圧力が 2 bar を上回っているにもかかわらず、流量計が信号を送りません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 流量計と接続ケーブルを確認します</li> <li>● 圧力センサーをチェックします</li> </ul>
F15023	警告	AmaSwitch ジョブコンピュータのウォッチドッグで、エラーが認められました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械を再起動します</li> <li>● AmaSwitch ジョブコンピュータの接続ケーブルを点検します</li> <li>● トラクターの ISOBUS 負荷ヒューズを点検します</li> </ul>
F15024	警告	充填レベルセンサーの電流が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 充填レベルセンサーの接続ケーブルとポテンシオメーターをチェックします</li> <li>● 各方向キーを押し続けると、フロントタンクの液体がポンプで送り出されます</li> </ul>
F15025	警告	フロントタンクのコンピュータが、充填レベルセンサーの故障を通知します (ポテンシオメーターの電圧値は、2~22 mA の許容信号範囲内にありません)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 充填レベルセンサーの接続ケーブルとポテンシオメーターをチェックします</li> <li>● 各方向キーを押し続けると、フロントタンクの液体がポンプで送り出されます</li> </ul>
F15026	警告	ツインターミナルのウォッチドッグで、エラーが認められました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械を再起動します</li> <li>● ツインターミナルの接続ケーブルを点検します</li> <li>● ヒューズ F7 を点検します</li> </ul>
F15027	警告	傾きセンサーの電圧が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 傾きセンサーと接続ケーブルを確認します</li> <li>● セットアップで機械およびブーム設定をチェックします</li> </ul>
F15028	警告	リレーが、ベースコンピュータの切り替えコマンドに反応しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リレー K1 をチェックします</li> <li>● 場合によっては、隣のリレーと交換します</li> </ul>

F15029	警告	リレーが、ベースコンピュータの切り替えコマンドに反応しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リレー K2 をチェックします</li> <li>場合によっては、隣のリレーと交換します</li> </ul>
F15030	警告	リレーが、ベースコンピュータの切り替えコマンドに反応しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リレー K3 をチェックします</li> <li>場合によっては、隣のリレーと交換します</li> </ul>
F15031	警告	(ユーザーにより、またはジョブコンピュータにより自動で) 傾斜運転が行われているにも関わらず、傾きセンサーの信号に変化が検出されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オイル供給を確認します</li> <li>傾き調節と角度検知を確認します。</li> </ul>
F15032	警告	追加ブームセクションおよび境界ノズル用ジョブコンピュータの監視で、エラーが認められました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械を再起動します</li> <li>追加ブームセクション用ジョブコンピュータへの接続ケーブルを点検します。</li> <li>トラクターのヒューズを点検します。</li> </ul>
F15033	警告	傾きセンサーの電圧が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>傾きセンサーと接続ケーブルを確認します</li> <li>セットアップで機械およびブーム設定をチェックします</li> </ul>
F15034	警告	「機械スプリングアセンブリ」用ポテンシオメーターの電圧が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポテンシオメーターと接続ケーブルをチェックします</li> <li>セットアップで機械およびブーム設定をチェックします</li> </ul>
F15035	注記	カーブ走行時に走行速度が高すぎたり、カーブで突然方向が変わったり、カーブで走行が安定しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行速度を落とします</li> <li>カーブは、一定の速度で、方向を変更せずに走行します</li> </ul>
F15036	警告	機械メニューで傾き調節がキャリブレートされていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>傾き調節をキャリブレート</li> </ul>
F15037	注記	診断メニューに切り替わる際に通知が表示されます	---
F15038	警告	「ブームの傾き」用ポテンシオメーターの電圧が、0.5~4.5 V の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポテンシオメーターと接続ケーブルをチェックします</li> <li>セットアップで機械とブーム設定が正しいか確認します</li> </ul>
F15039	警告	左側超音波センサーが信号を送信しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>左側超音波センサーと延長ケーブル、接続ケーブル(電子増幅機器を含む)をチェックし、必要に応じて交換します</li> </ul>
F15040	注記	走行速度のソースが信号を送信しません	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械設定メニューで他の速度ソースを選択します</li> <li>TECU の設定を確認します</li> </ul>

**故障**

F15041	アラーム	ISOBUS ショートカットボタン ISB が操作されています ( Amatron3 では = ON/OFF スイッチ )。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ISB を解除します。</li> </ul>
F15042	アラーム	ISOBUS ショートカットボタン ISB は、もはや操作されていません ( Amatron3 では = ON/OFF スイッチ )。	
F15043	注記	ISOBUS で PTO 回転数の信号がありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PTO 回転数を TECU で送信する必要があります</li> <li>● あるいは機械設定メニューで、ポンプ回転数用に別のソースを選択します ( AMAZONE 販売店にお問い合わせください )</li> </ul>
F15044	警告	右側の超音波センサーが信号を送りません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 右側超音波センサーと延長ケーブル、接続ケーブル ( 電子増幅機器を含む ) をチェックし、必要に応じて交換します</li> </ul>
F15045	警告	高さ用ポテンシオメーターの電圧が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高さ用ポテンシオメーターと接続ケーブルを確認します</li> </ul>
F15046	警告	オイルタンクの規定値に達しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オイル供給を点検します / ON にします</li> <li>● 油圧アキュムレーターの圧力センサーの信号をチェックします</li> </ul>
F15047	注記	充填レベル曲線 ( リアタンクおよび / またはフロントタンク ) のティーチングプロセス後に、ティーチング値に整合性がないことをジョブコンピュータが検知した場合に現れます ( 例えば値 6、7、8 がより大きく、値 1、2、3 が小さいにも関わらず、値 5 が値 4 より小さい場合 )。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 充填レベル曲線の測定点の整合性を確認します</li> </ul>
F15048	注記	コンピュータは、変更した設定を適用するために、再起動しなければなりません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ISOBUS 端末の ACK キーを操作して、時間をおかずにジョブコンピュータを直接再起動します</li> </ul>
F15049	警告	拡張ユニット 1 ジョブコンピュータのウォッチドッグで、エラーが認められました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機械を再起動します</li> <li>● 拡張ユニット 1 ジョブコンピュータの接続ケーブルを点検します</li> <li>● ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>

F15050	警告	拡張ユニット 2 ジョブコンピュータのウォッチドッグで、エラーが認められました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を再起動します</li> <li>• 拡張ユニット 2 ジョブコンピュータの接続ケーブルを点検します</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>
F15052	警告	(ユーザーにより、またはジョブコンピュータにより自動で) サスペンションが操作されているにも関わらず、サスペンションセンサーの信号に変化が検出されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サスペンションのオイル供給 / バルブを点検します</li> <li>• サスペンション位置センサーを確認します</li> <li>• サスペンションのキャリブレーションを確認します</li> </ul>
F15053	注記	サスペンションのセンサーの一度のみのキャリブレーションがまだ実行されていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械セットアップで、サスペンションをキャリブレーションします (AMAZONE 販売店にお問い合わせください)</li> </ul>
F15054	注記	考えられる原因 : <ul style="list-style-type: none"> <li>• 混入容器位置センサー (BEL092) が作動しません</li> <li>• 散布液タンク充填レベルセンサー (BWA090) が作動しません</li> <li>• コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータ (AEL051) とベースコンピュータ (AEL652) の通信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーを点検します</li> <li>• ヒューズ F1 を点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• ケーブル接続を点検します。</li> </ul>
F15055	注記	--	メッセージの指示を参照
F15056	注記	--	メッセージの指示を参照
F15057	注記	充填レベルセンサーの一度のみのキャリブレーションがまだ実行されていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 充填レベルセンサーをキャリブレーションするが、充填レベル曲線のオフセット値を入力します (AMAZONE 販売店にお問い合わせください)</li> </ul>
F15058	注記	洗浄水ポンプの回転数が、定格回転数の +/- 10% という許容範囲から 10 秒間逸脱します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 洗浄水ポンプ回転数センサー (BEL004) からポンプドライブシャフトまでの動作距離を点検します (3.5~4 mm)</li> <li>• トラクターのオイル供給を点検します</li> </ul>
F15059	注記	洗浄水ポンプの回転数検出が作動しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 洗浄水ポンプ回転数センサー (BEL004) の接続ラインを点検します</li> <li>• 洗浄水ポンプ回転数センサー (BEL004) を点検します</li> </ul>
F15060	注記	洗浄水タンクの充填レベルは 100 l 未満です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 洗浄水タンクを充填します</li> <li>• 洗浄水タンクのセンサーをチェックします</li> </ul>

## 故障

F15061	注記	充填レベルセンサーの一度のみのキャリブレーションがまだ実行されていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 充填レベルセンサーをキャリブレーションするか、充填レベル曲線のオフセット値を入力します (AMAZONE 販売店にお問い合わせください)</li> </ul>
F15062	注記	緊急機能についての注記。混入容器位置センサー (BEL092) が作動しません。	---
F15063	注記	洗浄水タンク充填レベルセンサー (BWA091) が洗浄水タンク充填バルブの故障。	---
F15064	注記	ブームの傾き用ポテンシオメーターの電圧値は、2.0~3.0V でなければなりません	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャリブレーションを再度実行します</li> <li>● 機械を必ず水平にしてください</li> <li>● 傾きセンサーと接続ケーブルを確認します</li> </ul>
F15065	警告	折り畳み・展開機能の操作を可能にするために、速度は 3 km/h を超えてはいけません	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 速度を落とします</li> <li>● 速度用に選択したソースの信号を確認します</li> <li>● 速度用に他のソースを選択します</li> </ul>
F15066	アラーム	スプレーヤーのベースコンピュータはヨーレートセンサーから情報を受信しません	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続ケーブルとヨーレートセンサーを確認します</li> <li>● ヒューズ F1 および F2 を点検します</li> <li>● セットアップメニューの設定をチェックします</li> </ul>
F15067	注記	散布液タンク充填レベルセンサー (BWA090) が散布液タンク充填バルブの故障。	---
F15068	警告	サスペンションコンピュータは、フロント左側のサスペンション位置を検出するためにセンサー信号を送りますが、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軸の高さ検知機能と接続ケーブルを確認します</li> <li>● 機械設定を確認します (センサーは UX11200 の場合のみ)</li> </ul>
F15069	注記	サスペンションコンピュータは、フロント右側のサスペンション位置を検出するためにセンサー信号を送りますが、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軸の高さ検知機能と接続ケーブルを確認します</li> <li>● 機械設定を確認します (センサーは UX11200 の場合のみ)</li> </ul>
F15070	注記	サスペンションが、自動モードではありません。 サスペンション付きの機械は、例外的なケースを除いて、常に自動モードで走行すべきです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サスペンションの自動モードを ON にします</li> </ul>

F15071	警告	UX11200 : サスペンションのコンピュータがサスペンション位置の修正を試みており、油圧がかかっていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オイル循環を ON にします</li> <li>• オイル供給を確認します</li> <li>• オイル圧力センサーを確認します</li> </ul>
F15072	注記	牽引バーのステアリング : ブームが走行位置にあると、ステアリングの範囲が制限されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーと接続ケーブルを確認します</li> </ul>
F15073	警告	ステアリングの一度のみのキャリブレーションがまだ実行されていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ステアリングをキャリブレーションします ( AMAZONE 販売店にお問い合わせください )</li> </ul>
F15074	警告	緊急操作の指示。混入容器の位置検出が作動せず、混入容器の清掃機能がアクティブにされると現れます。	---
F15076	警告	ContourControl ジョブコンピュータのウォッチドッグで、エラーが認められました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を再起動します</li> <li>• ContourControl ジョブコンピュータの接続ケーブルを点検します</li> <li>• トラクターの ISOBUS 負荷ヒューズを点検します</li> </ul>
F15077	警告	表示されたノズル本体 ( カウント方法 : 進行方向に向かって左から昇順 ) が、希望したノズル ON/OFF を繰り返し行いませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 該当するノズル本体のプラグと接続ケーブルを点検します</li> <li>• 該当するノズル本体を点検します ( 動きにくさ、清掃、破損 )</li> </ul>
F15078	警告	機械のベースコンピュータが AmaSelect 中央ユニット ( AEL240 ) から情報を受信しない場合に、通知が現れます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を再起動します</li> <li>• 中央ユニットへの接続ケーブルを確認します</li> <li>• トラクターの ISOBUS 負荷ヒューズを点検します</li> <li>• 機械設定を確認します</li> </ul>
F15079	警告	表示された制御ユニット ( AEL240 ~ 248 ) ( カウント方法 : 進行方向に向かって左から昇順 ) が、ベースコンピュータと通信しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 該当するものを含む全制御ユニットのプラグと接続ケーブルを点検します</li> <li>• トラクターの電力供給を点検します</li> </ul>
F15081	警告	傾き調節のロックが閉じていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ロックを閉じます</li> <li>• ブームロックセンサー ( BEL370 ) を点検します</li> <li>• 折り畳み機能を改めて操作すると、ブームまたは外側サイドアームをロックせずに折り畳むことができます。次に展開すると、再びメッセージが現れます。</li> </ul>

## 故障

F15083	警告	少なくともひとつのノズル本体の電圧が 10V 未満になっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル本体の接続ケーブルを点検します</li> <li>トラクターの電力供給を点検します</li> </ul>
F15084	警告	ノズル本体の設定 / アドレッシングに誤りがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル本体の接続ケーブルを点検します</li> <li>トラクターの電力供給を点検します</li> <li>ノズル本体を交換しましたか？</li> <li>AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15085	注記	AmaSwitch ジョブコンピュータの電力供給が 8V 未満です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AmaSwitch ジョブコンピュータの接続ケーブルを点検します</li> <li>トラクターの電力供給を点検します</li> </ul>
F15086	注記	セクションコントロールの自動モードをアクティブにしようと試みましたが、すべての条件が満たされていません。	---
F15087	注記	指示を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃を繰り返します</li> </ul>
F15088	注記	ブーム幅と作業幅が、互いに合うように設定されていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定を点検します</li> </ul>
F15089	警告	ブーム左半分に短絡や過負荷などのエラー。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル本体の接続ケーブルを点検します</li> <li>トラクターの電力供給を点検します</li> <li>ブームの接続ラインを点検します</li> </ul>
F15090	警告	ブーム右半分に短絡や過負荷などのエラー。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル本体の接続ケーブルを点検します</li> <li>トラクターの電力供給を点検します</li> <li>ブームの接続ラインを点検します</li> </ul>
F15091	警告	AmaSwitch ジョブコンピュータ (AAEL260) が稼働していません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラクターの ISOBUS プラグを抜いて、20 秒待ち、再び差し込みます</li> <li>AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15092	注記	緊急機能。混入容器が、最大吸引出力で稼働しています。	---
F15093	警告	ベースコンピュータにおける ISOBUS 負荷接触への電力供給が 10V 未満。	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラクターのヒューズをチェックします</li> <li>トラクターの電圧供給を点検します</li> <li>ISOBUS 接続ケーブルとベースコンピュータ接続ケーブルをチェックします</li> </ul>

F15094	警告	AmaSelect ジョブコンピュータにアップデートしたか、新しい AmaSelect ジョブコンピュータを機械に取り付けて、ソフトウェア調整の際にエラーが生じました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を再起動して、トラクターを動かします</li> <li>• 機械の電力供給を中断しないでください！</li> </ul>
F15095	注記	緊急機能。アジテーターが制御不能になり、フルパワーで稼働します。メインタンクの充填レベルが 5% 未満だと、アジテーターが閉じます。	---
F15096	注記	緊急操作の指示。吸入栓モーターの位置検出または吸入栓モーターが作動しないと現れます。	---
F15097	注記	緊急操作の指示。吸入栓モーターの位置検出または吸入栓モーターが作動しないと現れます。	---
F15098	注記	緊急操作の指示。吸入栓モーターの位置検出または吸入栓モーターが作動しないと現れます。	---
F15099	注記	ベースコンピュータ (AEL652) がコンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータ (AEL051) から情報を受信しなくなると、この通知が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CAN Bus の接続をチェックします</li> <li>• コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータ (AEL051) をチェックします</li> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> </ul>
F15100	注記	---	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CAN Bus の接続をチェックします</li> <li>• コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータ (AEL051) をチェックします</li> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> </ul>
F15101	注記	---	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CAN Bus の接続をチェックします</li> <li>• コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータ (AEL051) をチェックします</li> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> </ul>
F15102	警告	左内側サイドアームの位置検出信号が、2 ~ 22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよびセンサー接続をチェックします</li> <li>• センサーの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>

**故障**

F15103	警告	右内側サイドアームの位置検出信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよびセンサー接続をチェックします</li> <li>• センサーの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>
F15104	警告	「散布ライン」のバルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15105	警告	洗浄水ポンプのオイルモーター用バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブスプールを点検します</li> </ul>
F15106	警告	追加アジテーター用バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブスプールを点検します</li> </ul>
F15107	警告	左中央部サイドアーム A の位置検出信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよびセンサー接続をチェックします</li> <li>• センサーの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>
F15108	警告	左中央部サイドアーム B の位置検出信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよびセンサー接続をチェックします</li> <li>• センサーの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>
F15109	警告	左外側サイドアームの位置検出信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよびセンサー接続をチェックします</li> <li>• センサーの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>
F15110	警告	左中央部サイドアーム A の位置検出信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよびセンサー接続をチェックします</li> <li>• センサーの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>
F15111	警告	右中央部サイドアーム B の位置検出信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよびセンサー接続をチェックします</li> <li>• センサーの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> <li>• ヒューズ F6 をチェックします</li> </ul>

F15112	警告	「洗浄水ポンプ吸入栓」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15113	警告	「インジェクタ」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15114	警告	低電圧やモーター過高温、バルブが動きにくいといった問題が認められます	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブに妨害や異物がないか点検します</li> <li>バルブがスムーズに動くか点検します</li> <li>AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15115	警告	「ドレーンコック」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15116	警告	「高速排出」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15117	警告	「洗浄水タンク充填」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15118	警告	「散布液タンク圧力充填」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15119	警告	「洗浄水タンク圧力充填」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15120	警告	「混入容器への散布液ポンプ」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15121	警告	「ECO-FILL」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15122	警告	「散布液エリアへの洗浄水ポンプ」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15123	警告	「散布ポンプ圧力範囲止水栓」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブの接続ラインを点検します</li> <li>バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>

**故障**

F15124	警告	「充填ライン止水栓」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15125	警告	「内部清掃」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15126	警告	「混入容器」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15127	警告	「外部清掃」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15128	警告	「混入容器清掃」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15129	警告	「散布ポンプによる内部清掃」バルブに過大な電力消費が認められたか、操作の際に電力消費が認められません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブの接続ラインを点検します</li> <li>• バルブの液路に異物がないか点検します</li> </ul>
F15130	警告	洗浄液ポンプ回転数センサーの信号が、2～7 mA または 17～20 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよび測定面に汚れがないか点検します</li> <li>• センサーの動作距離を点検します</li> <li>• センサーへの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• ヒューズ F1 を点検します</li> </ul>
F15131	警告	右外側サイドアームの位置検出信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーおよび取り付けをチェックします</li> <li>• センサーへの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• ヒューズ F1 を点検します</li> </ul>
F15132	警告	混入容器吸引の設定値ジェネレーターの信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーへの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• ヒューズ F1 を点検します</li> </ul>
F15133	警告	混入容器の位置検出信号が、2～7 mA または 17～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーへの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• ヒューズ F1 を点検します</li> </ul>
F15134	警告	洗浄水タンク充填レベル圧力センサーの信号が、2～22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーの接続ラインを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• ヒューズ F1 を点検します</li> </ul>

F15135	警告	システム内のコンポーネント（センサー / アクチュエータ）にエラーがあります - 他のエラーメッセージに注意します。	
F15136	警告	---	<ul style="list-style-type: none"> <li>散布液タンクの充填レベルを 20 リットル未満に減らします。</li> </ul>
F15137	警告	---	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄水タンクの充填レベルを 400 リットル以上に増やします</li> </ul>
F15138	警告	---	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄水タンクの充填レベルを 200 リットル以上に増やします</li> </ul>
F15139	警告	Highflow バルブが反応せず、情報を送信しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーへの接続ラインを点検します</li> <li>ヒューズ F2 を点検します</li> <li>ヒューズ F1 を点検します</li> </ul>
F15140	警告	コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータ（AEL051）の供給電圧が 9.0V 未満。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューズ F7 をチェックします</li> <li>トラクターの電圧供給を点検します</li> <li>コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータの接続ケーブルとアース線 3.X1 および 3.X4 を点検します</li> </ul>
F15141	警告	コンフォートパッケージプラスのジョブコンピュータ（AEL051）の出力電流の合計が 25A 以上です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンフォートパッケージプラスのケーブルハーネスに短絡がないか点検します</li> <li>コンフォートパッケージプラスのモーターバルブを点検します</li> </ul>
F15142	警告	左外側の超音波センサー（BEL363）が、信号を送信しないか、あり得ない信号を送信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>センサーを点検します</li> </ul>
F15143	警告	左中央部の超音波センサー（BEL365）が、信号を送信しないか、あり得ない信号を送信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>センサーを点検します</li> </ul>
F15144	警告	左内側の超音波センサー（BEL367）が、信号を送信しないか、あり得ない信号を送信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>センサーを点検します</li> </ul>
F15145	警告	右内側の超音波センサー（BEL368）が、信号を送信しないか、あり得ない信号を送信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>センサーを点検します</li> </ul>
F15146	警告	右中央部の超音波センサー（BEL366）が、信号を送信しないか、あり得ない信号を送信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>センサーを点検します</li> </ul>
F15147	警告	右外側の超音波センサー（BEL364）が、信号を送信しないか、あり得ない信号を送信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>センサーを点検します。</li> </ul>

## 故障

F15148	警告	ContourControl ジョブコンピュータが、ブームリフトユニットに問題を認めました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リフトシリンダー / リフトユニットバルブをチェックします</li> <li>• 接続ケーブルをチェックします</li> <li>• ブーム高さのポテンシオメーターをチェックします</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• 機械を再起動します</li> </ul>
F15149	警告	ContourControl ジョブコンピュータが、傾き調節に問題を認めました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リフトシリンダー / 傾き調節バルブをチェックします</li> <li>• 傾きシリンダーの圧力センサーをチェックします</li> <li>• 接続ケーブルをチェックします</li> <li>• 機械を再起動します</li> </ul>
F15150	警告	ContourControl ジョブコンピュータが、左側ブームの立ち上げに問題を認めました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左側のリフトシリンダー / 立ち上げバルブをチェックします</li> <li>• 接続ケーブルをチェックします</li> <li>• 立ち上げポテンシオメーターを点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• 機械を再起動します</li> </ul>
F15151	警告	ContourControl ジョブコンピュータが、右側ブームの折り畳みに問題を認めました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リフトシリンダー / 折り畳みバルブをチェックします</li> <li>• 接続ケーブルをチェックします</li> <li>• 折り畳みポテンシオメーターをチェックします</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• 機械を再起動します</li> </ul>
F15152	警告	ContourControl ジョブコンピュータが、左側ブームの折り畳みに問題を認めました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左内側サイドアームの油圧シリンダー / 折り畳みバルブをチェックします</li> <li>• 接続ケーブルをチェックします</li> <li>• 左内側サイドアームの折り畳みポテンシオメーターをチェックします</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• 機械を再起動します</li> </ul>

F15153	警告	ContourControl ジョブコンピュータが、右側ブームの折り畳みに問題を認めました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 右内側サイドアームの油圧シリンダー / 折り畳みバルブをチェックします</li> <li>• 接続ケーブルをチェックします</li> <li>• 左内側サイドアームの折り畳みポテンシオメーターをチェックします</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> <li>• 機械を再起動します</li> </ul>
F15154	警告	ContourControl ジョブコンピュータが、SwingStop システムに問題を認めました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 右内側サイドアームの油圧シリンダー / 折り畳みバルブをチェックします</li> <li>• 接続ケーブルをチェックします</li> <li>• SwingStop 振り子ポテンシオメーターをチェックします。</li> <li>• ブームのヨーレートセンサーをチェックします。</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します。</li> <li>• 機械を再起動します</li> </ul>
F15155	警告	前回のシステムシャットダウン以来、全ての制御装置が適切に OFF にされていないことを、機械が検出しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トラクターの ISOBUS 負荷電圧が OFF になりません、トラクターをチェックします</li> <li>• 場合によっては AMAZONE 分離リレーを追加装備します ( NL1084 )</li> </ul>
F15156	警告	走行位置センサーの信号が、2~7 mA または 17~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサー BEL372 を点検します</li> <li>• センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>• ヒューズ F1 を点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> </ul>
F15157	警告	走行位置センサーの信号が、2~7 mA または 17~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサー BEL372 を点検します</li> <li>• センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>• ヒューズ F1 を点検します</li> <li>• ヒューズ F2 を点検します</li> </ul>
F15158	警告	AutoTrail が中央位置になく、速度ソースが機械ではなく、機械の速度（ホイールセンサー）が 4 km/h を上回っており、選択した速度ソースの速度が 0 km/h です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ホイール回転数センサーの機能をチェックします</li> <li>• 機械（付属装置）のホイール回転数センサーをキャリブレーションします</li> <li>• 選択した速度ソースの機能をチェックします</li> </ul>

故障

F15159	アラーム	中央位置に移動した後に、軸角度ポテンシオメーターの値が、キャリブレーションした中央位置から 0.1 mA ( ~0.4° ) 以上逸脱します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路モードで：手動モードを再びアクティブにして、改めて「中央位置に移動」ボタンを押します -&gt; 道路モードを再びアクティブにします</li> <li>● 手動モードで：改めて「中央位置に移動」ボタンを押します</li> </ul>
F15160	アラーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1° ( 0.229 mA ) 以上のステアリングの動きは、ステアリングバルブの操作に至りませんが、軸角度ポテンシオメーターによって検知されます。</li> <li>● 軸角度ポテンシオメーターは、ステアリングバルブの操作において、誤った方向への 1° 以上のステアリングの動きを検知します。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 7 km/h 未満で走行します</li> <li>2. アラーム通知を確定します</li> <li>3. 「車軸を右に向ける」ボタンまたは「車軸を左に向ける」ボタンを押します</li> </ol> <p>-&gt; 車軸が誤った方向に向いたら、バルブ通電プラグを点検して、ステップ 1-3 を繰り返します。それでもエラーが発生するようなら、ステアリングを改めてキャリブレーションします</p> <p>-&gt; 車軸が正しい方向に向くと警告通知が消え、エラーが再び発生したらオイルラインとステアリングバルブを点検します ( 考えられる原因：ステアリングバルブかオイルラインに漏れがあります )</p>
F15161	アラーム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 道路 / 圃場モードで、停止弁出力の電圧が 1 V 以上あります。</li> <li>2. 機械的な機能のテストにおいて、軸角度ポテンシオメーターが 1° ( 0.229 mA ) の変更を検知しました。道路モードがアクティブになると、テストは毎回実施されます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. に対して： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 停止弁の操作ケーブルが断絶しています</li> <li>● プラスへの短絡が、停止弁の操作ケーブルにあります</li> </ul> </li> <li>2. に対して：両方の停止弁が機械的に故障 -&gt; 停止弁を点検 / 交換します</li> </ol>
F15162	アラーム	軸角度ステアリングセンサー ( BEL510 ) の信号が、2~22 mA の許容信号範囲内でないか、両方のポテンシオメーターの合計が 23.5~24.5 mA の範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● センサー BEL510 を点検します</li> <li>● センサーの接続ケーブルを点検します</li> <li>● ヒューズ F1 を点検します</li> <li>● ヒューズ F2 を点検します</li> </ul>

F15163	アラーム	<p>軸角度ポテンシオメーターが、ステアリングの動きまたは遅すぎるステアリングの動きについての情報を供給しません。</p> <p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軸角度ポテンシオメーターが緩んでいて、もはやステアリングを検知していないか、スリップしています</li> <li>油圧ラインが故障し、オイルが漏れています</li> <li>ステアリングバルブが故障しており、もはや十分に開きません</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>7 km/h 未満で走行します</li> <li>アラーム通知を確定します</li> <li>「車軸を右に向ける」ボタンを 1 秒以上押し続け、車軸が向くか点検します。</li> </ol> <p>-&gt; 車軸が向かない = 油圧システムを点検します</p> <p>-&gt; 車軸が向いて、エラー通知が消えます。次に、「車軸を左に向ける」ボタンを 1 秒以上押し続け、車軸が向くか点検します。エラー通知なし = 油圧システムに漏れがないこと、軸角度ポテンシオメーターがきちんと固定されていることを点検します</p>
F15164	アラーム	<p>ステアリングはキャリブレーションされていません。</p>	<p>ステアリングをキャリブレーションします</p>
F15165	アラーム	<p>道路モード：</p> <p>機械（取り付け装置）のホイール速度およびヨーレートセンサーの加速度変化に、0.14 m/s<sup>3</sup> 以上の相違があります。</p> <p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機械（取り付け装置）</li> <li>ヨーレートセンサーが水平に取り付けられていません／曲がっています</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヨーレートセンサーが水平に取り付けられ、接続ケーブルが正確に後方に向いているか点検します</li> <li>機械のホイール速度を改めてキャリブレーションします</li> </ol> <p>続いて、エラー通知を消すために、強めに加速してブレーキをかけます</p>
F15166	アラーム	<p>圃場モード：</p> <p>機械（取り付け装置）のホイール速度およびヨーレートセンサーの加速度変化に、0.14 m/s<sup>3</sup> 以上の相違があります。</p> <p>原因：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機械（取り付け装置）</li> <li>ヨーレートセンサーが水平に取り付けられていません／曲がっています</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヨーレートセンサーが水平に取り付けられ、接続ケーブルが正確に後方に向いているか点検します</li> <li>機械のホイール速度を改めてキャリブレーションします</li> </ol> <p>続いて、エラー通知を消すために、強めに加速してブレーキをかけます</p>
F15167	アラーム	<p>出力の通電がアクティブになっていないにもかかわらず、コンピューターの左側ステアリングバルブへの出力に電圧が 1 V 以上あります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルハーネスおよびプラグ接続を点検します</li> </ul>
F15168	アラーム	<p>出力の通電がアクティブになっていないにもかかわらず、コンピューターの右側ステアリングバルブへの出力に電圧が 1 V 以上あります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルハーネスおよびプラグ接続を点検します</li> </ul>

**故障**

F15169	アラーム	表示されたノズルが閉じません（カウント方法：左外側から昇順）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 切り替えの際に散布圧を下げます</li> <li>• 該当するノズル本体のプラグと接続ケーブルを点検します</li> <li>• 該当するノズル本体を点検します（動きにくさ、清掃、破損）</li> </ul>
F15170	アラーム	表示されたノズルが閉じません（カウント方法：左外側から昇順）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 該当するノズル本体のプラグと接続ケーブルを点検します</li> <li>• 該当するノズル本体を点検します（動きにくさ、清掃、破損）</li> </ul>
F15171	警告	アップデートを完全に実行できませんでした。供給電圧が低すぎるか、接続が中断されました	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電圧供給を安定させるためにモーターを動かし、電力消費機器を OFF にします。</li> <li>• ケーブルを再接続します。</li> </ul>
F15172	警告	該当する制御ユニットの LED の少なくともひとつを ON / OFF にできません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 該当する制御ユニットのノズルを点検します</li> <li>• ケーブルハーネスを点検します</li> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> </ul>
F15173	警告	表示された制御ユニットに内部エラーが認められます（カウント方法：左外側から昇順）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> </ul>
F15174	警告	表示された制御ユニットが反応しません（カウント方法：左外側から昇順）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 制御ユニットの接続ケーブルを点検します</li> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> </ul>
F15175	警告	表示された制御ユニット内のコンデンサーバンクの電圧が低すぎます（カウント方法：左外側から昇順）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 制御ユニットに接続されたノズル本体に、動きにくいものがないかチェックします</li> <li>• 機械の電力供給をチェックします</li> </ul>
F15176	警告	表示された制御ユニットのノズル本体を動かすことができません（カウント方法：左外側から昇順）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> </ul>
F15177	警告	システムの他の部分とはハードウェアバージョンが異なる、制御ユニットが取り付けられています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全ての制御ユニットは、ハードウェアバージョンが同じでなければなりません</li> </ul>
F15178	警告	左側より多くの制御ユニットが右側で検出されました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左側ブームの制御ユニットのケーブルおよびコネクタをチェックします（外側から始めます）</li> <li>• 左側ブームの制御ユニットをチェックします（外側から始めます）</li> </ul>
F15179	警告	右側より多くの制御ユニットが左側で検出されました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 右側ブームの制御ユニットのケーブルおよびコネクタをチェックします（外側から始めます）</li> <li>• 右側ブームの制御ユニットをチェックします（外側から始めます）</li> </ul>
F15180	警告	表示された制御ユニットには、古いソフトウェアバージョンが入っており、自動的にアップデートできません（カウント方法：左外側から昇順）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> <li>• 該当する制御ユニットを手動でアップデートします</li> </ul>

F15181	警告	表示された制御ユニットは、検出されなかった制御ユニットを待っています（カウント方法：左外側から昇順）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> <li>• 該当する制御ユニットをチェックします</li> </ul>
F15182	注記	事前選択されたタンク充填レベルに達しました。	
F15183	注記	AutoTrail のキャリブレーション時に速度が 1 km/h を超過	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 車両を静止させます</li> <li>• 速度ソースをチェックします</li> </ul>
F15184	注記	ノズル本体に変更が加えられました	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準ノズル本体の装着をチェックして、追加ノズルおよび限界ノズルの割り当てを行います</li> </ul>
F15186	注記	ファイルサーバー書き込みエラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ISOBUS 端末の設定をチェックします</li> <li>• 端末の取扱説明書を遵守します（十分なメモリ／書き込み保護の有無）</li> </ul>
F15187	注記	ファイルサーバー読み込みエラーまたは XML ファイルエラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設定ファイルをチェックします</li> </ul>
F15188	注記	ISOBUS ファイルサーバーが起動していないので、設定のエクスポートができません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ISOBUS 端末の設定をチェックします</li> </ul>
F15189	注記	ISOBUS ファイルサーバーを起動していないので、設定のインポートができません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ISOBUS 端末の設定をチェックします</li> </ul>
F15191	警告	ブームロックセンサーの電圧が 0.25～4.75V の範囲を逸脱しています	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーと接続ケーブルを確認</li> <li>• ヒューズ F2 をチェックします</li> </ul>
F15192	警告	バルブのアドレッシングが行われていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> <li>• CAN バルブのアドレッシングを行います</li> </ul>
F15193	注記	限界ノズルが追加ノズル本体に取り付けられている場合、限界ノズルが割り当てられずに設定された、標準ノズル本体のノズル組み合わせがあると、このメッセージが現れます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AmaSelect 設定のプロフィールで、ノズル設定を完了します</li> </ul>

## 故障

F15194	注記	追加ノズルが追加ノズル本体に取り付けられている場合、追加ノズルが割り当てられずに設定された、標準ノズル本体のノズル組み合わせがあると、このメッセージが現れます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AmaSelect 設定のプロフィールで、ノズル設定を完了します</li> </ul>
F15195	警告	手動・自動のノズル/ノズル組み合わせが選択されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AmaSelect 設定のプロフィールで、少なくともひとつのノズルを選択しなければなりません</li> </ul>
F15197	警告	ブームの内側サイドアームが展開しないか、他のサイドアームがストップ位置になりません（折り畳み/展開）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ブームを完全に展開・折り畳みます。</li> </ul>
F15198	警告	清掃機能中に、ポンプが OFF になりました	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ポンプを ON にして、必要なら清掃機能を再スタートします</li> </ul>
F15201	警告	バルブに過電圧か内部エラーが認められます	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を無電圧にして、機能を改めて実行します</li> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15202	警告	低電圧やモーター過高温、バルブが動きにくいといった問題が認められます	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブに妨害や異物がないか点検します</li> <li>• バルブがスムーズに動くか点検します</li> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15203	警告	バルブに過電圧か内部エラーが認められます	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を無電圧にして、機能を改めて実行します</li> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15204	警告	混入容器の吸引バルブが、情報を送りません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヒューズ F3 をチェックします</li> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15205	警告	ヨーレートセンサーにエラーが認められます	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーホルダーを点検します - センサーは動かないように固定されていなければなりません</li> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15206	警告	油圧センサーの電圧が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 圧力センサーと接続ケーブルを確認します</li> </ul>
F15208	警告	現在の攪拌圧力が、10 秒以上規定攪拌圧力より高くなっています	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アジテーターバルブ KWA045 を点検します</li> <li>• アジテーターバルブ KWA045 の接続ケーブルを点検します</li> </ul>

F15210	アラーム	スプレーヤーのベースコンピュータはヨーレートセンサーから情報を受信しません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続ケーブルとヨーレートセンサーを確認します</li> <li>• ヒューズ F1 および F2 を点検します</li> <li>• セットアップメニューの設定をチェックします</li> </ul>
F15211	警告	カーブコントロールのヨーレートセンサーにエラーが認められます	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーホルダーを点検します。センサーは動かないように固定されていなければなりません</li> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15214	警告		次のバルブをチェック：KWA020
F15222	警告	ブームの走行位置が、キャリブレーションされた規定値よりも低くなっています。原因として、ブームサポートの不十分な潤滑、ブームサポートの硬直、油圧回路の漏れなどが考えられます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械を平坦な地面に置いて、ブームを真っ直ぐに揃えて折り畳みます</li> <li>• ブームサポートにグリースを塗布します</li> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15223	注記	ContourControl 用ジョブコンピュータのパラメータ化がありません。ブーム機能は、限られた範囲でのみ利用できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15224	注記	作業位置のソースがありません	
F15225	注記	プリロードまたはメインブームセクションスイッチ DirectInject の機能が有効であると同時に、ポンプの規定量が 50 ml/min を超え、供給圧力が 1.0 bar 未満です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DirectInject ポンプ（GWA121）が、実際にミキサー／散布ラインに計量供給しているかチェックします。</li> </ul>
F15226	警告	BWA123 の信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーと接続ケーブルをチェック</li> </ul>
F15227	警告	洗浄が有効な場合の、DirectInject 洗浄ノズルの圧力 < 2 bar	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 散布ポンプの回転数を上げます</li> <li>• バルブ KWA123 または KWA126 の機能を点検します</li> </ul>
F15228	警告	DirectInject アジテーターの回転数 < 5 1/min	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DirectInject アジテーターを点検します</li> <li>• 接続ケーブルを確認します</li> </ul>
F15229	警告	アクティブな DES 付きのノズルのみで BWA011 が継続的に 2 l/min を超える測定値を示すか、アクティブな DES が無いノズルのみで BWA130 が 2 l/min を超える測定値を示す	<ul style="list-style-type: none"> <li>• BWA011 または BWA130 が、継続的に非現実的な流量を測定していないか点検します</li> <li>• 閉じたバルブ KWA131 および KWA141 に漏れがないか点検します</li> </ul>
F15230	注意事項	KWA020 は閉じられ、BWA020 は継続的に 1 l/min を超える測定値を示します（設定可能）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• BWA020 が、継続的に非現実的な流量を測定していないか点検します</li> <li>• 閉じたバルブ KWA020 に漏れがないか点検します</li> </ul>
F15231	注意事項	KWA122 の信号ステータス（開／閉）が、KWA122 の制御信号と一致しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブ KWA122 とバルブ接続ケーブルを点検します</li> </ul>
F15232	注意事項	KWA124 の信号ステータス（開／閉）が、KWA124 の制御信号と一致しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• バルブ KWA124 とバルブ接続ケーブルを点検します</li> </ul>

## 故障

F15238	警告	BEL 376 の信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポテンシオメーター BEL376 とセンサー接続ケーブルを点検します</li> </ul>
F15239	警告	BEL377 の信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポテンシオメーター BEL377 とセンサー接続ケーブルを点検します</li> </ul>
F15240	警告	DirectInject ポンプ効率 < 80 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>DirectInject ポンプをエア抜きします</li> <li>DirectInject タンクの充填レベルをチェック</li> <li>DirectInject ポンプの流量をチェック</li> <li>流量が正しくない場合は、DirectInject ポンプのバルブに漏れがないかチェック</li> <li>DirectInject ポンプへの流入をチェック</li> <li>DirectInject ポンプのエア抜き</li> <li>BWA125 のセンサーをチェック</li> </ul>
F15246	警告	「手動展開・折り畳み」メニューの指示メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>傾き調節の前に、ブームを左右対称に展開します</li> </ul>
F15247	警告	SwingStop-ECU との通信なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>SwingStop-ECU へのプラグ接続を点検します</li> </ul>
F15248	警告	プラグからバルブ KHY391 へ電流が流れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブ KHY391 へのプラグ接続を点検します</li> </ul>
F15249	警告	プラグからバルブ KHY392 へ電流が流れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブ KHY392 へのプラグ接続を点検します</li> </ul>
F15250	警告	プラグからバルブ KHY395 へ電流が流れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブ KHY395 へのプラグ接続を点検します</li> </ul>
F15251	警告	プラグからバルブ KHY396 へ電流が流れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルブ KHY396 へのプラグ接続を点検します</li> </ul>
F15252	警告	信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー BEL391 へのプラグ接続を点検します</li> <li>センサー BEL391 を点検します</li> </ul>
F15253	警告	信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー BEL395 へのプラグ接続を点検します</li> <li>センサー BEL395 を点検します</li> </ul>
F15254	警告	信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー BHY391 へのプラグ接続を点検します</li> <li>センサー BHY391 を点検します</li> </ul>
F15255	警告	信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー BHY395 へのプラグ接続を点検します</li> <li>センサー BHY395 を点検します</li> </ul>
F15256	警告	ContourControl のジョブコンピュータが、速度の高すぎる傾斜軸を検出し、これをオフにしました	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 分後に機能を再起動します</li> <li>定期的が発生する場合は、AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15257	警告	ContourControl のジョブコンピュータが、速度の高すぎるリフト軸を検出し、これをオフにしました	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 分後に機能を再起動します</li> <li>定期的が発生する場合は、AMAZONE 販売店にお問い合わせください</li> </ul>
F15258	警告	信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポテンシオメーター BEL311 と接続ケーブル BEL311 を点検します</li> </ul>
F15259	警告	DirectInject が有効の場合、HighFlow の流量が継続的に 2 l/min を超えます	<ul style="list-style-type: none"> <li>HighFlow バルブに漏れがないか点検します</li> </ul>

F15260	警告	少なくとも 1 個のブームセクションバルブが開いており、圧力が 2 bar を上回っているにも関わらず、流量センサーが信号を送りません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 流量計と接続ケーブルを点検します</li> <li>• 圧力センサー BWA010 を点検します</li> </ul>
F15264	警告	AUX-N 割り当てでエラーが検出されました。誤った割り当ては削除されました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AUX-N 操作装置の割り当てを点検します</li> </ul>
F15266	注意事項	ホイール回転数センサーは、キャリブレーションされていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ホイール回転数センサーをキャリブレーションします</li> </ul>
F15267	警告	機械セットアップの設定が妥当ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Flex-folding と AmaSelect の設定を点検します</li> </ul>
F15268	警告	信号が、2~2 mA の許容信号範囲内にありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサー BEL374 と接続ケーブルを点検します</li> </ul>
F15269	警告	DirectInject ポンプ (AEL120) によって測定された供給圧力が、少なくとも 5 秒間 12 bar を超えていました	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 供給ラインを点検します</li> <li>• 高粘度薬剤を希釈します</li> </ul>
F15270	警告	信号が、2~22 mA の許容信号範囲内にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサー BEL350 を点検します</li> </ul>
F15271	警告	少なくとも 10 秒間、有効なヨーレートがありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサー BEL380 を点検します</li> </ul>
F15272	警告	L ブーム：機械損傷の恐れがあるので、サイドアームを立てたり、傾けた状態で折り畳まないでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ブームをまっすぐに揃えます</li> </ul>
F15273	警告	手動展開・折り畳みで内側サイドアームを展開すると、メッセージが 1 回表示されます (油圧式の走行安全フレームとの関連でのみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サイドアームを展開する前に、走行安全フレームを開きます</li> </ul>
F15274	警告	少なくとも 1 つのブームがキャリブレーションされた終了位置にない状態で、ブームの傾斜または自動/連結解除モードへの切り替えが試みられました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• まずブームを、完全に折り畳みます/展開します</li> </ul>
F15275	注意事項	タスクコントローラがサポートする、サイドアームごとの規定値が、設定されているより少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機械設定で、利用できる規定値の数を減らします</li> </ul>
F15276	注意事項	機械が登録されている UT が遅すぎて反応が遅れるため、端末への CAN メッセージが適切な時間内に処理されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 端末を点検または交換します</li> <li>• CurveControl を用いて作業する場合は、BUS の負荷を軽減するために、作業ビューでノズルのアニメーションを無効にします。</li> <li>• AMAZONE サービスパートナーにお問い合わせください</li> </ul>
F15277	注意事項	4 つのプロフィールの 1 つで、あるパターンを選択しましたが、フォローアップ中に mySprayer アプリ経由で、再び「未割り当て」ステータスを受け取りました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 別のパターンを選択するか、mySprayer アプリ経由で希望のパターンを改めて割り当てます。</li> </ul>
F15278	警告	パターンを mySprayer アプリに送れませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• mySprayer アプリで機械への接続を点検し、必要に応じて再接続または新規接続します。</li> </ul>

## 故障

F17900	小さな注記	少なくとも1つのブームセクションが開いており、現在のタンクの内容量は設定された充填レベルアラーム限界値を下回っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>この注記通知を望まなければ、充填レベルアラーム限界値を0リットルに設定できます。</li> </ul>
F17901	小さな注記	速度用のソースとして「シミュレートされた速度」を選択しており、別のソースで1 km/hを上回る速度が検知される場合、注記が表示されます	
F17902	小さな注記	少なくとも1つのブームセクションが開いており、設定したポンプ回転数が設定限界値 (% min/% max) から逸脱しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポンプ回転数または限界値を調節</li> <li>このエラー通知を望まない場合は、限界値を0 rpm に設定します。</li> </ul>
F17903	小さな注記	1個以上のブームセクションが開き、量制御が自動で、現在の散布量が設定された規定量から11%以上逸脱しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル選択を確認します</li> <li>アジテーター設定を点検します (コンフォートパッケージのない機械の場合)</li> <li>散布液回路に漏れ/詰まりがないかチェックします</li> <li>フィルターをチェックします</li> <li>場合によってはマルチファンクション表示で使用量表示を表示し、走行速度を点検します</li> <li>流量計をチェックします</li> </ul>
F17904	小さな注記	少なくとも1つのブームセクションが開いており、現在の圧力は設定した最小圧力を下回っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>散布液回路の圧力を上昇させるか、最小圧力の限界値を調整します</li> </ul>
F17905	小さな注記	現在の圧力は10秒以上も前から設定最大圧力を上回っており、設定圧力は0ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>散布液回路の圧力を上昇させるか、最小圧力の限界値を調整します</li> </ul>
F17906	小さな注記	リアタンクの充填レベルは150l未満で、フロントタンクは手動モード。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「リアヘポンプ」キーを用いて、手動で液体をリアタンクにポンプで送ります</li> <li>FlowControlのインジェクタを動かすために、リアタンクには液体が必要です</li> </ul>
F17907	小さな注記	フロントタンクの充填レベルが高すぎます (FT1001 : 1070L、FT1502 : 1580L)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「リアヘポンプ」キーを用いて、手動で液体をリアタンクにポンプで送ります</li> <li>エラーが頻発するようなら、インジェクタの設定を点検します (AMAZONE 販売店にお問い合わせください)</li> </ul>
F17908	小さな注記	タスクコントローラーはセクションコントロールをOFFにしました	<ul style="list-style-type: none"> <li>タスクコントローラーを確認します</li> </ul>
F17910	小さな注記	測定された風速が、設定した限界値より高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーは作業位置?</li> <li>設定限界値をチェック</li> <li>作業プロセスの終了</li> </ul>
F17911	小さな注記	ブーム展開・折り畳み位置検出装置は、少なくとも1つのサイドアームがストッパー位置まで展開・折り畳まれていないことを検知しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブーム展開・折り畳みを改めて操作し、ブームを完全に展開/折り畳みます</li> <li>サイドアームの角度検知用センサーおよびケーブルをチェックします</li> <li>油圧シリンダーとブーム展開・折り畳み機構をチェックします</li> </ul>

F17912	小さな注記	カーブ走行時に走行速度が高すぎたり、カーブで突然方向が変わったり、カーブで走行が安定しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行速度を落とします</li> <li>カーブは、一定の速度で、方向を変えずに走行します</li> <li>高い走行速度での車線変更を避けます</li> </ul>
F17914	小さな注記	ブームロックセンサーのひとつが操作され（ブーム折り畳み）、AutoTrail がまだ道路モードにない場合。	---
F17917	小さな注記	作業位置が非アクティブ（ブームは走行位置）で、ステアリングの手動モードまたは自動モードがアクティブ、速度は 15 km/h 未満。	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路走行用の車軸をロックします</li> <li>減速して、作業位置にします</li> </ul>
F17918	小さな注記	道路モードでのステアリング機能の操作か、ステアリング自動モードのアクティブ化が試みられました	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度を落とします（7km/h 以下）</li> <li>圃場モードをアクティブにします（車軸のロックを解除します）</li> </ul>
F17920	小さな注記	機械の始動後または中央位置への自動移動後に、車軸が直進位置にありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オイル供給を行います</li> <li>車軸を手動で中央位置にします</li> </ul>
F17924	小さな注記	オイルタンクに充填しようとしたところ、油圧が 130bar 未満に落ちました	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラクターのエンジン回転数を上げます</li> <li>オイルフィルターを点検します</li> <li>トラクターのオイル供給を点検します</li> </ul>
F17925	小さな注記	量制御が自動モードから手動モードに切り替わりました	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトキー + および - を用いて規定圧力を設定し、走行速度やアクティブなブームセクションに左右されずに、散布を所定の圧力に制御できます</li> <li>自動モードに戻すには、自動量制御のソフトキーを押します</li> </ul>
F17926	小さな注記	サスペンションが自動モードではなく、速度は 0 km/h を上回っています	<ul style="list-style-type: none"> <li>サスペンションを自動モードにします</li> </ul>
F17928	小さな注記	散布量が、計算された規定量から、少なくとも 11% 逸脱している	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行速度を調整します</li> <li>散布量を調整します</li> </ul>
F17929	小さな注記	帯状散布がアクティブ - ノズル変更や追加ノズル、境界ノズルの機能を操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面散布をアクティブ化して、機能を再び呼び出します</li> </ul>
F17933	小さな注記	ブームガイドが自動的に無効化されました（例えばサイドアームの折り畳み/展開によって、ContourControl との関連でのみ）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動を再び有効にします</li> </ul>

## 7 マルチファンクションハンドル AUX-N



### AUX-N - 補助コントロール

機械コンピュータは AUX-N 標準をサポートします。これにより機械の機能を AUX-N に準拠したマルチファンクションハンドルに割り当てられます。

マルチファンクションハンドル AmaPilot+および Fendt は標準仕様ではあらかじめ割り当てられています。

マルチファンクションハンドル Fendt の割り当て

散布を ON / OFF にする		ブームを上昇させる		
左側ブーム 展開 折り畳む				自動機能の切り換え
				右側ブーム 展開 折り畳む
	左へ操作	ブームを下降させる	右へ操作	

## 8 マルチファンクションハンドル AmaPilot+

AmaPilot+ を介して、機械の機能を実行できます。

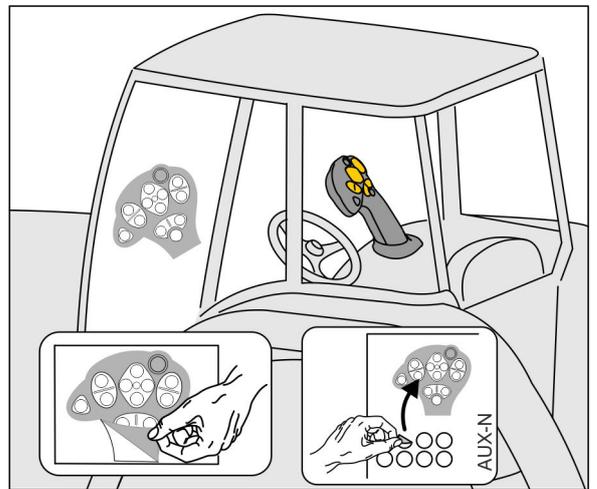
AmaPilot+ は、キーを自由に割り当てられる、AUX-N 操作エレメントです。

標準のキー割り当てが、各 Amazon ISOBUS 機械に予め割り当てられています。

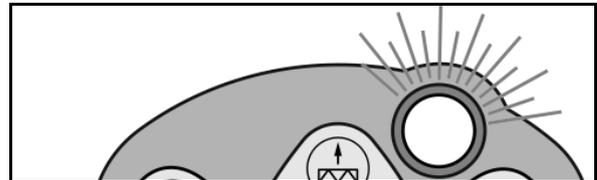
機能は 3 つの階層に分散されており、親指で押して選択できます。

標準階層の他に、2 つの操作階層への切り替えが可能です。

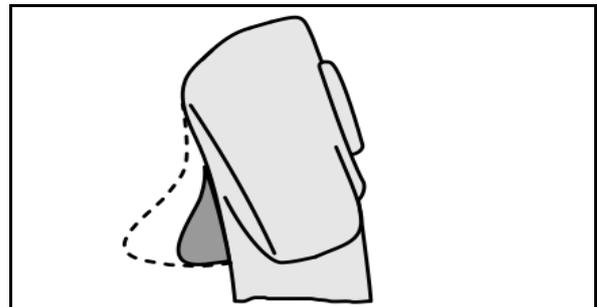
標準割り当てのフォイルをキャビンに貼り付けることができます。自由に選択できるキーの割り当てを、標準割り当ての上に貼り付けることができます。



- 標準階層、  
点灯キーの表示は緑色。



- 背面のトリガを押さえると階層 2、  
点灯キーの表示は黄色。



- 点灯キーを押すと階層 3、  
点灯キーの表示は赤色。

固定割り当て／標準割り当てによる AmaPilot+

標準階層 緑色

左側ブームセクションを ON / OFF にする	右側ブームセクションを ON / OFF にする
散布を ON / OFF にする	
散布量を削減/増加	境界ノズル 左 / 右

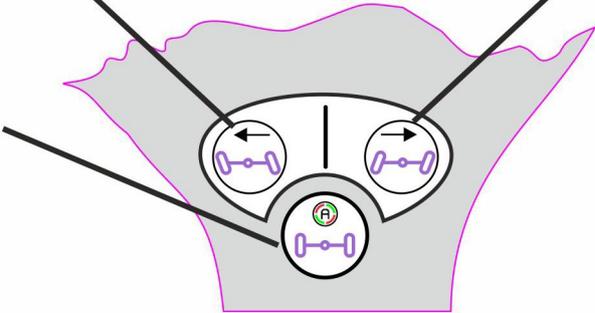
階層 2 黄色

左側サイドアームの展開/折り畳み	右側サイドアームの展開/折り畳み
ディスタンスコントロール ブームのミラーリング	
ブームを下降/上昇	スプレーヤーブームの傾き

階層 3 赤色

ブーム ( 左側 ) を展開/折り畳み	ブーム ( 右側 ) を展開/折り畳み
スイング補正のロック/ロック 解除	
ブームを下降/上昇	ブームを展開/折り畳み

すべての階層の機能:

<p>Pantera ( パンテラ ) : 後輪ステアリングを左へ 操作 UX: 軸 / 牽引バーを左へ操作</p>	<p>Pantera ( パンテラ ) : 後輪ステアリングを右へ 操作 UX: 軸 / 牽引バーを右へ操作</p>
<p>Pantera ( パンテラ ) : 2 輪ステアリングと 4 輪ステアリングの切り替え UX: AutoTrail 切り替え 自動 - 手動</p>	

## 9 ブームセクション制御ボックス AMACLICK

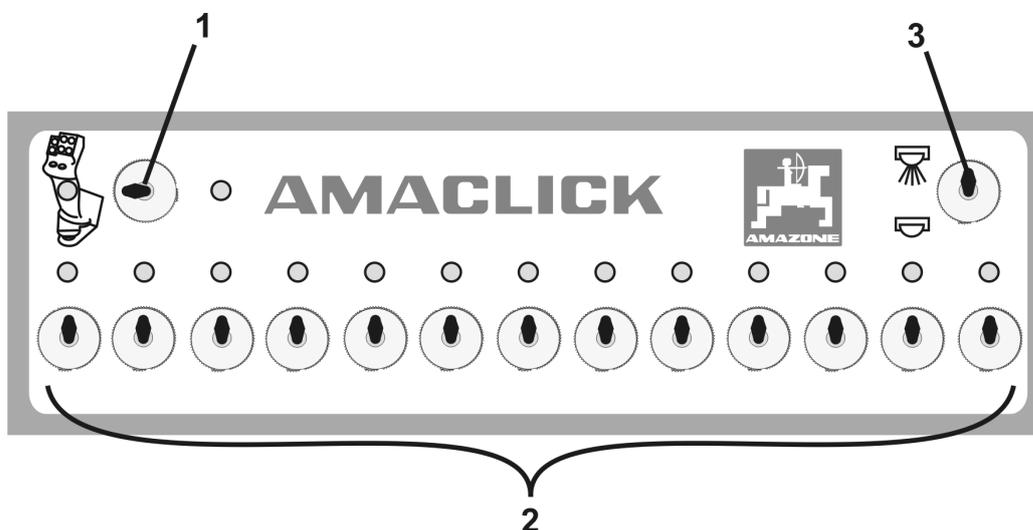
### 9.1 機能

制御ボックス AMACLICK は、

- 操作端末
  - 操作端末とマルチファンクションハンドル
- と組み合わせ、AMAZONE – スプレーヤーの操作に用います。

AMACLICK により

- 各ブームセクションを任意に ON/OFF にできます。
- 散布液の散布を ON/OFF にできます。



#### (1) ON / OFF スイッチ

- スイッチ位置 :
 

AMACLICK はアクティブではありません。ブームセクションの操作は操作端末 / マルチファンクションハンドルで行います。
- スイッチ位置「AMACLICK」:
 

散布 ON/OFF とブームセクションの切り替えは AMACLICK で行います  
(この場合操作端末/マルチファンクションハンドルによる操作は不可能です)。  
ブームセクションが ON になっていると、ブームセクションスイッチ上のランプが点灯します。

#### (2) ブームセクションスイッチ

- 各ブームセクションには 1 個のブームセクションスイッチが備わっています。
- スイッチの数がブームセクションの数よりの多い場合、右側に

あるスイッチは用いられません（例えばスプレーヤーにブームセクションが 11 個、AMACLICK のスイッチが 13 個ある場合 → 右端の 2 個のスイッチは用いられません。

(3) 散布スイッチ ON  / OFF 。

散布液は ON になっているすべてのブームセクションから散布されます / 散布液は散布されません。

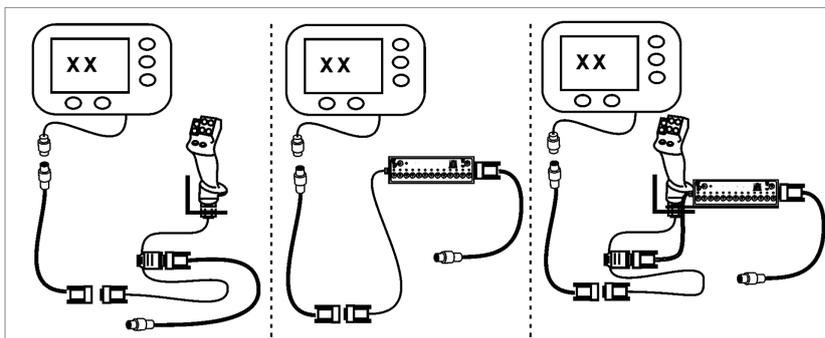


使用されないブームセクションスイッチは、他と区別するためにプラスチックキャップを外すことができます。

## 9.2 オプション

AMACLICK はコンソールの穴を通じてマルチファンクションハンドルにネジ固定するか、あるいはトラクターのキャビン内の手が届きやすい位置に取り付けます。

### 他社製端末への取り付け





# **AMAZONEN-WERKE**

## **H. DREYER SE & Co. KG**

Postfach 51  
D-49202 Hasbergen-Gaste  
Germany

Tel.:+ 49 (0) 5405 501-0  
e-mail:[amazone@amazone.de](mailto:amazone@amazone.de)  
<http://www.amazone.de>

